三重県埋蔵文化財センター年報1.

平成元年度

1990 • 3

三重県埋蔵文化財センター

我が国東西文化の接点にあたる三重県は、その東西文化交流や伝播を考えるうえで重要な位置にあり、県内所在の数多くの遺跡や埋蔵文化財は、私達の祖先が残した貴重な文化遺産であり、文化交流を物語る証人ともいえるでしょう。しかし、昨今の開発の波はこのような埋蔵文化財にも及び、貴重な遺跡が破壊されてしまうことも少なくありません。

これらのことから、埋蔵文化財の保護と開発との調和のとれた関係の確立は焦眉の急でありました。そのためには県下の埋蔵文化財保護の中心となる埋蔵文化財センターの設立が長年の懸案となっておりましたが、平成元年4月1日付けをもって県立埋蔵文化財センターとして斎宮歴史博物館に併設されました。

これからは、県下の埋蔵文化財保護と活用の中心的機能を担っていくことについて、 県民の皆様から当センターに寄せられる期待は大きいものがあると考えられます。これ らの期待に応え、実現させるためにも、埋蔵文化財の保護や調査研究・普及啓蒙活動を 通して、開かれた施設を目指してまいりたいと考えております。そこで、その年度の総 まとめである埋蔵文化財年報も新組織になったのを機に、県内の埋蔵文化財保護行政の 概要を中心内容とした新しい形で作成することに致しました。本書が皆様方のお役に立 てば幸甚に存じます。

終わりに、本書の作成にあたっては、市町村教育委員会及び関係各位のご協力をいただきました。記して謝意を表しますとともに、今後ともご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成2年3月

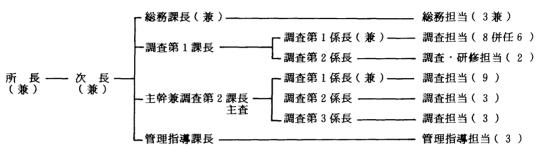
三重県埋蔵文化財センター所長

- 1. この年報は、平成元年度における三重県埋蔵文化財センターの事業概要をまとめたものである。
- 2. ▮の緊急発掘調査のうち、2・3については、それぞれの発掘担当者による。
- 3. 本書の編集は、所長の統括のもと管理指導課においておこなった。

I		組	II織及び業務内容	2
1		4	P成元年度緊急発掘調査	4
	1	. •	緊急発掘調査一覧	4
	2	: .	主要発掘調査遺跡概要	1 0
	3		緊急発掘調査概要	2 1
I		坦	理蔵文化財保護体制の強化	5 8
	1	. •	三重県埋蔵文化財担当者会議	5 8
	2		埋蔵文化財発掘技術者研修	5 8
	3		// 市町村研修 ·	6 0
	4	· •	文化財パトロール	6 2
IV		誹	間査結果の公開	6 3
	1	. •	三重県埋蔵文化財展	6 3
	2		発掘遺跡現地説明会	6 5
	3	} .	保管遺物等の貸出し、写真等の掲載許可	6 6
			斎宮歴史博物館への展示品協力	6 8
<	卞	t>	>	
`			平成元年度受領図書一覧表	6 9
		2.	平成2年度事前協議遺跡一覧表	
				<i>5</i> 0

Ⅰ 組織及び業務内容





職員数 48名(兼務8名、専任29名、併任6名、派遣5名)

(職員)

```
所 長
      中 林 昭 一 (斎宮歴史博物館兼務)
次 長
         和光(
○総務課
                         ○ 調査第2課
 課長
              (斎宮歴史博物館兼務) 主幹兼課長
                                   山沢義貴
      大 西 政 蔵
 主査
                         )
                                   新田
                                         洋(文化振興課兼務)
                    "
                             主査
  "
      山本英樹(
                    "
                         ) · 第1係
      寺 前 秀 紀
                             丰事
                                   田村陽
○調査第1課
                                     北 秀
 課長
 主事
      山田
            猛
              ( 文化振興課本務 )
                                   山崎恒哉
·第1係
                                   江 尻
 主事
      倉 田 直 純
                                   伊藤裕 偉
        部
         久
                                     谷 泰
                                         弘(伊勢市派遣)
      森川常厚
                                     本 賢 治(多気町 // )
      宮 田 勝 功
                                    川嘉
                                         宏(玉城町 / )
      服
        部芳
                           · 第 2 係
      小 林
                             係長
                                   駒
                                    田利
                                   平 子
      堀
        田
          隆
            長
                                         弘
      中
        島
         干
                                   浅 尾
                                         悟
(併任主事)渡 辺 尚 登
                                   近 藤
     ) 三 枝 義
                           ·第3係
     ) 東
                             係長
                                   浅 生 悦 生(津市派遣)
     )福田哲
                             主事
                                   增田安生
           也
     )山 岡
            裕
                                   森川幸
                                         雄
     )荒木昌俊
                                         弥(津市派遣)
                            臨時技術補助員
·第2係
      田 中 喜久雄
 係長
                                   竹内英昭
 主事
      田中久生
                                   油田秀紀
      穂積裕昌
```

○ 管理指導課

 課長
 吉 水 康 夫

 主事
 河 瀬 信 幸

 リ 野 田 修 久

 か 赤 克 彦

〔 業務内容〕

- (1) 調査研究――県公共事業・国・公団事業の発掘調査、出土品整理、報告書作成。
- (2) 整理保存——出土品・記録図面類の整理・保管、出土品の科学的保存処理。
- (3) 普及啓蒙——資料の閲覧・貸出、調査遺跡現地説明会、各種資料の刊行、埋蔵文化財技術者研修、埋蔵文化財展、埋文担当者会議等各種会議・研修会

〔分掌事務〕

○総務課

- (1) 埋蔵文化財センターの庶務に関すること。
- (2) ル の経理に関すること。
- (3) 施設・設備の保守管理及び防災管理に関すること。

○ 調査第1課

- (1) 埋蔵文化財保護にかかる文化振興課ならびに関係部局との連絡調整に関すること。
- (2) 県関係公共事業における埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関すること。
- (3) 市町村埋蔵文化財保護の指導に関すること。
- (4) 埋蔵文化財発掘調査技術の研修に関すること。

○調査第2課

(1) 建設省・日本道路公団等の事業にかかる調整協議と事務処理、ならびに発掘調査及び保護に関すること。

○ 管理指導課

- (1) 埋蔵文化財の普及啓蒙に関すること。
- (2) 出土品の整理・保存処理及び活用に関すること。
- (3) 各種資料の整備及び保管に関すること。

Ⅱ 平成元年度緊急発掘調査

1 緊急発掘調査一覧

県(センター担当分)

(※ 国・県費補助事業)

Ка		遺	跡	名		所 在 地	原 因	費用負担
1	中	尾	山	遺	跡	四日市市山田町字中尾山	県営圃場整備	県農林水産部
2	敷	田		遺	跡	鈴鹿市徳居町字敷田	"	(県農林水産部※ 県教育委員会※
3	П	北	台	遺	跡	〃 〃 口北台	"	県農林水産部
4	西	条		遺	跡	// 三宅町西条	"	"
5	山	之	東	遺	跡	三重郡菰野町下村	県営土地改良総合整備事業	"
6	佳	椎	, 1	古館	墳跡	亀山市川合町	県営土地改良 総合整備事 場合整道1号 製山バイパス建設	建設省
7	大	数		遺	跡	〃 羽若町字大数	"	"
8	千	本	塚	遺	跡	〃 〃 千本塚	"	"
9	下	Ш		遺	跡	安芸郡芸濃町雲林院字宗下	県営圃場整備	(県農林水産部 ※ 県教育委員会
10	光	明	寺	遺	跡	/ 安濃町光明寺	"	"
11	迎	山		遺	跡	り り 今徳	"	県農林水産部
12	西	出		遺	跡	// 美里村三鄉字西出	"	(県農林水産部※ 県教育委員会
13	三	垣	内	遺	跡	〃 〃 北穴倉	"	県農林水産部
14	大	垣	内	遺	硹	" "	"	"
15	西	田		遺	跡	〃 〃 家所	"	"
16	河	崎		遺	跡	津市大里睦合町河崎	"	"
17	松	1	木	遺	跡	〃 安東町字樫ノ木	一般国道23号線 中勢バイパス建設	建設省
18	森	山	東	遺	跡	〃 長岡町宮ノ前	"	"
19	宮	1	前	遺	跡	" "	"	"
20	門	脇	北	古	墳	〃 河辺町字門脇	"	"
21	山	籠		遺	跡	〃 〃 字山籠	"	"
22	新	池	1	号	墳	/ 河辺町字小広 / 一身田上津部田	"	"
23	橋	垣	内	遺	跡	/ 大里窪田町字橋垣内	"	"
24	峯	治		城	跡	〃 一身田上津部田字オノ坪	都情価道豊生久居線	県土木部
25	前	Ш	原	遺	跡	久居市七栗前川原	県営圃場整備	(県農林水産部※ 県教育委員会
26	家	野		遺	跡	一志郡白山町南家城字家野	"	"
27	井	之	広	遺	跡	/ 嬉野町釜生田字井之広	"	"
28	堀	之	内	遺	跡	〃 〃 堀ノ内	県道丹生寺・一志線	県土木部
29	伊	勢	寺	遺	跡	松阪市伊勢寺町字寺北・買畑	県営圃場整備	(県農林水産部 <u>※</u> 県教育委員会
30	大	坪		遺	跡	/ 字大坪	"	県農林水産部
31	向	Ξ ₹	ŧ F	3 遺	跡	/ 字向王寺	"	"
32	大	垣	内	遺	跡	/ 字大垣内	"	"
33	大	足		遺	跡	/ 大足町	"	"
34	鳥	戸		遺	跡	/ 伊勢寺町字鳥戸	県道合ケ野松阪線	県土木部
35	本	郷		遺	跡	多気郡明和町本郷	県営圃場整備	(県農林水産部※ 県教育委員会※

<i>N</i> 6.	遺跡名	所 在 地	原 因	費用負担
36	外山遺跡	多気郡明和町養村	県営圃場整備	(県農林水産部 ※ 県教育委員会
37	西冲遺跡	// 勢和村丹生	"	県農林水産部
38	佐 奈 水 銀 鉱 山 跡	〃 多気郡前村字一の谷	近畿自動車道(勢和一伊勢間)建設	日本道路公団
39	牛バサマA遺跡	〃 〃 成川字定越	"	"
40	〃 B遺跡	〃 〃 字ナルコ	"	"
41	浦 ノ 内 遺 跡	度会郡玉城町積良字浦ノ内	" ,	"
42	楠 ノ 木 遺 跡	〃 〃 勝田字楠ノ木ほか	"	"
43	蚊 山 遺 跡	〃 〃 岩出字蚊山ほか	"	"
44	宮 地 遺 跡	ル ル 字塚名ほか	"	"
45	中ノ垣外遺跡	伊勢市佐八町字中ノ垣外	"	"
46	寺 原 B 遺 跡	/ 字寺原	"	"
47	伊賀国府推定地	上野市一之宮・坂下	県営圃場整備	(県農林水産部※ 県教育委員会
48	森脇遺跡	〃 市部字森脇	"	"
49	澤田遺跡	〃 〃 タ澤田	"	"
50	才 良 遺 跡	〃 才良	"	"
51	浮田遺跡	〃 上神戸	"	"
52	朝神遺跡	〃 下神戸	"	"
53	高羽 根遺跡	〃 服部町高羽根	"	県農林水産部
54	新寺A·B遺跡	// // 新寺	"	// : abo b.b. 1>>-
55	西沖(上之段)遺跡	阿山郡伊賀町柏野字西沖	"	(県農林水産部※ 県教育委員会※

県(斎宮歴史博物館)

<i>N</i> 6.	120	斎	宮	跡	*	重要遺構確認調査	斎宮歴史博物館	H 1.4.1 ~ 2.3.14	4, 380 m²	
		ı						D. O. 11		1

調査次数	調査面積(m)	調査期間	地番 ・ 地籍	備考
8 2 - 1	1, 600	1. 5. 8 ~	明和町斎宮字上園 3095 他	計画的面調査
8 2 - 2	580	1. 9. 30	明和町斎宮字上園 3100 他	計画的面調査
8 3	1, 400	1. 9. 12 ~ 1. 2. 12. 21	明和町斎宮字西加座 2770-3	計画的面調査
8 4 - 1	670	1.12.20 ~	明和町斎宮字西加座 2764-3	計画的面調査
8 4 - 2	130	2. 3. 14	明和町斎宮字西加座 2679-1 他	計画的面調査

1/6. 120	斎 宮	跡	*	史跡現状変更	斎宮歴史博物館	H 1.4.1 ~ 2.1.30	1, 880 m²
-----------------	-----	---	---	--------	---------	---------------------	-----------

調査次第	調査面積(㎡)	調査期間	地 番 · 地 籍	備考
8 1 - 2	1, 040	1. 4. 1 ~ 1. 8. 30	明和町竹川字古里	県道南藤原竹川線拡線
8 1 - 9	840	1.12.14 ~ 2.1.30	明和町竹川字中垣内	県道南藤原竹川線拡幅

Ma 120 斎 宮 跡 ※ 史跡現状変更 明 和 町	H 1.4.1 ~ 2.3.27	5, 211 m²
-----------------------------	---------------------	-----------

調査次数	調査面積㎞	調査期間	地 番 ・ 地 籍	備考	調査担当機関
8 1 - 1	3, 762	1. 4. 1 ~ 1. 10. 13	明和町斎宮字苅干他	町道塚山線拡幅	明和町
8 1 - 3	180	1. 7. 4 ~ 1. 7. 15	明和町斎宮字木葉山 137	農業用倉庫新築	斎宮歴史博 物館
81-4	214	1.7.5 ~ 2.2.16	明和町斎宮字楽殿	個人住宅及び倉庫新築	明和町
81-5	14	1.8.16 ~ 1.8.18	明和町斎宮字中西	個人住宅新築	斎宮歴史博 物館
8 1 - 6	112	1.8.21 ~ 1.8.28	明和町斎宮字篠林 313	盛土	斎宮歴史博 物館
8 1 - 7	36	1.8.31 ~ 1.9.6	明和町竹川字中垣内	倉庫新築	斎宮歴史博 物館
8 1 - 8	186	1.11.28 ~ 1.12.7	明和町 竹 川字古里	古里地区整備事業便益施 設の設置	明和町
8 1 - 10	139	2.1.6 ~ 2.1.11	明和町斎宮字木葉山 297	防火水槽設置工事	明和町
8 1 - 11	47	2.1.12 ~ 2.1.19	明和町斎宮字広頭 3385-2	斎宮小学校体育庫移転改 築	明和町
8 1 - 12	40	2. 2. 26	明和町斎宮字篠林 3225	盛土	明和町
8 1 - 13	16	2.3.9 ~ 2.3.10	明和町斎宮字塚山 3276-19 他	芝生広場造成及び案内板 の設置	明和町
8 1 - 14	191	2.3.1 ~ 2.3.30	明和町斎宮字楽殿	宅地造成	斎宮歴史博 物館
8 1 - 15	220	2.3.19 ~ 2.3.30	明和町斎宮字楽殿 2885-2	盛土	斎宮歴史博 物館
8 1 - 16	54	2.3.22 ~ 2.3.27	明和町斎宮字北野 3655-1 他	宅地造成	明和町

市町村

	九川 村 				
Nó.	遺跡名	所 在 地	原 因	調査主体	費用負担
56	縄 生 廃 寺	三重郡朝日町縄生字中谷	縄生廃寺跡緊急調査	町教委	町 ※
57	大道端遺跡	四日市市鹿間町字穴塚	住 宅 建 築	市教委	事業者
58	智積廃毒	〃 智積町地内	水道工事	"	市
59	西ヶ谷遺跡	〃 東坂部町字西ヶ谷	宅 地 造 成	"	事業者
60	上 里 遺 跡	/ 久保田町2丁目	住 宅 建 築	"	"
61	石田 遺跡	/ 釆女町字杉本	土砂採取	"	"
62	前山遺跡	〃 西松本町	店舗建設	"	"
63	宮の前遺跡	〃 芝田2丁目	住 宅 建 築	"	"
64	真造寺遺跡	〃 小牧町字真造寺	区 画 整 理	市遺跡	"
65	上野遺跡	〃 西阿倉川町字上野	宅 地 造 成	"	"
66	赤堀城跡	〃 城東町	事務所建設	"	"
67	津賀平遺跡	鈴鹿市津賀町 字五反田	農業用施設	市教委	事業者
68	伊勢国分寺跡	/ 国分寺町字堂跡	重要遺跡確認緊急調査	"	市 ※
69	西西野遺跡	〃 長沢町字石蔵	鉄 塔 建 設	"	事業者
70	保子里古墳群	Ø 国府町字保子里・井口地内	駐車場建設	市遺跡	"
71	中尾山古墳群	/ 国分町字中尾山	不燃物処理場	"	市
72	梅田古墳	〃 国府町梅田	モータープール建設	"	事業者
73	土山·乙部遺跡	〃 御蘭町字大阪	スポーツガーデン造成	"	"
74	小谷・新林・北野遺跡	〃 高塚町字小谷ほか	フラワーパーク造成	市遺跡	市
75	岡田遺跡	の 岡田町字吉原	幼稚園舎建設	"	"
76	金附古墳	亀山市山下町字金附	ゴルフ場造成	市教委	事業者
77	柴戸遺跡	/ 栄町柴戸	市道建設	"	市
78	小 野 城 跡	〃 小野町字殿内	市道拡幅	"	"
79	糀屋垣内遺跡	/ 羽若町字糀屋垣内	一般国道1号線 亀山バイパス建設	"	建設省
80	沢 遺 跡	〃 山下町沢	宅 地 造 成	"	事業者
81	安養院跡	津市大里窪田町字大垣内	団体営圃場整備	"	市
82	上津部田城址	〃 一身田上津部田	都市計画道路建設	沙見費	"
83	渋 見 暫	〃 渋見町字城	学 術 研 究	渋 見 砦 掘 査 団	"
84	メクサ3号墳	// 大字分部小字前田	学校建設	市教委	"
85	薬師谷古墳群、ヒジリ谷 古墳群、薬師谷石切場跡	一志郡一志町八太字薬師谷ほか	娯楽施設建設	町教委	事業者
86	斑 光 寺 跡	ル ル 字中野	範囲確認調査	"	町
87	島居本遺跡	〃 〃 大字新沢田ほか	工場建設	町教委	事業者
88	上野廃寺	/ 嬉野町大字下之庄	河川改良事業	"	県土木部
89	中尾東遺跡	/ / 大字薬王寺字中尾	"	"	"
90	/ 遺跡	" "	県 道 建 設	"	"
91	天花寺城跡	// // 大字天花寺字 堀 田	町 道 建 設	"	町
92	清水谷遺跡	リ リ リ 字清水谷	"	"	"
93	小 谷 古 遺 跡	リ リ リ 字小谷	"	"	"

16.	遺跡名	所 在 地	原 因 誹	開査主体 費用負担
94	新新田遺跡	〃 〃 中川新田	区 画 整 理	" "
95	須原六田遺跡	/ 美杉村上多気字六田	村道建設村	寸教委 村
96	家野遺跡	/ 白山町南家城字家野	町道建設町	丁教委 町
97	長 井 遺 跡		店 舗 建 設	り 事業者
98	王子広遺跡	松阪市御麻生薗町字王子広	工場建設市	市教委 /
99	松阪城跡	〃 殿町	学 術 研 究	// 市
100	森荘遺跡	多気郡多気町大字森荘	学 校 建 設 町	丁教 委 町
101	戸峰古墳群	〃 明和町大字池村字戸峰	土 砂 採 取	町事業者
102	東垣外古墳群	// // 大字坂本字東垣外	公共施設建設	// 町
	斎 宮 跡	〃 〃 大字斎宮	防火水槽設置	" "
103	外山遺跡	// // 大字 養 村字外山	駐車場建設	〃 事業者
104	東垣外B遺跡	// // 大字坂本字東垣外	地方改善事業環境整備	// 町
105	大床谷D遺跡	伊勢市宇治今在家町字深土	検査試験場建設 市	方 教 委 事業者
106	東山遺跡	/ 東大淀町字東山	土砂採取	" "
107	樋 子 遺 跡	/ 中村町字樋子	近畿道及び都市計画道 建設で伴う代替地造成	// 市
108	上ノ垣外遺跡	度会郡度会町葛原字上ノ垣外	排水対策事業	丁 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市
109	森脇遺跡	上野市市部字森脇	新都市開発関連 市 道 建 設 調	万遺跡 市 司査会 市
110	喜春西館 跡	/ 佐那具町字喜春	社 員 寮 建 設	/ 事業者
111	横枕遺跡	〃 猪田横枕	工場造成	" "
112	旧 崇 広 堂 跡 上野新都市開発整備	/ 丸之内	道路整備	// 市
113	事	〃 下友生字奥小波田ほか	上野新都市整備事業	" "
114		名張市夏見字下出地先	名張 川改良事業	遺跡建設省
115	名摄藤堂家四跡(3次)	/ 丸之内	史 跡 整 備	" 市
116	東町遺跡	/ 東町	店舗建設	/ 事業者
117	杉田氏城跡	阿山郡阿山町槙山字門出	町導水ポンプ設置	工 遺 跡 町
118	霊山地区遺跡	〃 伊賀町大字下柘植字道山	遺跡範囲確認調査	
119	鵜 殿 遺 跡	南牟婁郡鵜殿村字山根	学術研究村	寸教委 村

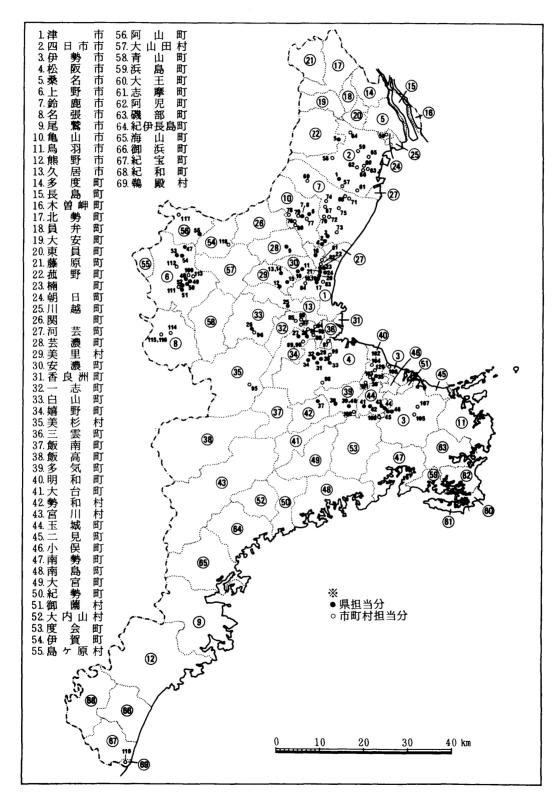


図1 平成元年度三重県内発掘調査遺跡位置図

2 主要発掘調査遺跡概要

No. 12	遺跡名 西 出 遺 跡
所在地	安芸郡美里村三郷字西出
調査原因	県営圃場整備事業(美里、中南部地区)
事業主体	津農林水産事務所
調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.5.10 ~ 7.29
調査担当	堀田隆長、服部久士、山岡裕
調査面積	1,000 m²

1 位置と環境

西出遺跡は、三重県安芸郡美里村三郷字西 出に所在し、伊勢湾にそそぐ雲出川の支流で ある長野川の左岸、標高98m程の河岸段丘 上に位置する。本遺跡は、7,000 m²にわたり



1、西出達跡 2、東出前連跡 3、三塚A達跡 4、三塚B連跡 5、足坂古墳 6、今路城跡 7、中ノ坂内建跡 8、馬谷造跡 9、高沿連跡 10、神ノ宅道師 11、西田連跡 12、白煙連跡 13、上ノ塚道跡 14、毎田連紘

第1図 遺跡位置図 (1:50,000)

遺物の散布がみられるが、今回県営圃場整備事業に先立ち、削平をうける部分約1,000 ㎡について調査が行なわれた。村内では、これまで東出前遺跡(2)、中ノ垣内遺跡(7)、高添遺跡(9)、神ノ宅遺跡(10)、白樫遺跡(12)などが調査されている。

2 調査の結果

今回の調査では、縄文時代早期と鎌倉時代前期頃の遺構や遺物が確認された。

まず耕作土直下に鎌倉時代の生活面があり、掘立柱建物2棟と、土師器鍋・皿、山茶椀、瓦器、陶器類が出土した。

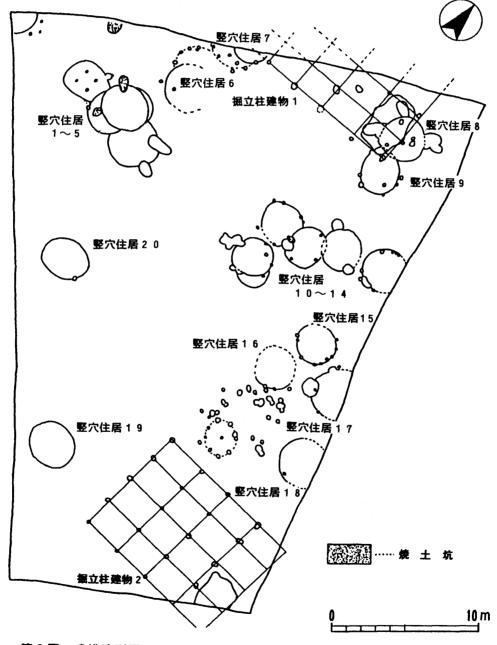
その下には、縄文時代早期の遺物包含層である黒色砂質土が30~50cmの厚さで堆積していた。当該期の遺構としては、竪穴住居址、焼土坑などが検出され、遺物としては、押型文土器を中心とする縄文土器、石器が出土している。

- ① 縄文時代の遺構 今回検出できた20余棟の竪穴住居は、いずれも直径 3 m前後の円形または長円形を 呈し、残存最深部は10~30 cm程である。床面は、中央部く向ってゆるく深くなるレンズ状であり、壁 面の傾斜はゆるい。10~20 cm程の主柱穴をもつものが大半であるが、なかには主柱穴を持つかと思わ れる例もある。焼土坑は 3 ケ所で確認された。焼土の周囲を小ピットがとりかこむものや、焼けた石 が中に認められるものもある。
- ② 縄文時代の遺物 当該期の出土土器片の大部分が押型文土器であり、ごくわずかに、撚糸文を施す例や沈線を施す例もある。押型文土器片は、総数 6,000 点以上であり、大部分のものに、ネガティブな文様が施文されており、早期の中でも前半期に位置付けられる大鼻式(4、8)、大川式(2、5~7、9~13、16、17 24)、神宮寺式(14、15、18、19、21~23、25~27)にそれぞれが分類、比定できると思われる。また、ポジティブな楕円文が施された例(20)は高山寺式に比定できると思われる。その他、石鏃、たたき石などもみつかっているが、非常に少量である。石材は、サヌカイトが中心であり、一部チャートも見られる。
- ③ 鎌倉時代の遺構と遺物 掘立柱建物2は、東西11m(推定)、南北8mの総柱建物であり、東南隅に約4×2m、深さ30cm程の土坑を持っている。掘立柱建物1も同じ構造であると思われ、方向も似かよっている。また山茶椀と瓦器が同一遺構から見つかっており、興味ある真実と言えよう。

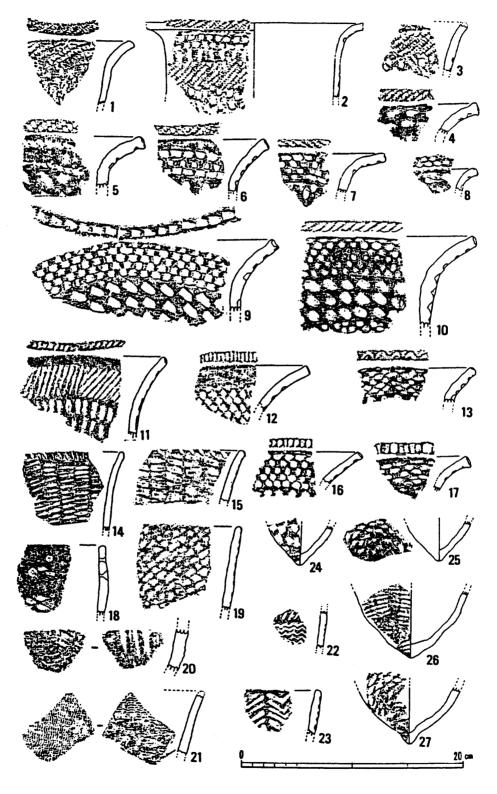
3 まとめ

今回の調査により、西出の地に人々が生活を営み始めたのは、**縄**文時代早期までさかのぼり、長い空 白期間の後、再び人々が生活を営んだのは鎌倉時代になってからであることが確認された。

また、今回の調査で検出された多数の遺構の重複関係の再検討や、多量の遺物の出土状況の検討、押型文土器の検討を通じて、縄文時代早期の集落のあり方の解明や、各型式の前後関係の検討が必要であろう。



第2図 遺構略測図



第3図 押型文土器実測図と拓影

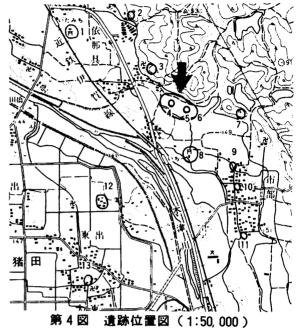
Na. 48	遺跡名 森 脇 遺 跡					
所在地	上野市市部字森脇					
調査原因	県営圃場整備事業					
事業主体	上野農林事務所					
調査機関	三重県教育委員会					
調査期間	H 1.6.20 ~ 12.27					
調査担当	森川常厚、穂積裕昌、山岡裕					
調査面積	7,000 m²					

1 はじめに

うつせみのかりの此世にすみながら なくねそうすきあはれその森 西行法師

あはれその杜のしつくを君かぬる 神のしつくにかるよしもかな

6鳥羽院



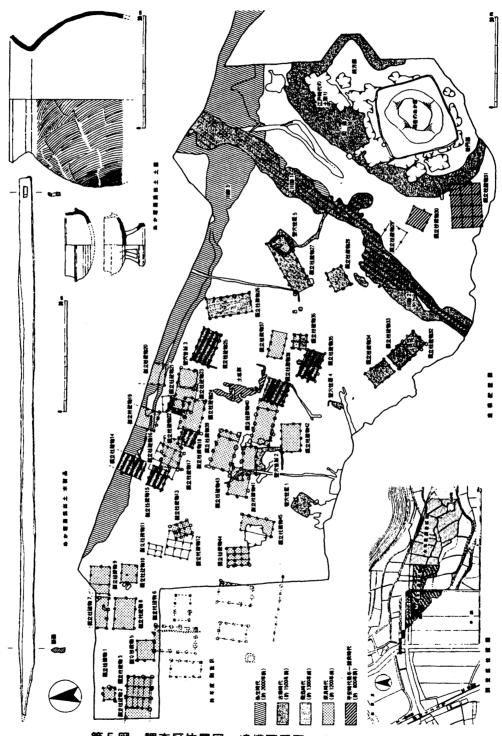
など、古来から数多く歌に詠まれている「あわれその森」(哀園森、哀其森)や、ぬか塚古墳の周囲の水田は、以前から土器の散布地として知られており、森脇遺跡と呼ばれてきた。この遺跡は、近鉄伊賀線市部駅の北方 400 mの丘陵の裾野にあり、南側遠くを木津川が南東から北西へ流れている。その丘陵上には、うま塚古墳や大井氏城跡などの遺跡があり、南へ 400 mの所には、同じように歌に詠まれてきた垂園森がある。

調査は昨年度から行っており、本年度は、昨年度調査区の東隣に調査区を設定した。また、北隣の都市計画道路予定地では、上野市教育委員会が調査を行っている。

※ 中野銀郎 『新編伊賀地誌』

2 調査の概要

- (1) 遺構 調査の結果、弥生時代中期から江戸時代にかけての自然流路、溝、掘立柱建物、土坑や、ぬか塚の周溝を検出した。
 - ① ぬか塚 ぬか塚は、後世の開墾や、江戸時代の瓦粘土の採集により、その大部分を壊されてしまい現在はその一部が残っているにすぎない。しかし調査の結果、周溝の一部が残っていることがわかった。そして、その形から帆立貝形前方後円墳であることがわかった。墳長は約37m、後円部は直径約25~28mで、やや楕円形をしている。周溝を含めた全長は約48mであったと推定できる。時期は、周溝からの良好な遺物出土がないため断定できないが、5世紀後半と推定している。
 - ②井堰 井堰は古墳時代の川跡2で検出した。川が比較的狭い場所を選び、まず土をダム状に積み上げ、その側面を矢板、頂上を丸太で保護し、さらに約30cm間隔で杭を打ちこんで補強している。杭は地山下50cmほどの深さまでしっかりと打ちこんであった。また、これらの材料の多くは、建築部材を転用している。
 - ③掘立柱建物 掘立柱建物は、主なもので45棟確認した。飛鳥時代、奈良時代、平安時代後期の3時期に分かれ、その大部分は、飛鳥~奈良時代である。飛鳥時代のものは、6×2間の長細いもの2棟が特徴的である。奈良時代のものは、昨年度調査結果とあわせると、約10棟ほどのまとまりをもつものが



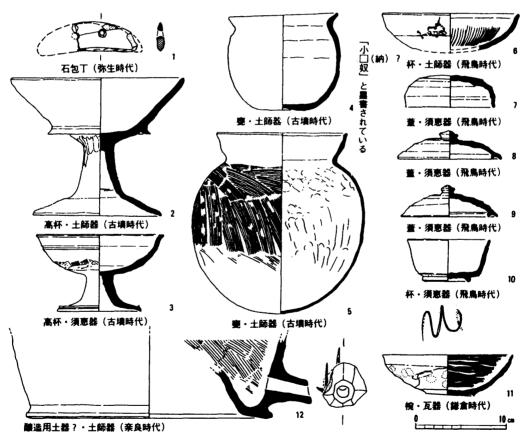
第5図 調査区位置図・遺構配置図・ぬか塚周溝出土土器

あり、当地方の有力者の屋敷跡の可能性がある。柱穴には、柱のまわりを石で固定したもの、根石や 礎板をもつものも数多くあり、また柱がそのまま残っているものも数例あった。

(2) 遺物 川跡3からは、弥生時代中期~後期の壷、甕が出土し、川跡2・1からは、古墳時代・飛鳥時代の土師器、須恵器が大量に出土した。鎌倉時代の遺物は瓦器椀がほとんどで、小土坑から1個ずつ完形で出土した。墓への埋納品である可能性が考えられる。墨書土器は数点出土しており、「小納奴」?「田中」と読めるものもある。木製品は、川跡2から大量に出土し、その大部分は扉状土製品をはじめとする建築部材で、一部焼けているものもある。また、川跡3からは、槽の出土があった。石製品では、石包丁、磨製石斧、石匙などが出土した。

3 まとめ

昨年度の調査や上野市教育委員会の調査を合わせると、約15,000 ㎡ほどになり、森脇遺跡の大部分を調査したことになった。当地では、縄文時代から人々が生活を始め、飛鳥~奈良時代には、当地方の有力者の屋敷となったが、鎌倉時代には、一般住民の生活の場となった。しかし、一部は「あわれその森」と呼ばれるようになり、和歌の名所として今日まで伝えられている。



1 は川跡 3 出土。 2 、 3 は川跡 2 出土。 4 、 5 は土坑出土。 6 、 7 、 8 、 9 、10は川跡 1 出土 11 は土坑出土。 12 は焼土坑出土

図6図 遺物実測図(1:4)

	伊賀国府推定地					
No. 4 7	遺跡名 国 町 遺 跡					
所在地	上野市一之宮、千才、坂之下					
調査原因	県営圃場整備事業					
事業主体	上野農林事務所					
調査機関	三重県教育委員会					
調査期間	H 1.10.2 ~ 12.22					
調査担当	服部久士、三枝義久					
調査面積	(2,600 m²					

1 はじめに

伊賀国府は、これまで柘植川南岸の印代地区(2・3)が有力な推定地でした。三重県教育委員会では、県営圃場整備事業がこの地域で実施されるのに先立ち、昭和63年から範囲確認調査を進めています。昨年度は印代地区で約5,000 m²、今年度は一之宮・千才地区(4)と国町地区(1)で巾3mのトレンチを入れました。その結果、柘植川南岸の印代、一之宮・千才地区では奈良・平安時代の遺構・遺物とも非常に希薄であったのに対し、柘植川



北岸の国町地区からは奈良・平安時代の遺構・遺物が大量に発見されました。

2 国町遺跡の調査の概要

(1) 遺 構

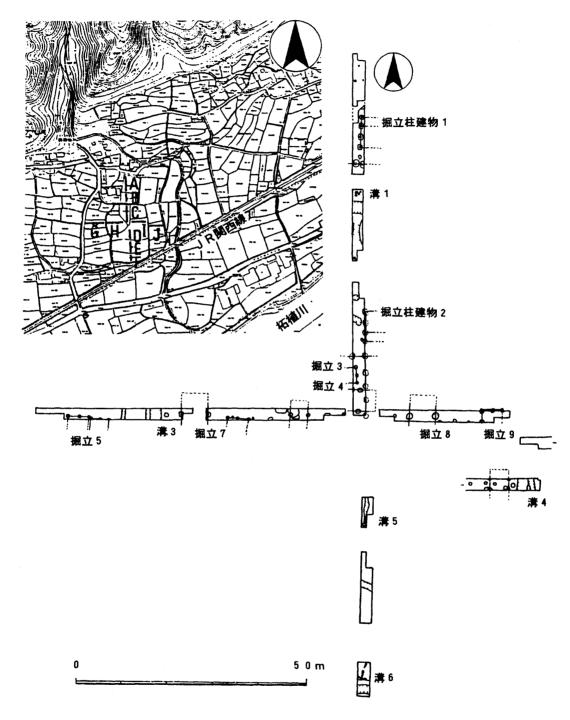
調査区のほとんどで、奈良~平安時代の大形の柱穴や区画溝が検出されました。柱穴は $0.5\sim1.3~\mathrm{m}$ の方形の掘形をもち、ほぼ真北に近い方向で並んでいます。柱間は $1.8\sim2.4~\mathrm{m}$ であり、庇付の建物もあります。掘立柱 7 の西側の柱穴からは、直径 $30~\mathrm{cm}$ で面をもち筏穴をもつヒノキの柱根が出土しました。溝 $1\cdot2$ は巾 $3~\mathrm{m}$ 弱で深さ $0.7\sim1~\mathrm{m}$ あります。平安時代後期の遺構や包含層には多量の炭が混っていました。

(2) 遺物

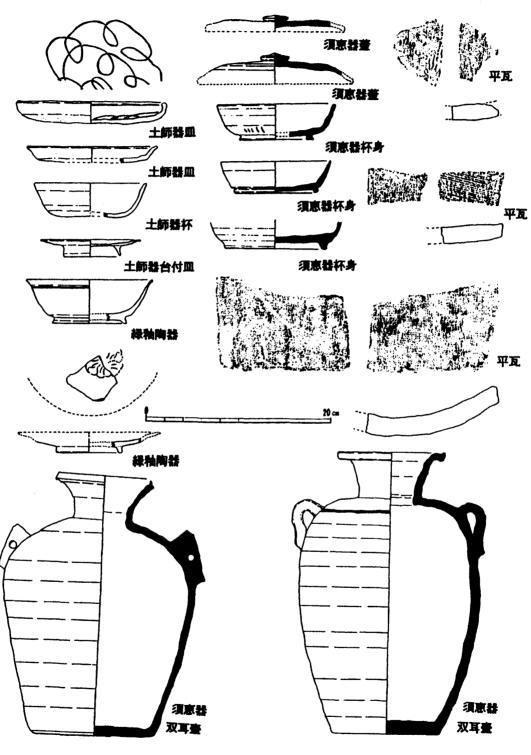
古墳時代の土器が少量ありますが、大部分が奈良~平安時代のものです。中でも溝1の上面から完形の須恵器双耳壷が2個出土したり、近江産・京都産・猿投産の緑釉陶器片が100点近くあるのが注目されます。その他、漆の付着した土器や円面硯、墨書土器、平瓦、馬歯および須恵器杯・長顆壷、灰釉陶器、土師器杯・皿・高杯・台付皿、ロクロ製土師器、黒色土器、砥石があり、食器類が多いのが特徴です。

(3) まとめ

「国町」を地元の人は「こくっちょ」と俗称すると言います。瓦や文字資料が少なく、建物の配置や規模が明らかでない現段階では、国町遺跡を伊賀国府と断定することはできませんが、可能性は高いと思われます。一方、従来の推定地である柘植川南岸の印代地区や一之宮・千才地区は確認調査の結果、国府跡の可能性はほとんど無くなったと言えるでしょう。



第8図 遺構略測図(1:800)

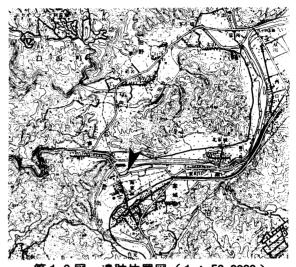


第9図 遺物実測図(1:4)

No. 2 6	遺跡名 いま の 家 野 遺 跡					
所在地	一志郡白山町南家城字家野					
調査原因	県営圃場整備事業					
事業主体	津農林水産事務所					
調査機関	三重県教育委員会					
調査期間	H 1.7.17 ~ 9.29					
調査担当	服部久士、山岡裕、三枝義久					
調査面積	2, 200 m²					

1 はじめに

家野遺跡は、雲出川中流域右岸の標高65 m 前後の河岸段丘上に位置します。遺跡面積は 25,000 m²あり、昨年度は、今回の調査区の東



第10図 遺跡位置図(1:50,0000)

方約 200 mの排水路部分の調査が行なわれました。なお、調査区の南側部分は町道改良事業が予定されており、白山町教育委員会が調査主体となって同時に調査が実施されました。

2 調査の概要

(1) 遺 構

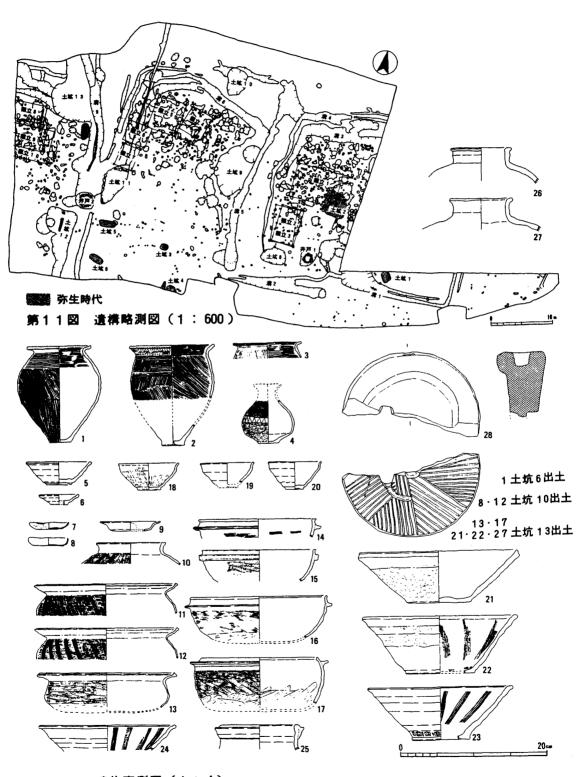
今回の調査では、弥生時代中期と室町時代を中心とした遺構が検出されました。弥生時代の遺構は 1~2 mの楕円形で、深さ数十cmを測る土坑が7基あります。土坑6からは完全な形の甕が出土しています。室町時代の遺構は、15~16世紀が中心であり、南側を除く三方向を溝で囲んだ屋敷地が三区 画分検出されました。溝は巾0.3~1 mで、深さ0.2~0.7 mあり、何回かつけかえられています。柱穴は、径数十cmの円形で深さ0.3~0.5 mあり、中には根石をもつものがありますが、屋敷地内の北側部分に多数集中しています。また、人頭大以上の石を円形に組み、深さ1.5 mと比較的浅い石組井戸が2基と、径1~3 mと大きな土坑や水榴施設と考えられる石の並んだ土坑などが検出されています。土坑13は深さ1 m程で40~60 cm大の石が入っており、多数の土師器鍋、羽釜などが出土しました。

(2) 遺物

縄文時代前期の羽状縄文をもつ土器片や中期の土器片が数点とサヌカイト製の石匙や石錐、石鏃、石錘が出土しています。弥生土器は中期の甕や壷がほとんどであり、完形の甕もあります。鎌倉〜室町時代の遺物には、山茶椀・山皿、土師器鍋、瓦器が若干ありますが、大部分は15~16世紀のもので土師器鍋・羽釜・茶釜・小皿、常滑産や設楽産の甕や擂鉢・捏鉢、天目茶椀、灰釉皿、志野小皿、鉄釉小皿などの陶器類や土錘、石臼、茶臼が出土しています。

3 まとめ

今回の調査区は遺跡の西端部分にあたり、弥生時代中期の土坑があるものの、室町時代後半の集落跡と言えます。浅い溝で区画された3つの屋敷地が想定され、敷地の北側部分に柱穴が集中し、何度も掘立柱建物の建替えがうかがえます。建物の南側には作業場としての庭のような空間があり、共同井戸も見られます。15世紀後半~16世紀前半の遺物が量的には多く、当時の農民層の集落や生活を考える上で貴重な資料と言えます。



第12図 遺物実測図(1:4)

3. 緊急発掘調査概要〈埋蔵文化財センター・市町村〉

		1 似 大 \	生農又1	に財センタ				
No.	遺跡名	中尾山遺跡	<u> </u>		所在地	四日市市山	山田町中尾山	
調査原因	県営圃場整備	請事業	事業主体	四日市農林	事務所	調査機関	三重県教育	
調査期間	H 1.7.31~	H 8.11	調査面積	7 0 0 m ²		担当者	堀田 隆長、	服部一人人
遺	跡 の	概	要	主	な遺	 構	主	な遺物
今回の調 うけて遺跡と いてわれた。 を営まれた で営まれた	調査は、圃場製 地の上で、日 : 確認された系 と、奈良時代な こと考えられ、 こと考えられ、 こと石土坑1基な	1年5月の 内700㎡の シら室町町 室町時代	って削平を の試掘にお の範囲で行 時代後期ま	・室町時代(c・室町時代は・室町時後期に・室町町後和は・ピット、	の石組土り の集石土り の溝1条 1基	元 2基	・奈良時代 須恵器	杯蓋片 杯身片
関連文献								
No. 2	遺跡名	と 田 道	跡		所在地	鈴鹿市徳居	- 町字敷田	
調査原因	県営圃場整備		事業主体	四日市農林	事務所	調査機関	三重県教育	委員会
調査期間	H 1.5.8 ~ 7.		調査面積	1, 9 0 0 m ²		担当者	服部 芳人、	. 三枝 義久
遺	跡 の	概	要	主	な遺	構	主	
基穴 大すっと 大する角 と	と方において、これによった。これで、これで、これで、これで、これで、これで、出たで、出して、出して、出けで、出けで、間、出けで、間、は方は、また。	はうに 埋納 中央ら 大の間 で で で で で で で で で で で で で で で の で の に で の に に の に の	内された小 国に流れる に溝に合流 こ囲まれた 国方向の掘	・平安後期 ・鎌倉前半- ・鎌倉前半-	——大溝 2 ——掘立木		・黒山常子 ・黒山常石 ・黒山常石 ・ 大学 ・ 土灰 ・ 土灰 ・ 土 ・ 土 ・ 土 ・ 土 ・ 土 ・ 土 ・ 土	
関連文献								
No. 3	遺跡名	ちきただい コ北台遺跡	<u> </u>		所在地	鈴鹿市徳居	居町字口北台	
調査原因	県営圃場整備		事業主体	四日市農林	事務所	調査機関	三重県教育	委員会
調査期間	H 1.7.4		調査面積	1 3 0 m ²		担当者	服部 芳人、	
遺			要	主	な遺	構	÷.	
130 ㎡ と正 ることはで また、 で遺跡のF	が、排水路部分面積も少ないができなかった。 は本椀の細片が できなかった。 は本椀の細片が 日心は、今回の もものと思われ	こめ、遺構 が数点出力 D調査区の	構を検出す としただけ	ţ		l	山茶椀の細)	
関連文献	<u> </u>	TITLE A						
No. 4	遺跡名	しじょう 互条遺跡	-	<u> </u>	所在地	鈴鹿市三年	と町西条	
調査原因	県営圃場整備	帯事業	事業主体	四日市農林	事務所	調査機関	三重県教育	委員会
調査期間	H 1.7.11~	7. 18	調査面積	2 9 0 m²		担当者	服部 芳人、	、渡辺 尚登
居址1棟、 を検出した たが、建物 また、記	防の 阿西隅で、縄3 室町時代のこ こ。また、小5 が址となわい 場査区北海無でる	上坑1基、 て群も十数 は不明で <i>は</i> うは自然の	学の竪穴柱 井戸2基 牧個検出し	主 ・竪穴柱居は ・土井戸とも ・井戸を寝 ・暗寝 世	业 1棟 明後半)	構	主 ・縄文土器 ・叩き石 ・山茶椀 ・羽釜、鍋、	な遺物
関連文献							·	

N 6	5 遺跡名 山内東海路		武を地	一手用井田	系町工 <i>社党</i> 小之市
			所在地	 	野町下村字山之東 三重県教育委員会
調査原因	県営圃場整備事業	事業主体	四日市農林事務所	調査機関	
調査期間	H 1. 10. 13 ~ 10. 16	調査面積	7 0 m²	担当者	
遺	跡の概_	要	主な遺構	<u> </u>	主 な 遺 物
面積も70m した。2差	てよって削平される部分 ぱとせまいが、火葬墓: 基ともに、80×90cm程度 るが、その周囲に囲む。 た。	基を検出 この隅丸方	火葬墓 2基		· 釘 数本 · 骨
加文重製					
7	6 遺跡名 かみいのき	. D.##	所在地	亀山市[[]	 合町字上椎ノ木
調査原因	一般国道1号単山バイ パス 建設事業	事業主体	建設省中部地方建設局	†	三重県教育委員会
調査期間	パス 建設事業 H 1.4.17 ~ 1.7.26	調査面積	5 0 0 m ²	担当者	响 田 利治、浅尾 悟、
	<u> </u>				近藤 健、平子 弘
遺	上上 の 概	要	主な遺	構	主な遺物
22m(現)	n程の丘陵上に位置し、 記17m)、東西径18m、 で、築造時期は 4 世紀え	高さ3.4	墓城掘形は22m 隅丸長方形、粘土槨に 長さ54mで割竹形 られていたと思われ 設としては、墳丘北 の葺石が認められた。	は幅 1. 1 m 木棺が据え る。外部施 斜面に二段	舶載四神鏡(1) 碧玉製石釧(1) 葉蠟石製小型丸底壺(1) 翡翠製丁字頭勾玉(1) 琥珀製勾玉(1) 瑪瑙製勾玉(3) 碧玉、滑石・緑色凝灰岩製管玉 ガラス製小玉(3) 鉄斧(1)
関連文献 Na.	6 遺跡名 かみひめる	自然	所在地	亀山市川台	
調査原因	一般国道」号亀山バイスタ東京	事業主体	建設省中部地方建設局	 	三重県教育委員会
調査期間	H 1.4.17 ~ 7.26	調査面積	2. 0 0 0 m²	担当者	駒田 利治、平子 弘、
遺	跡の概	要	主な遺	構	浅尾
地区の城倒が一次の域倒が一次では、一次が一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、	五鈴遺響』・「三国地元 宿跡に「別所城」・「利 の記載があり、と生も 「おま当する可能性区画し 「古状の丘陵地囲にとり囲んだ。」 「墳を郭にとり建物等は、 で実施したが建物等は、	口田堡」・ は推りする いたなない に考えられ	堀		山茶椀
関連文献	अंग्रेस अभावा ।				
	/ 遺跡名 大薮遺跡 (所在地	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	吉町字大数
調査原因	一般国道1号亀山バイバス建設事業	事業主体	建設省中部地方建設局		三重県教育委員会
調査期間	H 1. 10. 23 ~ 2. 2. 8	調査面積	4, 5 0 0 m ²	担当者	駒田 利治、平子 弘、 養尾 告、近藤 健
遺	跡 の 概	要	主な遺構	ļ	主な遺物
末期~鎌倉 中心の遺跡 特に平安	代〜奈良時代にかけてと	まれた集落	梱立柱建物 16棟 竪穴住居 4棟 土 5 中世墓 1 上 7 基 中世墓 1 火葬墓 1 メ 溝 4条		飛鳥時代 須恵時器、土師器、土錘 奈良恵器、土師器 平安納陶器、山茶椀、山皿、 土師器 鎌倉時代 山茶碗、山皿、白磁、 土師器、山子
関連文献					<u> </u>

	Set the An	2944		1	a	Armanda I ette
No. 7	遺跡名	おおやよ 大数遺跡 1号亀山バ 設事業	(B·C地区	(大) 所在地		宇町字大 数
調査原因	イパラ量	設事業 出		建設省中部地方建設局		三重県教育委員会
調査期間	H 1. 7. 17		調査面積	B地区2,050 m² C地区2,100 m²	担当者	B地区浅尾悟、C地区平子弘
遺	跡	の概		主な遺	構	主な遺物
高遺わりがもも断 線は査地がを的75跡れ、よ細各調Bに同前で、困に加総るこくか地査・よーのあB難は後でであるの発い区をCっ台状り地に良	のほろでである。現代のでは、これでは、これで、これで入なたは断にB地住の遺地約地洪おりる。現さあ地区宅た構とは区積り込む、在れっ区は地。を	のに50は台、んの 、てたが遺とに検方支位00A地Aでと 県はも住物いも出に、流置㎡地を一お思 道いの宅のうかで、・しに区侵Cりわ ・ると地散状かき問係て及の食地、れ 亀も思、布況わた題	おぶれす 又置た いぶれすな も方るの跡た しのいのに開各のめ 石、る区ら布、は 推とあ折間様、 水以。がれ調結、 大のに相分 深前調畑た査果今	奈(平(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	東条基基条 東基条 東基東条基 基	(B地区) 土部 税 () 土部 税 () 土部 税 () 土部 税 () 土師 税 () 上師 税 () 五郎 之 () 元 (
関連文献	○「一般	国道1号亀	山バイパスは	里蔵文化財発掘調査概望	ਓⅥ 」1990	·
No. 8	遺跡名	せんぱんづか 千本坂遺		所在地		告町字千本 塚
調査原因	イバラ星	1号亀山バ 設事業	事業主体	建設省中部地方建設局		三重県教育委員会
調査期間			調査面積	1, 2 3 0 m²	担当者	駒田 利治
遺	跡	の概	要	主な遺	構	主な遺物
丘陵上に営 である。 飛鳥時代れ、奈良昭	さまれた飛 たでは、 竪 持代は 3 間 引の倉庫・	た標高51mi 鳥・奈良時6 穴住居、土坎 × 2間の梱以 土坑をともが	代の集落跡 元で構成さ 江柱建物に	竪穴住居 1 棟 捆立柱建物 5 棟 土坑 3 基		縄文土器、土師器、須恵器
関連文献						

No. 9 遺跡名 下 川	Sets 1944	所在地	安芸那芸術	
No. 9 運動名 下 川 調査原因 県営圃場整備事業	遺 <u>跡</u> 事業主体	津農林水産事務所	調査機関	三重県教育委員会
	+			宮田勝功、渡辺尚登、東成志
調査期間 H 1.7.30 ~ 12.22	調査面積	3,980 ㎡本調査 1,170 ㎡ 寸合い調査	担当者	
遺跡の概	要		構	
平安時代から室町時代を中心 址で、遺跡のすぐ西方に位置す と同時代に存続しており、関 れる遺跡である。 また、古墳時代の竪穴住居も いる。	古墳時代 竪穴住居 1棟 平安時代建物 3棟 棚 1条 鎌倉立柱建物 2棟 棚か 2棟 押戸 6基 他に溝、土坑などが	がある。	・古墳時代 須恵器杯、甕 ・平安時代 緑釉陶室町時代 ・鎌倉〜室町時代 土師器皿、鍋、羽釜、 天目茶椀、瀬戸小皿 他にフィゴ羽口、鉄滓や和鏡 も出土している。	
関連文献				
No. 10 遺跡名 光明寺遺	跡(本調査)) 所在地	安芸郡安建	農 町光明寺東戸部
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	津農林水産事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1.12.11 ~ 12.15	調査面積	175 m²	担当者	堀田 隆長
遺跡の概	 要	主な遺	構	主な遺物
削平をうける田1枚175㎡に 調査を行た。調査を日本での北東本 の下に場合に の下に場合の自然では では、いまでは では、いまでは では、いまでは では、いまでは では、いまでは では、いまでは では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで では、いまで でいまで でいまで でいまで でいまで でいまで でいまで でいまで	でめ黄る 出甕身 調土果作たレス 、な出 のがに 水量粉 区片 査器 区片 査器 とりがに する でいた は のがに ない のがに は かんしょう かんしょう は はんしょう はんしょく はんしょ はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしん はんしん はんしん はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん	・溝 2条うち1条は弥生時代・土坑 弥生時代	寺代	・弥生土器 ・高付表
関連文献		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>	
No. 10 遺跡名 光明寺遺				野光明寺東戸部
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	津農林水産事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1.11.2	調査面積	3 0 0 m ²	担当者	堀田 隆長、福田 哲也
遺跡の概	要		構	主な遺物
事業地内遺跡面積 6,000 ㎡の される 300 ㎡につき、立合調査 結果、遺構、遺物とも確認で て遺跡の中心は調査区より西側 と考えられる。	を行った。 きず、よっ	なし		なし
関連文献		~		

Mr. 11 遺跡名 迎 山 j	貴 跡		所在地	安芸郡安徽	豊町今宿	東字迎:	<u></u>	
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	津農林水産	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	調査機関		教育		
調査期間 H 1.11.1~11.14	調査面積	3 3 0 m ²		担当者			福田	哲也
遺跡の概	要	主	な 遺	構			な遺	
事は、	う。 X は こ 長、中や も近輪 田 高、 査 B れら 5.00も形 出の混 古 間区区 な多 5中、象 し古入 墳 平がを か量 mか線埴 て墳し 群	主 B区ピッ・・ 満1条	 ト群 宮町時代)	开	一二 角片 円筒埴輔 ジ象埴輔	全	物
関連文献								
No. 13 遺跡名 芝垣内遺跡			所在地	安芸郡美				
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	津農林水産	事務所	調査機関		教育		
調査期間 H 1.10.19 ~ 10.26	調査面積	6 0 0 m²		担当者	堀田		福田	哲也
遺跡の概	要	主	な遺	構	<u> </u>	主	な遺	物
事業地内遺跡面積 2,200 ㎡のうち削平される部分 600 ㎡で、立合調査を行った。調査区となった田面の高さがそれぞれ異なり、棚田状となっているため、便宜的に A地区~下地区まで区分けをして調査を行なった。					: E			
関連文献								
No. 14 遺跡名 大垣内遺跡			所在地	安芸郡美里				
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	津農林水産	務所	調査機関	三重则	教育	委員会	
調査期間 H 1.10.19	調査面積	1 5 0 m²		担当者	堀田	隆長、		直純
遺跡の概		なし	<u>な</u> 遺	構	な	<u>-</u> 主 し	な 遺	物
をうける部分 150 ㎡ の立合調査 その結果、耕作土直下が黄褐色 の地山であり、遺物、遺構ともさった。	色レキ混り							
関連文献								

	* ***********************		-	ar to uh	/+ ##7 * F	9.社会武会亚州
No. 1 5	1.5			所在地		里村家所字西田
調査原因	県営圃場整備事業	事業主体	津農林水産	事務 所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.11.13 ~ 11.17	調査面積	1, 0 0 0 m ²		担当者	小林 秀、福田 哲也
遺	跡の概	·要 	主	な 遺	構 ————	主な遺物
ごく新しい 遺構を検出 また遺物	ケ所にわかれて行った ・溝と若干の小穴のみ はできなかった。 なも小片が多いので、注 :考えられる。	で目立った	溝 1条 時期不明 小穴、土坑等 鎌倉~近世			鎌倉時代 山茶椀 中世の鍋
関連文献						
No. 16	遺跡名 河 碕	油中		所在地	建市大田町	
調査原因	県営圃場整備事業	遺 <u>跡</u> 事業主体	津農林水産		調査機関	三重県教育委員会
				P10101	担当者	
調査期間	H 1.11.8	調査面積	6 0 m ²	- 'm		
遺	- 跡 の 概	要	王	な遺	構	主な遺物
上に位置す	左岸の標高7m前後6 ↑る。幅2mの排水路3 こめ、中世の小溝が1彡 まる。	部分の調査	・溝鎌倉時代	代後半		鎌倉時代後半 ・土師器鍋・小皿・山茶椀
関連文献						
No. 1 7	/ 遺跡名 松ノ木遺	lish		所在地	津市安東町	 丁字樫ノ木
調査原因	一般国道23号 中勢道路建設事業	事業主体	建設省中部地	方建設局	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	中 芳坦哈廷 赵争来 H 1.4.20 ~ 2.1.6	調査面積	7. 8 0 0 m ²	-, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -	担当者	村木 一弥、竹内 英昭
遺	跡の概	要		な 遺		主な遺物
方に位置しある。調査ら中世に至特に、低地	松ノ木遺跡は安濃川の左岸納所遺跡の西方に位置し、現況は標高7~8mの水田である。調査の結果、微高地上で縄文晩期から中世に至る遺構を検出した。特に、低地部で縄文晩期の竪穴住居が確認された例は少なく、注目に値する。			1棟 1条 & 4基 & び中世以	以降	○縄文晚期 浅鉢、深鉢、打製石斧 ○弥生中期 壺、木製鋤 帆立貝型 木製品 ○古墳時代 土師器、須恵器、有孔円板
関連文献						
No. 18	遺跡名 森山東遺跡			所在地	津市長岡町	[字宮ノ前]
調査原因	一般国道23号 中勢道路建設事業	事業主体	建設省中部地	方建設局	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.4.15 ~ 6.24	調査面積	1, 0 0 0 m²		担当者	増田 安生
遺	跡の概	要	主	 な 遺		主な遺物
外生水では ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	『も上層水田が検出され 8面確認されたが、南≟	D南E地区 れ、北半分けでは消でした。	小区画水田 上層部 55 下層部 *	8面 匀65面		弥生時代前期 壺 中期〜後期の高杯・ 壷底部
関連文献					,l	

No. 19 遺跡名 考っ 前遺		所在地	建市長岡田	丁字宮ノ前
調査原因 一般国直23号	事業主体	建設省中部地方建設局		三重県教育委員会
調査期間 H 1.5.1 ~ 2.3.17	調査面積	2. 7 0 0 m ²	担当者	浅生 悦生、増田 安生
遺跡の概	要	主な遺	L	主な遺物
見当山丘陵部の南斜面で、旧になっていた所に厚い己含層にわたって遺構がり、5層にわたって遺構が代任居・地文時代の土坑、弥生時代住居跡、掘立柱建物跡、遺物層の中から各時代のものが多量かに埴輪馬や円面硯も出土して	が推積しています。 出跡、厚いは、時積に出土。 は出土。な	組文時代 土坑1 弥生時代、住居跡 4 坊生時代、住居跡 6 掘立柱建物 数棟 井戸跡 3 溝		縄文時代 中期〜後期 深鉢、石鉾、石斧 弥生時代 ・壺、蹇、土錘、刃器 古墳時代 須恵器杯、土師器甕、壺 奈良〜平安時代 ・土師器、杯、皿、円面硯3、 灰釉陶器 中世〜 山茶椀、五輪塔 ほか
関連文献				by the BB life
Na 20 遺跡名 門脇北古		所在地	津市河辺町	Y
調査原因 一般国道23号中势道路建設事業	事業主体	建設省中部地方建設局		三重県教育委員会
調査期間 H 2.1.17 ~ 3.17	調査面積	1, 1 0 0 m²	担当者	村木 一弥、竹内 英昭
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
丘陵尾根を大きく 掘り割ってがで、径約18mの墳丘をもつ。墳密に円筒埴輪が並べられ、特に分において原位置を保つものがられた。	丘裾部には 墳丘の西半	主体部は墳丘の中5 みで、規模は全長3.9 2.0 mである。本棺1 られるが、盗掘をうり 棺痕跡は原形を留めて	m、幅 恒葬と考え けており、	○主任 ・主体 ・主体 ・主体 ・主体 ・主体 ・主体 ・主体 ・主体
関連文献 No. 2 1 遺跡名 ***		乖左₩	建去河河	Tr字山鄉
No. 2 1 遺跡名 中美道路 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	遺跡 事業主体	建設省中部地方建設局	津市河辺町調査機関	三重県教育委員会
	調査面積	1, 1 0 0 m ²	担当者	浅生 悦生、増田 安生
遺跡の概	要		構	主な遺物
見当山丘陵部内の谷水田の入面にあり、弥生時代中期の竪穴検出された。 住居跡は5.0 m前後で、深さい。主柱穴があり、中央に炉跡等高線に沿う形で、ならんで弥生土器の他、多種類の石器でおり、土坑は小工房跡の可能れる。	り組んだ斜 住居跡 8 が 0.5 m と深 をもつ。 位置する。 類が出土し	竪穴住居跡 8 土坑 1		弥生時代中期以降 甕・壺・台付鉢など 土錘 石器類、石包丁、蛤刃石斧、 扁平片刃石斧、石鏃、刃器
関連文献		·		

Na. 23 遺跡名 構垣內遺	*	所在地	津市大里	全田町字橋垣内
調査原因 一般国道23号 中势道路建設事業	事業主体	建設省中部地方建設局		三重県教育委員会
調査期間 H 1 4 27 ~ 2 3.17	調査面積	6, 5 4 0 m²	担当者	森川 幸雄、油田 秀紀
遺跡の概	要	 	構	主な遺物
弥生時代中期の方形周滯墓と出され、当時の墓域の成立の様持たれる。また、古墳時代後期が代にかけての住居跡が54棟以平城京跡出土の木簡に見られる伎郡久善多里」との関係にも注り	子に興味が いら平安時 上検出され 「伊世 国奄	○ 弥生時代 ・ ・ 本 ・ ・ 本 ・ ・ 本 ・ ・ 本 ・ ・ 本 ・ ・ 大 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	基 条 時代 東 東以上 基 を	
関連文献 Na. 2 4 遺跡名 峯治城跡		所在地	津市—身F	日上津部田字オの坪
調査原因 都市計画道 調査原因 豊里久居線改良工事	事業主体	津土木事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 <u>豊里久居線改良工事</u> 調査期間 H 1 8 1~ 2 2 10	調査面積	3.000m²	担当者	田中喜久雄、田中久生、穂積裕昌
遺跡の概	要		構	主な遺物
佐脇勝久によって応永年間に多永禄11年(1568)に織田信長に。されたとされる。(『伊勢名勝志調査の結果、室町時代から江戸にかけて営まれたと考えられる。第1郭から井戸が検出されたとづへの導入路の配置などから居住で築城されたと考えられる。 比高差約14m、面積20,000㎡勢平野にあっては大規模なものな	土師器、皿、羽釜、山茶椀、 天目茶椀、常滑焼甕、擂鉢、揑鉢 青磁片、白磁壷、硯片 など			
関連文献		Ter ent	-1- pp (str	
No. 27 遺跡名 井之広遺蹟		所在地		野町釜生田字井之広 「二季県**・安季県 A
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	津農林水産事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1.5.2 ~ 6.26	調査面積	2, 7 9 0 m ²	担当者	小林 秀、福田 哲也
遺 跡 の 概 昭和63年度調査の釜生田遺跡の際に位置する。縄文時代早期をF 比較的時代幅のせまい遺跡である 検出遺構の中に縄文時代早期のあり注目される。又、長さ6.5 cmのが出土していることも特記される	P心とした る。 O屋外炉が Oポイント	主な遺 竪穴住居:14棟以上 縄文早期 屋外炉:1基 縄文早期 土坑など 縄文早期〜後期	144	主 な 遺 物 縄文時代早期 土器片:ネガディブの押型文 石器:石槍、スリ石 縄文時代後期 土器片 奈良時代 須恵器:杯
関連文献				

No. 2 8	8 遺跡名 堀ノ内遺跡		所在地	一志郡嬉里	所加リウ
調査原因	県道丹生寺・一志線改良	事業主体	久居土木事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	(1次)1047	調査面積	154m²(1次) 800m²(2次)	担当者	田中喜久雄
遺	跡 の 概	要		 構	主な遺物
で、地目に 1次調査 ことが判明 で調査を手 古墳時代	古岸に広がる広大な沖れ は水田である。 なの結果、遺跡は広範 明、道路改良部分約80 実施した。 大一奈良時代の遺構が呼 中世までの遺物を確認・	こひろがる 0 ㎡につい 中心で 、縄	掘立柱建物 4棟以上 大溝 1条		須恵器、杯、他多量 土師器、 甕
関連文献	近畿自動車道(久居	~勢和)埋了	文調査概報 II・Ⅳ・Ⅴ		
No. 2 9	9 遺跡名 伊勢寺遺跡		所在地	松阪市伊勢	势寺町
調査原因	県営圃場整備事業	事業主体	松阪農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.5.8 ~ 6.9	調査面積	8 0 0 m²	担当者	宮田 勝功、東 成志
遺	跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
飛鳥時代から平安時代にいたる集落址。			飛鳥〜奈良時代 竪穴住居 5 棟 平安時代 堀立柱建物 2 棟 他に溝、土坑など。	がある。	土師器 杯、甕、高杯、 須恵器杯蓋 など 特に土馬の脚部も出土して いる。
関連文献					
No. 2 9	9 遺跡名 伊勢寺廃	j	所在地	松阪市伊勢	势寺町
調査原因	県営圃場整備事業	事業主体	松阪農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1. 6. 14 ~ 7. 6	調査面積	1, 3 0 0 m ²	担当者	宮田 勝功、東 成志
遺	跡の概	要	主な遺	構	主 な 遺 物
に向きを変 昨年度に核 現国分寺を	伊勢寺廃寺の北方域の調査で、南から東に向きを変える幅4mほどの大溝を検出し昨年度に検出した大溝と一連のものであり現国分寺を中心とする伊勢寺廃寺の北限を画する大溝と考えられる。		奈良時代から室町時代 大溝 1条 大溝 4~5条 澤等時代 1棟 竪穴住居 1棟 堀町時代 1棟 室面時代 1基 室面時代 1基 奈良時代 1基 奈良せ口 甕 棺墓 1基 など		・瓦 (土のう袋120ほど) ・奈良時代 (土師器杯、甕、須恵器杯) ・平安時代 土師器杯多量 ・室町時代 土師器鍋多量 など ・特に須弥山と思われる三彩陶 器が出土している。
関連文献				T	
No. 3 (1 1 /	·	所在地	松阪市伊勢	
調査原因	県営圃場整備事業	事業主体		調査機関	三重県教育委員会
調査機関	H 1.9.18 ~ 10.12	調査面積	9 4 0 m ²	担当者	堀田 隆長、倉田 直純
遺	跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
3 地点(仮た)で、記 た)で、記 結果、名	易整備によって削平を 更宜上、排水路、A区、 関査を行った。 条良時代から平安時代 舌が営まれたことがわっ	B区とし こかけて断	• B地区 · 掘立柱建物 2×3間以上 2×4間以上 2×2間以上		奈良~平安時代 ·須恵器 杯身、杯蓋、長頸壺 ·土師器 杯、蹇
	 		· 溝 2条 · 奈良~平安 ·		

No. 3 1	遺跡名 ゆいおうじ 向王子B	海跡	所在:	也 松阪市伊	
調査原因	県営圃場整備事業	事業主体	松阪農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.10.2 ~ 10.12	調査面積	3 2 0 m ²	担当者	小林 秀、福田 哲也
遺	跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
中国の調査は遺跡の範囲 17,000㎡の内、排水路などで掘削される 320㎡について行ない、室町時代後期の遺構を検出した。主なものは掘立柱建物、溝、土坑等がある。その他多くのピットを確認したが、幅3m弱のトレンチ状の調査であったため建物として確定はできなかった。		- 掘立柱建物 1棟 ・柱 列 1条 ・土 坑 5基 ・溝 5条 すべて室町時代後期		○室町時代後期 ・土師器、皿、鍋 ・石製品 石臼 ・瓦質土器 火舎 ・陶器 常滑甕、菊花皿、擂鉢、 鉄釉小椀 ○近世陶器	
関連文献) B.Dr. 67		また	u kor=m	钟于亚上与中
No. 3 2	1 // (25) 1/62	† 	所在:		勢寺町大垣内 一手唱状 存手 日 A
調査原因	県営圃場整備事業	事業主体	松阪農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1. 9. 18 ~ 9. 29	調査面積	4 7 0 m²	担当者	
調査区はまする。 国本の関係である。	跡 の 概 は国分寺と竜泉寺の間は 非水路部分に限られコロ がせまいので、顕著なご 受穴住居1棟、鎌倉時代 5。	の字形を呈遺構は、奈代の溝1条	主な過 ・奈良時代 竪穴住居址 1 棟 ・鎌倉時代 溝 1 条	. 構	主 な 遺 物 ・奈良時代 土師器 ・中世陶器 など
関連文献 No. 3 3 調査原因	3 遺跡名 大 足 ; 県営圃場整備事業	遺 跡 事業主体	所在: 松阪農林事務所	地 松阪市大湖 調査機関	足町字ハサマ 三重県教育委員会
調査期間	H 1. 9. 8 ~ 9. 22	調査面積	3 2 0 m²	担当者	小林 秀、服部芳人、福田哲也
遺	跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
今回の調査は遺跡の範囲 6,300 ㎡の内、 排水路で確削される 320 ㎡について行った。 結果は、遺物を多く含んだ溝状のものや 土坑状の大きな落ち込みを検出したが、調 査区が幅3 mのトレンチ状であったため、 これら遺構の性格を確定することができなかった。ただ、出土した二重口縁壺(底部 穿孔)や滑石製の有孔円板等の存在は、当 遺跡の性格を探る上で重要である。					
関連文献					
No. 3 4		貴 跡	所在均	松阪市伊	势寺町鳥戸
調査原因	県直合ケ野松阪線 道路改良工事	事業主体	松阪土木事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.5.15 ~ 7.14	調査面積	2, 2 8 0 m²	担当者	田中 久生、穂積 裕昌
遺	跡 の 概	要	主な遺	構	主な遺物
奈良、平安時代の遺構・遺物を中心とす るが、遺物出土量の割には遺構密度は薄い。 溝 土坑 中世墓			溝		縄文土器片 土師器、甕、椀、皿 須恵器、甕、杯 山茶椀、天目茶椀、中世陶器 など
関連文献					

No. 35 遺跡名 本 郷 :		所在地	多気郡明	和町明星字本郷
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	松阪農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1.7.3 ~ 7.14	調査面積	5 1 0 m ²	担当者	
遺跡の概	要	主な遺	<u> </u>	主な遺物
本郷集落の北方、標高13m前に営まれた弥生時代から中世に跡で、面積約11万㎡に及ぶ。今は、その西辺部に位置し、溝に世村落の一端が検出された。	至る複合遺 回の調査地	平安時代末期 ・掘立 6条 ・土坑 3 近 世 ・溝 2条 ・土坑 2	Į.	平安時代末期 ・土師器皿、小皿、鍋、鉢、 山茶椀 近世 ・土師器小皿、鍋 その他 土錘、石錘
関連文献				
No. 3 6 そとやま 外山遺跡(本調査) .	所在地	多気郡明和	和町養村字外山
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	松阪農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1.7.17~8.11	調査面積	1, 2 0 0 m²	担当者	小林 秀、福田 哲也
遺跡の概	要	主な遺	構	主 な 遺 物
調査区はA・Bの2区にわかからは、一辺約4mの土坑2基出され注目される。ここからは中心に多種の土器が多量に出土らの土器のほとんどが未使用品土器製作所のあることを想起さるB区からは目立った遺物・遺れなかった。	の遺構が検 はウェンに かった、近く でして。	A区 土器留り:2基 江戸な時代後期 土坑戸が時代後期 田区 おび戸時代後期 日区 おい戸 おい戸 おい戸 おい戸 おい戸 おい戸 おい戸 おい戸		A区 江戸時代後期 ・土師器:小皿、皿、ホウロク、 鉢、土錘、羽釜、茶釜 ・取手羽付茶釜形注口土器、鍋 ・施釉陶器:椀 ・丸瓦 ・硯 ・銅銭:寛永通宝
関連文献				
Na. 3 6 遺跡名 外山遺跡	(立合)	所在地	多気郡明和	—————————————————————————————————————
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	松阪農林事務所		三重県教育委員会
調査期間 H 1.9.4 ~ 10.16	調査面積	8 0 0 m ²	担当者	
遺跡の概	要	主な遺		主な遺物
┃いる。1次、2次あわせて平安~鎌倉時代┃ 平安末~鎌倉時代 ┃2次調査				・土師器、甕、椀、皿、山茶椀
関連文献				l
	遺跡	所在地	多気郡勢和	和村丹生字西冲
調査原因 県営圃場整備事業	事業主体	松阪農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1.10.19	調査面積	1 8 0 m²	担当者	小林 秀、福田哲也
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
試掘の結果確定した遺跡範囲内、排水路で掘削される部分に調査を行った。 結果は遺物、遺構とも発見でよって本調査区は同遺跡の中心ずれていたものと考えられる。	ついてのみ きなかった。	15	L	なし

No. 38 遺跡名 佐奈水銀		所在地	多気郡多気	え町前村字一ノ谷
調査原因 (勢和~伊勢)建設事業	事業主体	日本道路公団	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1 1 6 ~ 3.2 0	調査面積	4 0 0 m²	担当者	田村陽一
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
北に開く細長い小谷の東西の[5カ所の坑口が残る。 各坑口および坑道の略測と写真		なし		なし
施した。 各坑ともさほど複雑な坑道でに度も浅い。 西方約3kmに所在する丹生水道の関連で注目されるが、古い文制 在のところ確認されていない。	最鉱山跡と			
関連文献			A ENGL	They shall be be a second as the second as t
No. 39 遺跡名 牛バサマA 理本原因 近畿自動車道		所在地	<u> </u>	記町成川字定越 「一季県 <u>米</u> 奈季県会
	事業主体	日本道路公団	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1 11 17 ~ 2 1 11	調査面積	1, 5 0 0 m²	担当者	山崎恒哉
遺跡の概 主に奈良時代から中・近世にかり	要	主 な 遺 溝7条、土坑 2基	構	主な遺物
であるが、耕地化の折の削平を登入を状況は良くない。		柱穴は多く検出され物跡の確認までは至ら		須恵器杯身・杯蓋 土師器杯・甕 ・中世か器・山 ・一本の地 ・一本の ・一本の ・一本の ・一本の ・一本の ・一本の ・一本の ・一本の
関連文献 No. 4 0 遺跡名 牛バサマ	D ABB#	所在地	名与那名与	試町成川字ナルコ
- 19-15-15-15-15-15-15-15-15-15-15-15-15-15-	事業主体	日本道路公団	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1.5.8 ~ 1.8.8	調査面積	4, 5 0 0 m ²	担当者	江尻健
遺跡の概	要	_ 	<u>上一一日</u> 構	主な遺物
宮川佐岸の山塊から北流する谷筋にある標高70m前後の扇状地。 調査区を便宜上東区・中央区・西区に分けて調査を行った。 遺構密度は希薄であったが、縄文時代早期~鎌倉時代後半までの遺物が出土した。		東区一弥生〜古墳の ピット 平安市期の焼土 ・ ク ピット 包含層 中央区一鎌倉後半の掘立柱建物 (総柱) 2棟 ・ 時期不明の掘立柱建物 1棟 西区一遺構はなし 縄文時代早期の旧河道		東区 甕(完形) 土錘杯・側・製塩土器 山茶碗・青磁碗 中央路線・青磁碗 青磁区 半年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年
関連文献				

No. 41 遺跡名 浦ノ内遺跡	亦	所在地	度会郡玉城	成町積良字浦ノ内
調査原因 近畿自動車道 (勢和~伊勢)建設事業	事業主体	日本道路公団	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 2.2.5 ~ 3.20	調査面積	2, 0 0 0 m²	担当者	江尻 健
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
宮川左岸国東山塊から北流すり、現況は水田。 調査の結果、昭和50年代の圃場め、大規模な攪乱を受けており、出されなかった。しかし包含層は遺物はかなり出土しており、以間営みのあったととは確かなよ方なお、積良は伊勢神宮内宮が「氏の旧地とされる。	易整備のた 遺構は終ら 出土ながら 前に入っの である。	<i>t</i> s	ر ا	※包含層出土 ・縄文後期前葉の磨消縄文、無 節縄文、サヌカイト片 ・平安以前の土師器皿 ・土師器為、土師器茶釜 ・青磁椀、天目茶椀 ・ 鉄和小皿、近世陶器 ・北宋銭、明銭 ・寛永通宝、木製品(牛の鼻輪) ・木製橋
 関連文献 建久三年(1192)皇	太神宮年中	L 行事		
No. 4 2 遺跡名 桶ノ木遺跡	 亦	所在地	度会郡玉城	武町勝田字楠ノ木他
調査原因 近畿自動車道 (勢和~伊勢)建設事業	事業主体	日本道路公団	調査機関	三重県教育委員会
調査期間 H 1.6.29 ~ 11.17	調査面積	6, 8 9 0 m²	担当者	伊藤 裕偉
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
丘陵裾に形成された主に中世のある。平安時代末から室町時代代長期間に形成されたもので、A地に重複関係からは、屋敷地としての表えられる。また、縄文時代早期末に相当ったるものの、当該期の遺構としてもなかった。ただ、その存在のできい。	参期に 至 を を は で を で は で で で で で で で で で で で で で	掘立柱建物 14棟以 井戸、区画溝 中世土坻墓 鉄滓を多量に含んだ。	t坑など	中世土師器 1 陶器 1 磁器 小刀、毛抜き火打ち鎌などの 鉄製品 鞴の羽口 縄文早期高崎式および条痕文土 器
(三重県埋蔵文化財・			(勢和~伊勢	势)埋蔵文化財発掘調査概報 』 Ⅵ
No. 43 遺跡名 蚊山遺跡		所在地	度会郡玉城	成町岩出字蚊山·左郡· 塚 名
調査原因 近畿自動車道 (勢和~伊勢)建設事業	事業主体	日本道路公団	調査機関	
調査期間 H 1 5 16 ~ 2 3 31	調査面積	1 4, 0 0 0 m ²	担当名	小坂 宮広、魚谷 秦弘 前川 嘉宏、稲本 賢治
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
古墳時代と鎌倉時代の2時期6 古墳時代に群集墳が形成され、 された後、鎌倉時代に集落あるいなったものと考えられる。 鎌倉時代の庶民の生活を窺うる土師器皿・小皿・鍋などがっした。	それが削平 いは墓域と ことのでき	く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18基基 1 23 棟基 133 27 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	《古墳時代》 須恵器甕・・杯身・杯蓋 広口壺・・・杯身・杯蓋 付甕・焼・小型壺・壺 《鎌倉時代》 土青磁線、・小皿・鍋、山茶椀 青一一、小皿・鍋、山茶碗 青一一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一
関連文献		<u> </u>		

No. 4 4	遺跡名	容别海路			所在地	度会郡玉城	成町字塚名・ 所リ垣
調査原因	近畿自動車道 (勢和~伊勢)		事業主体	日本道路公団	i	調査機関	三重県教育委員会
	H 1. 5. 22 ~		調査面積	2. 6 0 0 m²		担当者	稲本 賢治、山崎 恒哉
遺	跡 の	 概	要		」 な 遺	構	主な遺物
集落及び墓 ある時間に分 また代のチ 器時代のチ	中頃が線が鎌倉の一世では、近畿をは、東京の一世では、東京の一世では、東京の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年の一十年	し形成され 期的に平安 代性が 能性出する が出土した	こかける では では では では でいた でいた でいた でいた でいた でいた でいた でいた	掘立柱建物 墓及び土坑 溝 石組遺構 配石遺構	4 棟 29基 25条 1 基 7 基		《上層》 土師器鍋・皿・小皿・ロクロ 土師器椀、山茶椀・山皿、青 磁椀・皿、白磁椀、 円形加工 陶磁製品 〈下層〉 削器、R.F、U.F、剥片、石 核
関連文献				<u> </u>			
No. 45	遺跡名	company 中ノ垣外i	計		所在地	伊勢市佐戸	(町字中ノ垣外
調査原因	近 聚 夏動車 ~伊勢)建	道(季和)	事業主体	日本道路公団	i	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.11.13~		調査面積	2, 1 0 0 m ²		担当者	前川 嘉宏
遺	跡 の		要	主,	 な 遺		主な遺物
調査区の	大部分が、 ており、検 はきわめて		事業による	· 掘立柱建物 平安時代 · 溝 2条 平安時代	沫		平安時代中ごろ 土師器、製塩土器、土錘など 平安時代末ごろ 土師器・山茶椀など
関連文献							
No. 4 6	遺跡名	である。 寺原 B 遺	<i>i</i> r		所在地	伊勢市佐/	\町字寺原
調査原因	近畿自動車道 (勢和~伊勢		事業主体	日本道路公団	i	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.11.13		調査面積	5 0 0 m²		担当者	角谷 泰弘
遺	跡 の	概	要	主,	な遺	構	主 な 遺 物
	末から鎌倉を確認、中世る。			土坑 5 基 (集石土坑 畑立柱建物 溝 2 条	1基)		土師器皿、小皿、鍋、山茶椀、 山皿、陶器鉢、蓋
関連文献							
No. 49	遺跡名	漫曲	越		所在地	上野市市部	78字澤田
調査原因	県営圃場整		事業主体	上野農林事務	所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.12.11	~ 12. 26	調査面積	5 0 0 m²		担当者	山岡 裕
遺	跡の	概	要	主,	な遺	構	主な遺物
いれ西出出 時良ま5のでいれ西出出 時良ま5のでいれ西出出 時良まで代時に棟規あるののれし回後代、検模っての期の正出でた。	た・重塚 ある は、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	園其良か 寺溝のはち有き。哀がの多 側立が加りませます。 のや土中1カるのや土中1カるのがのはの風い	はなり、 いまなのでは建出では いまが物が、れまでは は、物は柱と12 は、 いまは は、 いまは は、 いまは は、 いまは は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた は、 のまた と のまた と のまた と のまた と のまた と のまた と のまた と のまた と のまた と のまた と のまた と のまた と のまた と う と う と う と う と う と う と う と と う と う	· 田鎌溝弥奈建掘外鎌土土 旧鎌溝弥奈建掘外鎌土土 旧鎌溝弥奈建掘外鎌土土 上 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 生 日 物 立 生 自 城 坑 、 一 上 日 時 一 上 日 時 上 日 時 上 日 時 上 日 上 上 上 上 上 上 上 上 上	と期~古り り と期~古り	實時代1条2条	・弥生時代後期〜古墳時代 甕、土師器皿、土師器壺 ・奈良時代 須恵器杯身 ・平安時代 土師器皿、甕 ・鎌倉時代〜室町時代 瓦器椀、練鉢、擂鉢、瓦質鍋
1							

N- FO	遺跡名ぎり青ヶ		武大山	上野市才	<u> </u>
No. 5 0		遺跡	所在地		,
	県営圃場整備	事業主体	上野農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.11.15 ~ 12.8	調査面積	5 8 0 m²	担当者	山岡裕
遺	- 跡 の 概	要	主な遺	構 ————	主な遺物
しの代は定を活る建して改の、さう数のの物一て改の、さう数のの物一に物良てのっ断が検、いた物良でのっ断が検が、	がは、古の大学では、 がは、古の大学では、 がは、大学では、 がは、大学では、 がは、 がは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	丸山の水のでは、 は、 いのでは、 は、 いのでは、 は、 いのでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	· 溝 6 条 弥生時代 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	秦 東	 ・弥生時代後期 広口壺、長頸壺、甕、高杯 ・奈良時代 須惠器杯身、須恵器壺、近江 長甕時代 白田一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
関連文献	·				
No. 5 1	1 THE H	跡	所在地		#戸字浮田
調査原因	県営圃場整備事業	事業主体	上野農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.5.29 ~ 8.11	調査面積	2, 2 0 0 m²	担当者	中嶋 千年、荒木 昌俊
遺	跡 の 概	要	主な遺	構	主な遺物
安時墳市墳下後レ半の上ンの ・が後レ半の上ンの ・はははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははははは	「設定した。 はないた。 はないた。 がから、代出代は、 はないでは、 がから、 がから、 がののでは、 がのでは、 がのでは、 がいた代を間代は、 がいた代を間代れた代を間代れた。 がいたがいたがいた。 がいたがいたがいたがいた。 がであると がであると がであると	整 た た た た た た た が の 町 た の の 町 た の の の の の の の の の の の の の	SP (1) 2 棟 (2) (2) 棟 (2) (3)	半)など 特代後半~ 鎌倉時代 など	小型丸底壺、土師器高杯、土師器杯、皿など Bトレンチ 瓦器、柳、皿、土師器、皿、 鍋、青磁柳、須恵器、杯、杯 蓋、高杯など Cトレンチ 信楽焼、擂鉢、瓦器、椀皿 など
関連文献 Na. 52	遺跡名 朝 神 道		所在地	上野市下海	申戸字朝神
調査原因	塩	事業主体	上野農林事務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	県呂岡 新登伽事業 H 1.5.8 ~ 6.2	調査面積	上野長杯事物的 4 0 0 m²	担当者	二里宗教 月安貝云 森川 常厚、中鳴 千年 渡辺 尚登、荒木 昌俊
遺		要	主な遺	押	主な遺物
周知の遺跡 畑に調で約13 mで約10 水質ある13 建物で が調査区	経により、土塁が確認されたしての記載はないがまた。 その塀に転用は幅約5 m、ことが確を検出された。 ことが確を検出された。 この堀を検出と思われる。 であったため、確認は であったため、確認は であったため、 電談の約100 m 北東に	土塁の一 こ。高南側に できる この南側側側側 できない。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる	土塁(幅約5 m、 高さ約1 堀(深さ約1.3 m)	.8 m)	信楽焼のカメ、擂鉢、火舎など
関連文献					

No. 5 3	遺跡名「高水根遺跡	*		所在地	上野市印	大字高羽根
	具営 圃場整備事業	事業主体	上野農林事務	.,	調査機関	
	H 1.10.26	調査面積	2 0 0 m²	3,,,	担当者	
遺	跡の概	要	主	な遺		主な遺物
定地の範囲	の西南部分で、従来6 に含まれていた。調3 あったが、遺構・遺物	は排水路	自然流路	条		・土師器 小片 ・試掘時 土符「子年」
関連文献						
No. 54	遺跡名 新寺 A・I	 3 遺跡		所在地	上野市服部	那町字新寺
調査原因	県営圃場整備事業	事業主体	上野農林事	務所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.12.18 ~ 12.21	調査面積	2 5 0 m²		担当者	三枝義久、中嶋千年、荒木昌俊
遺	跡の概	要	主	な遺	構	主な遺物
ものである して、排水 た。 新寺 B 地 出されなか	寺A地区では、溝が5	前の一環と ととなっ のは何も検	新寺A地区 構 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ţ		弥生時代後期 壺、杯、高杯、 甕 、器台、鉢
関連文献			<u> </u>			
No. 55	遺跡名 西沖(上之	2段)遺跡		所在地	阿山郡伊賀	g町柏野字西 冲
調査原因	県営 圃場整 備事業	事業主体	上野農林事務	所	調査機関	三重県教育委員会
調査期間	H 1.10.3 ~ 12.16	調査面積	3, 4 4 0 m ²		担当者	中嶋 千年、荒木 昌俊
遺	跡の概	要	主	な遺	構	主 な 遺 物
半の集落跡 的場遺跡が 本かった東 見つかり、	河岸段丘上に位置するである。周辺に同時期ある。 のある。 らは、的場遺跡からに 高限に土坑をもつ掘立 更に建物規模も的場道 ど、興味深い。	の集落跡 検出され 性建物が	自然流路		特代後半) 5墳時代)	瓦器椀、皿、黒色土器 A 類椀、 土師器杯、緑釉椀、白磁椀、弥 生土器、須恵器杯・杯蓋
関連文献	「的場遺跡発掘調査報					
No. 57	遺跡名 大塚古墳郡			所在地	i	間町字穴塚
	個人住宅建築	事業主体	加藤 晴行		調査機関	四日市市教育委員会
1.47	H 1.3.20 ~ 3.31	調査面積	3 1 m²		担当者	春日井恒
遺	- 跡 の 概	要	主	な遺	構	主な遺物
がる弥生時 場所である。 個人性を 境にといる。 はない。	跡は、内部川南岸の台 代の遺跡で、群集墳も 。 建築予定地は、穴塚古 、大道端遺跡範囲内 掘調査を実施したが、 きなかった。	点在する 頃群1号 にもあた	な		ل ا	なし
内烂人队						

No. 5 8) 海跡夕	もしませい 智積廃寺	どうたんいせき		所在地	四日市市智			
調査原因	水道管埋記		· 土丹遺跡 事業主体	四日市市水道		調査機関	四日市市教育委員会		
調査期間		×±∓ ~9,11,13~	調査面積	3 6 0 m ²	旦/10	担当者	春日井 恒		
				 	* `B				
遺		り 概	要	主	な 遺	構	主な遺物		
ののの 自堂代遺 にと神寺遺昭動・、物今つは積院跡和車講平が回いですのである。 おいましま ひかり ひがり ひがり ひがり かいかい しょうしょう かいかい しょうしょう かいかい しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいいい しょうしょう しゅうしょう しゅうしゃく しゅうしょう しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅう しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅう	Dy サリス エリス エリス エリス エリス エレス は、。年設房かれはを でいる43 を増代さきて、で でいる43 でにとらて、で ではとらて、で では、で はで はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はでは、で はで はで はで はで はで はで はで はで はで は	l mの水道智 ウ、遺構を研 奈良時代が	the Design of the Land of th	<i>t</i> s		l	奈良時代 ・瓦 ・土師器 平安時代 ・土師器(墨書土器あり) ・灰釉陶器 他に時期不明の木製品あり。		
関連文献	小玉追明「曾預焼守」「三星県連廠文化的調査報告5 日本追避公司 東石恢追時連廠文化的調査 報告』日本道路公団・三重県教育委員会1970								
No. 5 9	遺跡名	にしがたにいせ 西ケ谷遺跡	· 亦		所在地	四日市市員	東坂部町字西ヶ谷		
調査原因	宅地造成		事業主体	鉄建建設株式	式会社	調査機関	四日市市教育委員会		
調査期間	H 1.8.22	~ 9.18	調査面積	3 2 0 m²		担当者	春日井 恒		
遺	跡の	カ 概	要	主	な遺	構	主な遺物		
がる古墳時で、川を担て、川を担め の集落跡で 今回の訓	特代から奈良 挟み高足の であるは、 関査は 関係を 関係で 関係で 関係で 関係で 関係で で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	丘陵の南向。 良時代にはかい 丘遺跡が議にには、 登協議におった。 おいた。	けての遺跡 奈良時代 する。 いて、遺跡	古墳時代 1 章 古墳時代 2 章 古墳時代 2 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	奈良時代		古墳時代 · 土師器、須恵器、砥石 奈良時代 · 土師器、須恵器		
関連文献				·					
No. 6 (遺跡名	あがり 上里 ii	 遺跡	····	所在地	四日市市	ス保田町 2 丁目 3 0 1 - 4		
調査原因	共同住宅	<u>· </u>	事業主体	丸美産業株	<u> </u>	調査機関	四日市市教育委員会		
調査期間	H 1. 10. 17		調査面積	約32 m²	VAL.	担当者	上垣幸徳		
遺		 D 概	要		な遺		主な遺物		
在以お掘い一川のはい。遺野で、一番は回りでは、一番では回りでは、一番では回りでは、一個のでは、一個のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	と地、水田では、水田では、水片では、水片では、水片では、水片では、水片では、水片では、水片では、水片	地とした。 地としている はいます はい	されていれていれていれていれてさが、にれてきが格に、、 にいれている にいい アンシャー アンシャー アンシャー アンシャー アンシャー アンシャー アンシャー アンシャー アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	今回の調	査では確認	思されなか	今回の調査では確認されなかった。		
				I					

No. 61	遺跡2	8 岩 苗	油味	所在地	四日市市3	
調査原因	砂利採		遺 <u>跡</u> 事業主体	三四興業株式会社	調査機関	四日市市教育委員会
調査期間	H 1.11	15 ~ 16	調査面積	約288m²	担当者	上垣 幸徳
遺		の概	要	主な遺	L	主な遺物
りれ片さ遺で堆まる「現いがての水で等れかでは、ないがでの水では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	跡の恵れ、天器において、大器において、不一人の、大器に発明して、不一人の、大器に対して、対象に対して、大器に対して、大器に対して、大器に対して、大器に対して、大器に対して、大器に対して、大器に対して、大器に対して、大器に対して、大器に対して、大器に対して、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	部分が水田と 古、土遺跡の はり、遺跡の 屈調査等は行 な点が多い。	で、灰釉陶器で、灰釉陶器で、灰釉 内がない かった かった から でいる いっと かった	今回の調査では確認った。	忍されなか	今回の調査では、確認されなかった。
関連文献	油叶	· \$2 P\$		ac 大山		Eth terror M. M. o Mr
No. 62	遺跡 商業施記	名 <u>第</u> 中東	遺跡	所在地		四松本町 525番 外 2筆
調査原因	田美加語 H2.1.		事業主体	フレックス株式会社 約56㎡	調査機関	四日市市教育委員会
調査期間	跡		調査面積		担当者	上垣幸徳
		の 概 医地上に立り	要	主な遺		主な遺物 今回の調査では確認されなか
がも 流円の進なた 流層かった。	: 度域の () () () () () () () () () (確認されず、 、 水田耕作 考えられるシ 貴構・遺物に	実施された遺跡の性格 の下は河川 ルルト・砂礫 は確認されな			
			巻史料編考 T			I all my ris de vas de
No. 64 調本原田			事業主体	小牧南土地区画整理	調査機関	小牧町字真造寺
調査原因調査期間	区画整5 H 1.3.2	. 	調査面積	9 6 m²	担当者	四日市市遺跡調査会 春日井 恒
調旦期间	<u> </u>	の 概	要	主な遺		主な遺物
朝明川南 ら古墳時代 今回の課	岸の台域 の遺跡で	地上に広がる である。 開発協議にネ	弥生時代か いて、遺跡 ば掘調査であ	古墳時代 ・土坑 1基		古墳時代・土師器、須惠器
関連文献						

選査原因 宅地造成	N C F	*#D# &	5½ g	いせき 遺跡	武士山	mo±±.	L.ウェロタ L.R.
調査期間 日1121~2.33 調査面額 約4.000㎡ 担当者 春日井 恒 達 夢							
連 藤 の 概 要 主 な 遺 橋 第 主 な 遺 物 第生時代中間 第大年時代中間 第大年時代中間 第大年時代中間 第大年時代中間 第大年時代中間 第大年時代中間の大路 遺物が使出されたため 第八年間勝 古墳時代 第八年間勝							
平生地造成計画に伴う埋蔵文化財金融地分 市調査によって、遺物か映出された遺跡 所で、試開通常により弥生内がらで設両的 代にかけての遺跡・遺物が映出されたため 選査では、外生時代中期から室町時代にかけての 対けて耐酸的で集務が富まれていたとが 利用なない。平安時代から室町時代にかけての 利型なない。平安時代から室町時代にかけての 利型なない。平安時代から室町時代の対域を関連支援 「声音を関連など、中での 観楽しい。大乗組、国土 一条線(屋書上器より)、内閣器の 「東野所健設 事業主体 尾西商事有限会社 調査機関 四日市市建設金 山茶線(屋書上器より)、関連支援 「東京門」展別には実まれた郷地の場合した。「日の川市・東京会域とかしている。「日の川市・東京会域とかしている。」「日本の市世域を変している。「日の川市・大京等」」「中野の本域とは、下京、海、足田市・大京等」」「中野の本域とは、下京、海、足田市・大京等」」「中野の本域とは、下京、海、足田市・大京等」」「東京・大野・大河・大郎・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大郎・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大京・大野・大河・大野・大野・大河・大野・大河・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・							<u> </u>
不調査によって、漁物飲食品が確認された漁 所で、は桐瀬彦により発生所代から室町時代にかけての遺跡・漁物が検出されたため 高規語産をは、外生時代中期から室町時代にかけての 相立住建物跡は、寺院で関連する施設の可能 性がある。						構	
Na 6 遺跡名 か 取 取 取 取 取 取 取 取 取	布跡代発 か判ない おいま かり	は ・ は ・ ・ で を は ・ に い に い に い に い に い に い に い に い に に い に に に に に に に に に に に に に	物かか かか かい かい かい かい かい かい かい かい かい いい いい い	確認された遺 代から室町時代と ら室町時代に ていたことが 代にかけての	整穴住居跡、土坑、 弥生民族財 要穴時代住居所 東京時代住居前期 奈良穴代住居。 整時代住居。 整時代住居。 整時代任居。 整方時代任民之勢的 平安穴科 整方柱 野中社 野中世以降		新生土器、土錘、磨製石斧 古墳時器、 類惠器 奈良師時代
調査原因 事務所健設 事業主体 尾西商事有限会社 調査機関 四日市市遺跡調査会 調査面積 1,296㎡ 担当者 上垣 幸徳 主 な 遺 物 主 な 遺 物 主 な 遺 物 主 な 遺 物 主 な 遺 物 主 な 遺 物 主 な 遺 物 主 な 遺 物 上垣 幸徳 上垣 寺徳 上垣 はちまな 上垣 寺徳 上垣 寺徳 上垣 寺徳 上垣 上垣 寺徳 上垣 上垣 上垣 上垣 上垣 上垣 上垣 上	関連文献	· hat	, J & Ab (25)	じょう あと	ar to ut	ma++4	eParter of 7 o blooms
調査期間 H 121~4.15 調査面積 1,296㎡ 担当者 上垣幸徳 遺跡 の概要 主な遺構 主な遺構 主な遺物 三流川と鹿化川に挟まれた低地に立地しな城跡である。城跡と推定される範囲内は、焼土坑多素」工坑等。							r
遺 跡 の 概 要 主 な 遺 構 主 な 遺 物 三滝川と鹿化川に挟まれた低地に立地し は 城跡である。城跡と推定される範囲内は 焼土坑等 近世以降 土坑等 近世以降 土坑等 近世以降 土坑等 近世以降 土坑等 近世以降 土坑等 近世以降 土坑等 近十九 で 大野田瀬舎が行われ、 礎石建物跡と棟田されなかったが、火井に関連があると考えられる焼土坑が検出されている。今回の調査では、直接赤埔城に関する遺槽は検出されなかったが、火井に関連があると考えられる焼土坑が検出されたことが注目される。この他遺物包含層より、 弥生〜近世にかけての土器や瓦、木製品、金属製品、自然遺物等が検出された。 「三重の中世城館」三重県教育委員会 1976 「四日市市埋蔵文化財調査報告16赤埔城跡」四日市市教育委員会 1986 「四日市市埋蔵文化財調査報告16赤埔城跡」四日市市教育委員会 1986 「四日市市埋蔵文化財調査報告16赤埔城跡」四日市市教育委員会 1986 「四日市市埋蔵文化財調査報告16赤埔城跡」四日市市教育委員会 1986 「四日市市埋蔵文化財調査報告16赤埔城跡」四日市市教育委員会 1986 「四日市市埋蔵文化財調査報告16赤埔城跡」四日市市教育委員会 1986 「四日市市地政の集務を検出した。 第章 財 日本・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・							
三竜川と鹿化川に挟まれた低地に立地した城跡である。城跡と推定される範囲内は、焼土坑5基 計算等に四日市市北京年度に四日市市北京年度に四日市市北京年度に四日市市北京 (京等 本型品: が、海、足跡といった遺構・中世に属する遺物が検出されている。 中世の調査では、直接赤埔城に関する遺構は検出されなかったが、火葬に関連があると考えられる焼土坑が検出されたことが注目される。この他遺物包含用含より、弥生~近世にかける物等が検出された。 本國製品、自然遺物等が検出された。 本國製品、自然遺物等が検出された。 本製品:依、下駄、用途不明製品、企画製品、自然遺物等が検出された。 「『四日市中埋蔵文化財調査報告16赤埔城跡』四日市市教育委員会 1986							
た城跡である。城跡と推定される範囲内は						博	
No. 67 遺跡名 津賀平遺跡 所在地 鈴鹿市津賀町字五反田 調査原因 カントリーエレペー 夕建設 事業主体 鈴鹿市農業協同組合 調査機関 鈴鹿市遺跡調査会 調査期間 H 1.9.8 ~ 9.30 調査面積 7 0 0 m² 担 当 者 藤原 秀樹、新田 剛 遺跡 の 概 要 主 な 遺 楠 主 な 遺 物 鈴鹿川左岸の台地縁辺部に位置する古墳時代がつ中期の集落遺跡である調査は約700 ㎡と狭いが7軒の竪穴住居跡を検出した。他に鎌倉時代の竪穴状土坑、柱穴列を検出した。他に鎌倉時代の竪穴状土坑、柱穴列を検出した。他に鎌倉時代の竪穴状土坑、柱穴列を検出している。 土師器 (憲、蹇、高杯、鉢) を次状土坑1(鎌倉) 柱穴列	た現昭一他属でなるとて城在和部、すはか焼のの跡宅59発土る、っ土他土田・大道・大道・大道・大道・大道・大道・大道・大道・大道・大道・大道・大道・大道・	あとぎ間 勿妾がが勿らるがに査溝が赤、検包瓦。進四が、検堀城尹と層木 城み日行足出は城外出舎木 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	が、環では では ででは でででででででいるがとれてする。 ででででいるがと ででででいるがと でいるがと でいるがと でいるがと でいるがと でいるがと でいるがと でいるがと でいるがと でいるがと でいるがと でいるがと がとれてする。 でいるがと がとれても でいるがと がとれても でいると がといる。 でいると がといる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 で	れ変員建遺。構る注~ 範でに跡を回検さい。 範でに跡を回検さい。 中の出き当世 ではませい。 でのに査れれ。 は。 でのに査れれ。 は。 は。 でのに査れれ。 は。 は。 は。 は。 は。 は。 は。 は。 は。 は	土坑等	寺期不確定	中世以降 土師器、羽釜、茶釜、皿他 灰釉陶器、椀、壺、山茶椀、 天目茶椀、瓦等 木製品:杭、下駄、用途不明製 品(十文字に交差した板)、 漆器椀等 金属製品:キセル(吸口)、鉄 金属製、古銭(来銭)等 自然遺物:種子、貝殼等
調査原因 カントリーエレベー 事業主体 鈴鹿市農業協同組合 調査機関 鈴鹿市遺跡調査会 調査期間 H 19.8 ~ 9.30 調査面積 700㎡ 担当者 藤原 秀樹、新田 剛 遺 跡 の 概 要 主 な 遺 構 主 な 遺 物 鈴鹿川左岸の台地縁辺部に位置する古墳 野穴住居 7 ベット状段を持つもの1 貯蔵穴を持つもの6 (古墳時代5c前) 野穴状土坑、柱穴列を検出した。他に鎌倉時代の竪穴状土坑、柱穴列を検出している。 セニ (鎌倉 は 1) 野穴状土坑1(鎌倉) 柱穴列	関連文献	『三重の 『四日市)中世 城館 5市埋 蔵 文	』三重県教育3 化財調査報告1	委員会 1976 6赤 堀城跡 』 四日市市都	教育委員会	1986
調査期間 H198~930 調査面積 700m² 担当者 藤原 秀樹、新田 剛 遺 跡 の 概 要 主 な 遺 構 主 な 遺 物				遺跡	所在地	鈴鹿市津賀	賀町字五反田
調査期間 H198~930 調査面積 700m² 担当者 藤原 秀樹、新田 剛 遺 跡 の 概 要 主 な 遺 構 主 な 遺 物	調査原因	カントリ	ーエレベ 夕建	ー 設 事業主体	鈴鹿市農業協同組合		鈴鹿市遺跡調査会
鈴鹿川左岸の台地縁辺部に位置する古墳 時代前〜中期の集落遺跡である調査は約 700㎡と狭いが7軒の竪穴住居跡を検出した。他に鎌倉時代の竪穴状土坑、柱穴列を 検出している。 セニュー	調査期間				7 0 0 m²	担当者	藤原秀樹、新田剛
時代前~中期の集落遺跡である調査は約700㎡と狭いが7軒の竪穴住居跡を検出した。他に鎌倉時代の竪穴状土坑、柱穴列を検出している。 (古墳時代5c前) 竪穴状土坑1(鎌倉) 柱穴列	遺	跡	の概	要	主 な 遺	構	主 な 遺 物
関連文献	時代前~日 700 m² と数 た。他に載	中期の集落 夹いが7車 兼倉時代σ	を すめ 壁穴住	る調査は約 居跡を検出し	ベット状段を持つ 貯蔵穴を持つもの (古墳時代5c前 竪穴状土坑1(鎌倉	6)	(壺、蹇、高杯、鉢) 砥石 粘土塊
関連文献							
	関連文献			J			

No. 6 8	遺跡名				所在地	公 唐古园4	分寺町字堂跡、西谷、西高木
<u> </u>	1	伊勢国分表		AA 唐士	MERE		鈴鹿市教育委員会
調査原因	重要遺跡範			鈴鹿市		調査機関	
調査期間	H 1.10.2 ~		調査面積	約470m²	L Subs	担当者	
遺	跡 の		要	主	な遺	構	主な遺物
に明 地検 る西耕作 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	て111がにり掘います。 11がにり掘いますが、12年のでは、12年の	成、伽藍配 (加藍配 (加麗を (記調、 一	型ともに不 第 は は は は は な と も に	北築地名 東東	架さ 0.5 n 隅外溝 高 深溝 き 0.6 間 2.5 m 電 2.5 n で 0.5 n	m I	打製石斧、石鏃、須惠器壺、 子、灰釉皿、段皿、椀、素弁 葉蓮華文軒瓦、均正唐草文軒 瓦、丸瓦、平瓦、塼、押印瓦
関連文献							
No. 7 (遺跡名	保子里遺跡	3・5・8 北一色遺	・9 号項 木	所在地	鈴鹿市国府	f町字保子里井口北一色
調査原因	ホンダ・エク タープール	スプレスモー · <mark>建設</mark>	事業主体	(株)ホンダエク	スプレス	調査機関	鈴鹿市遺跡調査会
調査期間	H 1.5.22 ~	~ 6. 7	調査面積	約350 m²		担当者	藤原 秀樹、新田 剛
遺	跡 の	概	要	主	な遺	構	主な遺物
・ は盛った認は広里 5 ・ は盛った認ば広里 5 ・ なきが保分とれ ・ はを溝をもが子約31を ・ はを消します。	5岸の水 5岸の砂利1、にて10 5岸れ、にて8に土 5岸れ、にて8に土 500 500 500 500 500 500 500 50	道路となる。 はな、8 も、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	部計算の 部計算に 対調の では は では では が に は で に に に に に に に に に に に に に	土 塩 118 118 118 118 118 118 118	l.5 m)	石鏃、縄文土器、弥生土器、 師器高杯、須恵器杯 広口壺、 横瓶、土師器壺、須恵質紡錘 刀子、鉄鏃
関連文献							
No. 7 1		中尾山遺跡	<u> </u>		所在地		计可字中尾山
調査原因	不燃物処理	場建設	事業主体	鈴鹿市		調査機関	
調査期間	12.21 ~ 3.		調査面積	約3,000 m²		担当者	
遺	跡 の	概	要		な 遺	構	主な遺物
にってる。 にって受面 3 月溝 年 のでは、 で表面 3 月溝 年 のでは、 で表面 3 月溝 年 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	岸延耕のの大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	い半島状の いし木の 3 mを除去 た。 生時代中期 代中期中葉 坑、掘立村	足根となり 根の機乱した。地力 を後葉の方 を後葉物が検 を建物が検	方形周溝墓1 (中期後3 竪穴住居 3 掘立柱建物	削り (東) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		弥生土器、石鏃、石錐、石斧、石包丁、石製紡錘車、砥石、管 玉

N 7.0 海叶久 梅 田 -	- 1#F	武大地	公典士居	77 m-r 462 FT1
No. 7 2 遺跡名 梅 田		所在地		
調査原因 モータープール建設		(株)光明	調査機関	鈴鹿市遺跡調査会
調査期間 H 1.2.15 ~ 3.4	調査面積	2 5 0 m²	担当者	藤原 秀樹
遺跡の概	要	主な遺	構 ————	主な遺物
開発に先立つ分布調査により された。直径約10mの円墳で、 の築造と考えられる。小古墳な 輪列を有する。	6世紀前半	円墳 径 10.5 m 主体部 木棺直葬 2.6 × 0.65 m 石組土坑(中世?)		円筒埴輪、朝顔形埴輪、 須恵器(周溝墳) 高杯、甕1 杯蓋、身 各1 弥生土器片、縄文土器片、加工 剥片、石鏃
関連文献				
No. 73 遺跡名 土山・乙語	部遺跡	所在地	鈴鹿市御	蜀町
調査原因 スポーツガーデン造成	事業主体	三重県	調査機関	鈴鹿市遺跡調査
調査期間 H 1.12.18 ~ 2.1.23	調査面積	2 5 0 m²	担当者	藤原 秀樹
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
スポーツガーデン造成にかかにの結果、遺跡地図にある大阪の結果、遺跡地図にある大阪地形と判明、乙部遺跡の位置をでは上山遺跡を発見した。	古墳は自然 権認し新た 勿の散布を 地域が確認 が確認の	乙部遺跡 土山遺跡 方形焼土坑(3 m) 土坑	≺6 m)	縦長剥片(サヌカイト) 加工剥片(チャート) 円筒埴輪、朝顔形埴輪、形象埴 輪(家、楯?) 土師器 小形壺、高杯、台付蹇
関連文献 No. 7 4 遺跡名 小谷、新村	,	亦 所在地		家 町小谷他
調査原因 フラワーパーク造成	事業主体	鈴鹿市	調査機関	鈴鹿市遺跡調査会
調査期間 H 2.3.15 ~ 3.31	調査面積	1, 0 0 0 m²	担当者	藤原 秀樹
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
フラワーパーク造成に先立つ記約50ヶ所のトレンチ調査を行った北野遺跡では遺構は確認できなな小谷遺跡では、土師器を含むピーしたため、一部を拡張して調査な遺構は確認できなかった。	に。新林、 いった。 ットを検出	ピット、溝、風倒木狙	<u> </u>	土師器(高杯、小形鉢壺)
関連文献				
	遺 跡	所在地	鈴鹿市岡田	田町字吉原
調査原因 市立牧田幼稚園 大善建設	事業主体	鈴鹿市	調査機関	鈴鹿市遺跡調査会
調査期間 H 1.8.21 ~ 9.16	調査面積	約400m²	担当者	藤原 秀樹、新田 剛
遺跡の概	要	主な遺	 構	主な遺物
鈴鹿川右岸の低位段丘縁辺に付 古くは立田遺跡とも呼ばれ『牧日 考』に弥生土器、須恵器の散布が ている。 すでに耕地整理が行われている 構の残りが悪く遺物も殆んど砕り	田村考古誌が報告されるため、遺	土坑、柱穴		弥生土器、太型蛤刃石斧、土師器、須恵器、土馬、緑釉小皿、 椀、灰釉皿、山茶椀など
関連文献				

No. 7 6	: 海B	が名 金 附	古 墳		所在	Hh	亀山市山	下町全陸	K1		
調査原因		7場造成	事業主体	株式会社ター		_	調査機関	_	13 	禾昌	
		· 9 ~ 7.7	調査面積	2 5 0 m ²	1904	$\hat{}$	担当者		隆	女只云	
調査期間」				 	- · ·			亀山		- 'm	<i>u</i> -
遺	跡	の概	要	上 主	な遺		構	-	主	な遺	物
標高 120 盗掘痕と第 自然地研	長石が見		置し、頂部に	な			し		な		し
湖文東関	ГЩТ	「地区文化財訓	間直報告書」1	山市文化財	調査報	告 5	1990. 3	亀山	市教委		
No. 7 8	遺跡	林名 小野城路	*		所在	田	亀山市小	野町殿	勺		
調査原因	市道拉	太幅	事業主体	亀山市	•		調査機関	亀山i		委員会	
調査期間	H 1.1	2.2 ~ 12.20	調査面積	1, 4 0 0 m ²			担当者	亀山	隆		
遺	跡	の概	 要	主	な遺	' }	 構		主	な遺	物
小のの 利のの 中の後回れ を を が発 に で を に が の の の の の の の の の の の の の	が分かり	元年(1204)の 元郎盛氏の居 京小野成の居 は、城場・土塁・ た思われる 江 田 われる 江 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	ラストリスティッグ では、 で成している。 で成している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	堀跡、土塁 跡(近世)	弥、掘	立相	注建物、炉	向付、	山茶材	宛、羽釜	、擂鉢
類連文献	亀山市	「文化財調査 」		3 亀山市教	育委員	会					
No. 7 9	遺跡	が名 花屋垣戸	と遺跡		所在	地	亀山市羽	若町糀	星垣内		
調査原因	国道1	号バイパス建		中部地方建	没局		調査機関	亀山ī	 打教育	委員会	
調査期間	H 2.2	. 1 ~ 3. 31	調査面積	3, 0 0 0 m ²			担当者	亀山	隆		
遺	跡	の概	要	主	な遺	t '	 構		主	な遺	物
調査	E F		***								
関連文献	- '			L				L			
No. 8) 漕路	林名 沢 遺			所在地	#h	亀山市山	下町沢			
調査原因	宅地造		事業主体	中部開発株式		-	調査機関		 市教育	 禾目 <i>스</i>	
調査期間		. 19 ~ 7. 1	調査面積	6, 8 0 0 m ²	NXII.	\dashv	担当者	+	隆	XAX	
過				<u> </u>	†> 24	_		HB.III	主		H/s
ļ			要	主	な 遺		構	4m 1			物
文 と「居 るた条 たら期にわ済で文、のを査11、物号か注れ准あ時出でよ地世墳は墳は墳は墳は墳は墳は墳は墳は墳は墳は墳は墳は墳は墳	5月35日の大上・大石でしているが一丁様の・しさに心の均の上東表が代・号3日にの土東表が代・号3日ににの均りにいる。	経上の発生のでは、大きないでは、大きないで、は、大きないで、は、は、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、大きないので、 は、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいので、まで、しかいので、といいのでは、	はでは、 はいでは、 といでは、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと	土塁跡、空球 文中期炉跡、	相、 州 以		生物、机构	相 名 製 格 名 製	L 公公 、	火和剛化 雷 鉢、 玉 (白 玉)	椀、緑釉陶 恵 米蓋杯 直刀
古 墳	名	墳 形	規模(m)	主体	部上	H.	土遺	物時	ļ	明 備	考
沢 1 昇	墳	円	18m				器蓋杯	(c前	F	周溝 のみ
ル 2 号 3 号 5 号	墳墳墳	", ", ",	2 2 m 1 8 m 1 8 m 1 6 m	周溝内 2 周溝内 2		/ 頁應 直	が ない は は は は は は は は は は は は は は は は は は		 		" " " " " " " " " " " " " " " " " " "
間串やギ	Familia	\$D★ 〒) 45 . 1 . →	=÷r/lv8±≋¤≠÷	## C 1000	0 #	.1	+***			<u> </u>	
関連文献	ואלו	■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1人化財調食業	段告 6 1990.	3 亀	Щī	市教育委員	会			

Na. 81 遺跡名 紫 菱 🎖	ん あ と 完 跡	所在地	津市大里等	第田町大垣内 第田町大垣内
	事業主体	南窪田土地改良区	調査機関	安養院跡発掘調査団
調査期間 H 1.7.11 ~ 8.16	調査面積	1, 0 0 0 m ²	担当者	
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
古墳時代中期から江戸時代後期 筋続的に営まれた遺跡である。 古墳時代後期から平安時代末の の豊富な遺構・遺物から郡衙の名 性が考えられる。 室町時代後期の集落の一部を札 戸から良好な一括資料が出土して	別にかけて D時期、そ 存在の可能 会出し、井	竪穴住居址 相 19棟		陰刻花文、緑釉耳皿、円面硯、 須恵器、土師器、灰釉陶器、緑 釉陶器、山茶碗、常滑産變、天 目茶碗、肥前産磁器、青磁
関連文献				
No. 82 遺跡名 上津部田城	成址	所在地	津市一身E	田上津部田字ヌノ坪、ルノ坪
調查原因 「調查原因 「調查原因 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	事業主体	津 市	調査機関	上津部田城址発掘調査団
調査期間 H 1.3.8 ~ 4.6	調査面積	1, 0 0 0 m ²	担当者	萱室康光、池端清行、米山浩之
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
『伊勢一国旧城跡附』に見える 敷三ケ所」のうちの一つと考える 集落東の標高10m程の低丘陵は 調査の結果15世紀後半から16世紀 けて営まれた城館跡であることが	うれる。 七端にあり 己前半にか	門 掘立柱式 2 棟 礎石式 1 棟 掘立柱建物 3 棟 棚列 4 条 土坑 4 基 土塁 堀、溝など		土師器 皿 羽金 常滑焼(甕、揑鉢)、灰釉皿、 平椀、擂鉢、古銭など
関連文献	hT		T >4 +>4 mm	horte (b
)で = 	所在地	<u> </u>	
調査原因 学術調査	事業主体	津市教育委員会	調査機関	
調査期間 H 1 11 13 ~ 2.4.30 (予定)	調査面積	8, 0 0 0 m²	担当者	
遺跡の概	要	主な遺	·構 ————	主な遺物
乙部、中川原の城主乙部兵庫原田信長の進攻に対して永禄年中にかし永禄13年(1570)の織田信信囲され敗れて、自殺するとも、『るとも伝えられる。 時期的には15世紀後半から16世さまると考えられる。 主郭部南半では弥生時代の下原干検出した。	て築城。し 型の軍に包 専修寺に入 世紀代にお	方形竪穴状遺構 1	棟 基 基	土師器、皿 多数、鍋、羽釜、 常滑産 甕、担鉢 瀬戸 美濃産 天目茶椀、擂鉢 中国産 青磁椀 弥生時代 高杯
関連文献				
	寻墳	所在地	津市大字グ	分部小字前田
関連文献 Na. 8 4 遺跡名 メクサ3 f				分部小字前田 津市教育委員会
関連文献 Na 8 4 遺跡名 メクサ3 5 調査原因 学校建設		所在地 津市教育委員会 200㎡		津市教育委員会
関連文献 Na 8 4 遺跡名 メクサ3 5 調査原因 学校建設	事業主体	津市教育委員会	調査期間 担 当 者	津市教育委員会
関連文献 は 別述 できます。 Na. 8 4 遺跡名 メクサ3 を 調査原因 学校建設 調査期間 H 1.4.13 ~ 4.27	事業主体 調査面積 要 mの方墳で	津市教育委員会 200㎡ 主な遺 主体部は木棺直葬で 2基。 北から第1・2主体 ・第1主体 ・第1主体 ・第1主体 の墓址に長きす。 の本柱を直ず。 ・第2主体 ・第2を幅	調査期間 担 増 東 あ 6.0 m 約約122m 約約127m 7.2 m 約約2.8 m 1.2 m	津市教育委員会 査室康光、池端清行、米山浩之 主 な 遺 物

No. 85 遺跡名 鳥居本遺	<u></u>		所在	地	一志郡一	志町小	山鳥居本	:	
調査原因 工場造成	事業主体	日本硝子繊維	維(株)		調査機関	一志町	教育委	員会	
調査期間 H 2.3.5 ~ 3.23	調査面積	4 5 0 m ²			担当者	伊勢里	人 久好		
遺跡の概	要	主	な道		構		主な	遺物	!
調査区は昭和63年度、近畿道 調査された範囲のすぐ西側に位 査の結果、近畿道で確認されたた と、これに付随する小溝が、また 土坑1基が確認された。	置する。調 第 2の続き	奈良時代 土坑 1; 平安時代 溝 4条	基			奈良時 土師		、須恵器、	横瓶など
関連文献 近畿自動車道埋蔵文化			89						•
No. 8 6 遺跡名 斑光寺跡	(八太廃寺))	所在	地	一志郡一	志町八	太字中野	F	
調査原因 団体営圃場整備事業	事業主体	一志町役場現	環境改善	鳔	調査機関	一志町	[教育委]	員会	
調査期間 H 1.10.30 ~ 2.1.6	調査面積	1,600 m²			担当者	山口	格、伊	势野久好	
遺跡の概	要	主	な道		構		主な	遺物	
約30,000 m²に及ぶ寺跡範囲の 線の南西側に限る m× 450 m () 線の南西側に隔る m× 450 m () 短端と17ヶ所の試査範認は加速の では、17ヶ所の調査が開盟された。 側の東西試規港内にはじれた。 側の東西試規港の大は、10 では、10	正 で 或 に は り り り り り り り り の の の の の の の り の の の の の の の の の の の の の	大形掘立柱: 小形		"				土のう袋へ 陶磁	
関連文献 吉村利男「原始・古代	代の一志町」	「一志町史	』上巻		志町役場	1981			
No. 8 7 遺跡名 ヒジリ谷	5墳群 他		所在:	地	一志郡一	き町小口	Ц		
調査原因 ゴルフ場造成	事業主体	(株)丸二			調査機関	一志	订教育委	員会	
調査期間 H 1.12.20 ~ 2.3継続	調査面積	1, 6 0 0 m ²			担当者	伊勢	牙 久好	:	
ď		す の		栂	ŧ §	更			
計画地内には60基の古墳と3分にあり、沖積地との比高差は約1 盤の露出など地形的制約を受けれる材抜き取り等で基底石を残すれる。	150 mを測る こためである	。墳形は北(うう。埋葬施言	則が方。 没は大	、南型の	側が円形? 石材を用い	を呈する	<mark>変則的な</mark> で式石室	ものであ であるが	るが、岩 、すでに
	見模(m)	主 体	部	出	土遺物	勿 時	期	備	考
ヒジリ谷26号墳 円 墳 급	≦径約20m	横穴式石室	3 7 7	変な	身・短類量 ど) (水晶製 (碧玉製)	С中		
ヒジリ谷28号墳 薬師谷古墳群								継続調	査
関連文献									

No. 88 遺跡名 上 野 月	落 寺	所在地	嬉野町下る	之庄上野
調査原因「大谷川河川改修	事業主体	三重県河川課	調査機関	嬉野町教育委員会
調査期間 H 1.5.17 ~ 7.10	調査面積	8 0 0 m ²	担当者	和気 清章
遺跡の概	要	主な遺	 構	主な遺物
奈良時代前期に属する寺院跡で昭和63年度に三重県教育委員会 掘がなされた。 今回の調査地は大谷川に隣接で調査査であり上面からの原限とれた、調査査査遺構と等院が確認された。 環の遺構は確認された、 環の遺構よりのをです。 では、 のものが 2 つをでは、 のものが 2 では、 ス貝のおいた。	できています。 あより 帯れた土柱 を は	溝2条 1 30cm 2 南北に流れ幅1: 30cm 2 東西に流れ幅3: 本値の下水道体を含む長さればのよりであり作りであり作りにある。 1:5 mほどの方面でありたが12穴確認されたが12穴確認されたが12穴が12穴である。	n深さ2 m 器・木 奥 に さ14 m 奥 に や や 設けられる と 50 cm ほ を 50 cm ほ	複弁7葉軒丸瓦、重弧絞軒平瓦 須恵器、土師器、円面硯、木製 品(盤)等 土師器の中には『仁』と線刻さ れた杯や墨書の須恵器『高〇乃 家』と書かれた墨書などがある
関連文献				
No. 89 遺跡名 中尾東遺跡	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	所在地	嬉野町薬3	E寺中尾
調査原因 大谷川河川改修	事業主体	三重県河川課	調査機関	嬉野町教育委員会
調査期間 H 1.10 ~ 11.25	調査面積	1, 4 0 0 m ²	担当者	和気 清章
遺跡の概	要	主な遺	構	主 な 遺 物
査により、旧石器に属するナイが確認されている遺跡である。。 近畿自動車道にはか調査されているとのとのといるである。 が調査されていりこのとを認されていました遺跡であると確認され 日1年度に道路部において調査 た調査区とは北に隣接する部分で	溝が1条確認された。 うが1条確認されれる。 を	はない とれまえ		
No. 90 遺跡名 中尾東遺跡		所在地	嬉野町薬	F 去山县
調査原因 県道丹生寺一志線 新設工事	事業主体	三重県道路建設課	調査機関	嬉野町教育委員会
新設工事	調査面積	1.350 m²	担当者	
遺跡の概	要	主な遺		主な遺物
中村川右岸の洪積台地の北辺組地する。この丘陵は向山古墳 地する。この丘陵は向山古墳 山古墳群等が所在するものであった 査により、旧石器に属するナイが確認されている遺跡である。 近畿自動車道に伴う調査でこの 部が調査されており、このときに 時代を中心とした遺跡であると確いる。	表辺地に立田 地原布石 の型 動良 の平 は奈良	一	本棟 す4径あのの 画井う をり、は戸1 m 区でよ 本棟 す4径あのの 画井う がいたようでは が戸な	山茶碗、伊勢型鍋、鏡(山吹双鳥鏡)
関連文献 『近畿自動車道発掘詞	日本概報 [V		

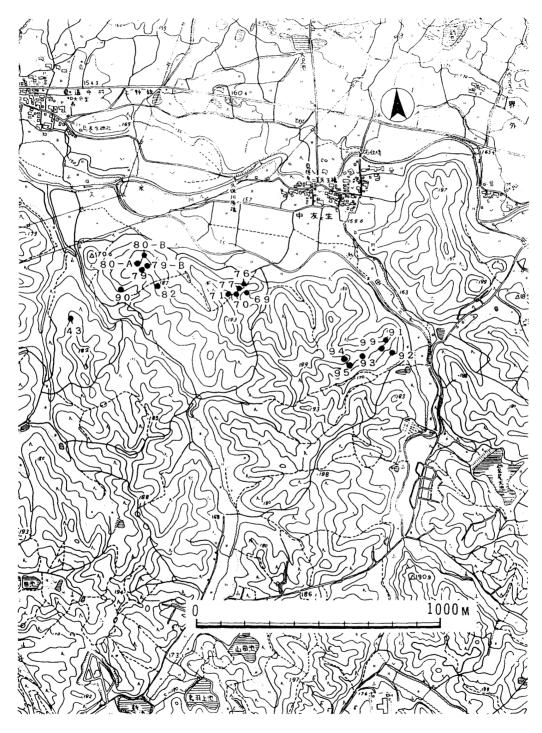
No. 91~ 遺跡名 清水谷·	天龙去城 他	所在地	植 野町玉	
33 35 37 37 37 37 37 37		嬉野町土木課	調査機関	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
調査期間 H 1.1125 ~ 12.20	調査面積	妈到叫工不誅 40,000 m²	担当者	
ļ — — t — — — — — — — — — — — — — — — —	1			
遺 跡 の 概 天花寺丘陵に所在する遺跡群 断する道路の調査である。 清水谷 現天花寺丘陵のの報子花寺に古古陵の明天花寺は古古古のである。 で知られていたものでものでがいる。 小谷古墳群であり、24基から 古墳群である。 大花寺丘陵のの北京花寺丘陵の北京花中位置する。現状では2本 では3本では3本では2本 である。 東部に位置する。現状では2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのでは2本 でのからのである。	地に立地す所在すると 丘陵部に所 構成される 東端型が	主 な 遺 浴 で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	子在する。代 子奈い講の 子奈いる 子奈いる 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の	主 な 遺 物 清水谷)須恵器、土師器皿 小谷古墳群)須恵器、弥生式土 器 天花寺城)弥生式土器 小谷A遺跡)須恵器、土師器、 埴輪
関連文献				
Na. 9 4 遺跡名 新田遺跡		所在地	嬉野町中/	川新田
調査原因新田地区土地改良	事業主体	嬉野町産業課	調査機関	嬉野町教育委員会
調査期間 H 1 10.5 ~ 10.14	調査面積	25, 000 m²	担当者	和気 清章
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
上部の調査であった。表面上にする土師器片が散布している。 開発区域を個々20m間隔に試し調査を行なった。	掘坑を設定	また自然堤防上には墓地が存在しており、もなう遺物の出土物はできなり遺物は行が、ともなう遺物は行かが、といるでは、といるでは、	それにと 考えられた 7在せず、	
関連文献 『三重県文化財年報			LE PE + //en p	소나 February 그 다
No. 98 遺跡名 老うじびる 王子広週		所在地 二季4月工業(#)		年夏町王子広 - 40年末巻春季月本
調査原因 工場建設 3 4 2 4 7 2 0	事業主体		調査機関	松阪市教育委員会 榎本 義譲
調査期間 H 1.4.2 ~ 7.20 遺跡の概	調査面積		担当有	
適助の保証を表現では、 適時に張り出す台地の先端ので、縄文時代の遺跡に、縄文時代の遺跡に、縄文時代の遺跡に、一切です。 地下遺構に影響を及ぼす、工場、 3ヶ所3,000㎡を対象とするで 地下遺標に影響を及びます。工場、 地下遺標に影響を及びます。工場、 地下遺標に影響を及びます。工場、 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を表する。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びます。 地下遺標に影響を及びまする。 地下遺標に影響を及びまする。 地で発見した。 地であるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであるとして はであると はである はであると はであると はであると はであると はであると はであると はであると はであると はである はであると はであると はであると はであると はであると はであると はであると はであると はである はであると はである はである はである はである はである はである はである はである はである はである はである はである はである はでなる はである はでなる はでなる はでなる はでなる はでなる はでなる はでなる はでなる はでなる はでなる はでなる はでなる は	ては、 関連 関連 関連 では 東が は 東が、 東が、 東が、 東が、 南が、 南が、 南が、 あい、 で あい、 で あい、 で あい、 で あい、 で あい、 で あい、 で あい、 で あい、 の で の の の の の の の の の の の の の	竪穴住居 1 棟 一々縄立 堀立柱建物 1 間×4 本縄立 落し穴 6 基 一々縄立	て後期前葉	主な遺物 縄文土器〜整理箱60箱分 そのほとんどは後期前葉のも ので、一部中期及び後期初頭 のものも出土している。 石器〜石鏃、打製石斧、磨製石 斧、石錘、スクレーパー、石 皿
関連文献 奥義次「王子広遺跡	」「松阪市9	セ 第2巻考古』松阪市	วี 1978	

No. 99 遺	が名 松 阪 は	ct: Pak	Tat.	在地	松阪市殿町	hr	
調査原因		1	,	11年7月1			
		事業主体	松阪市		調査機関	松阪市	THE WAY
	$3.1 \sim 12.20$	調査面積	9 3 0 m ²	`rabı	担当者	榎本 義譲、	
遺跡	の 概	要	主な	遺	構		造物
松阪城は、浦 建設された平山: 搦手とし、本丸 よりなる。本丸 かれ、現在も威	二の丸、三の丸	大手、南を 丸、出丸等 い石垣が築	天守閣跡 東西 11.0 × p 0.9 mの集石 敵見櫓跡、多聞 内側の石垣、 階段 本丸井戸跡周辺	群 跡 遊砌		った軒 ・文様部 された	分に漆地に金が施 平瓦 土のう袋 500 余に
			塀中門跡、柵 穴、排水溝と 排水溝	列と原 これに	て続く暗渠	○備前焼等の ○釘 など	陶磁器片
○松	反市史第6巻史料	科篇文化財	.3) ○松阪殿町	~伝統	充的建造物制	件保存計画策定	調査報告書
No. 101 遺	が名 とか 一峯古墳	<u> </u>	所	在地	明和町大	字池村字戸峯	
調査原因 山土	采取	事業主体	国庫補助事業		調査機関	明和町斎宮跡の	保存対策室
調査期間 H 1.	. 11 ~ 2. 3. 30	調査面積	3, 0 0 0 m²		担当者	中野 敦夫	
遺跡	の概	要	主な	遺	構	主な	
調かは、中華の大学の大学の大学を表現の大学を表現の大学を表現である。 一般の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現した。 一般の大学を表現の大学を表現の大学を表現の大学を表現して、 一般の大学を表現して、 一般の大学を表現れて、 一般の大学を表	D北東端に位骨では、 北東 2 代 年 2 代 年 3 に 4 保 年 3 に 4 保 年 5 に 4 保 年 5 に 3 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に	のするは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるでは、 できるできるでは、 できるできるでは、 できるでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	(弥	11		石鏃 弥生土器(高 土師器(杯、 鬼。 現恵器(杯、 須恵器、石製動 土馬、石製動	蓋、 蹇、 カマド、 應)
古 墳 名	墳 形 爿	見模(m)	主 体 部	出	土遺物	物 時 期	備考
戸峯 3号墳	円墳	1 8×1 8	木棺直葬1		医(須恵器、 子・杯蓋・3		中央に盗掘抗
4 号墳	"	1 9×1 9	" 2	恵	E、鉄刀、須 器(身蓋)、 F器、高杯		"
6 号墳	"	1 4×1 8	_		_	_	
7 号墳	"	7 × 7	_				墳丘削平
8 号墳	方 墳	1 5 × 1 4	_		_	_	墳丘削平
関連文献							
No. 102 遺	林名 東垣外古場	き 群	所	在地	明和町大字		
 	合体育館建設	事業主体	明和町教育委員		調査機関	明和町斎宮跡伊	
F	1 ~ 1.9.4	調査面積	1 8 0 m²		担当者	中野・教夫	
遺跡	の概	要	主な		構		遺物
	り地元で記 伝 に含まれるもの 昭和63年度の列 ちの土城墓が検出 成内にあった仮記	えられてい つで、昭和 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	東垣外 28号墳 円墳 ほとんどが削 ており、写のみ 模等は不明。	平、擅	乱を受け		
関連文献	P.糸考古誌考」	Contract of	Le rel. ESTR				

No. 103	3 遺跡名 外 山 泊	植植	·	所在地	明和町養相	村字外山
調査原因		事業主体	万代興産㈱)	調査機関	明和町斎宮跡保存対策室
調査期間	H 2.2.27 ~ 2.28	調査面積	6 0 m²		担当者	中野 敦夫
遺	跡の概	要	主な	遺構		主な遺物
土馬等を表 録されたも に伴い調査	度分布調査で、須恵思 採し、平安時代の遺 ので、本年度県営圃場 された場所に隣接する ま業地に5m×2mの こった。	がとして登 易整備事業 る。	柱穴 溝 2 土坑			土師器、杯、 甕
関連文献						<u> </u>
No. 104	遺跡名東垣外Bi			所在地	明和町大	字坂本字東垣外
調査原因	地方改善事業 環境整備造成工事	事業主体	明和町		調査機関	
調査期間		調査面積	1 2 0 m ²		担当者	
遺	跡の概	要		な 遺	L	主な遺物
古墳時代	以降と考えられている はに6ヶ所の試掘坑をま は果、北端で奈良時代の	る遺跡で、 设定した。	竪穴住居 土坑	1 2 1		土師器、杯、甕
関連文献			·			
No. 105	遺跡名 大床谷Di			所在地	伊勢市宇治	台今在家町深土
調査原因	敷地造成事業	事業主体	(株) エーペック	ス ショナル	調査機関	伊勢市教育委員会
調査期間	H 1.6.20 ~ 6.21	調査面積	4 0 m ²	- 4/1-	担当者	岩中 淳之
遺	跡 の 概	要	主	な 遺	構	主な遺物
左丘 文 路に 土学にては、大学には、大学のでは、大学のいいがは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	に東方より朝日合川した し、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	中位 一位 一位 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、 大き、	柱穴(中世)	以降)		・押型文土器(ポジティブ・黄島〜高山寺併行期) ・後期縄文土器 ・石鏃・剥片 ・山茶椀、近世陶磁器
関連文献	岡田登「五十鈴川上流	が他の海跡」	- 遺物 『自台	> 舶 十 学 4	一再 答のに制	₽
No. 106	THE PLANT DAYLOR		- 48707」 王7	所在地		506.1 大淀町字東山
	砂利採集	事業主体	小俣産業株	1/11120	調査機関	伊勢市教育委員会
	H 1.12.12	調査面積	150 m²		担当者	岩中。淳之
遺	跡の概	要		な 遺	構	主な遺物
標高 3 m 先だち試掘	前後の砂堆に立地。砂調査を実施。調査地の質土・青灰砂質土とな	利採集に	な		個 し	エ 4 MB 70
関連文献					<u> </u>	
>>IDI						

No. 107 遺跡名 樋	子 遺 跡	所在地	丹熱市山	 村町字樋子
調査原因	子 遺 跡 事業主体	伊勢市建設部 」近畿自動車道対策室	調査機関	伊勢市教育委員会
設2件3代達6首成事業	15 18 調査面積	」 近畿目動単直对策至 380 m²	担当者	岩中淳之
111 11 11 11 11 11	概 要	主な遺		
			件	主な遺物
前面に沖積地を控える標 状に伸びる丘陵端部に立地 生・古墳・平安〜鎌倉時代 れ試掘調査を実施。 ほぼ全体に昭和3年離宮 砲陳地幣理のため、遺構は	。分布調査で弥 の土器が表採さ 敷地造成や高射	なし		弥生土器片(後期) 須恵器(寇、甕片など) 山茶椀、伊勢型鍋
と推定され、遺物も少片で ら出土したものであった。 なお、代替地造成は予定 ることとなっている。	すべて整地土か		į	
関連文献				
No. 109 遺跡名 森	De い te 脇 遺 跡	所在地	上野市部等	字森脇
調査原因 上野市都市開発整備 関連公共事業	事業事業主体	上野市	調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間 H 2.7.26 ~ 10.1		1, 5 0 0 m ²	担当者	前川依久雄、豊岡 勇
遺跡の	概 要	主な遺	構	主な遺物
縄文時代を開文的では、 ののでは、 ののでは、	代・出のチ、)た と かんに 大い	・旧河道:縄文時代への ・土坑:縄文時代の ・土坑:縄文時代の ・土坑・土地 ・掘立柱 ・掘立柱 ・掘立柱 ・掘立柱 ・平安時代〜 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 を ・ 本 を ・ を ・ を ・ を ・ を	守蔵穴1基 別の土坑1	・弥生時代 ・ ・古墳時代 須恵器(杯蓋)土 ・ お墳時代 須恵器(杯身・杯 ・ 奈良時代 須恵器(杯身・杯 蓋)土師器 ・ 平安時代 黒色土器(椀・皿) ・ 緑和土器 ・ 鎌倉時代 瓦器
	CIEU 西館跡	所在地		『具町字喜春
調査原因 社員寮建設	事業主体	五洋紙工件	調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間 H 1.10.23 ~ 10.		4 4 9 m²	担当者	前川依久雄、豊岡 勇
	概 要	主な遺		主 な 遺 物
御墓山古墳の西、丘陵端まれた城館で、東西約70m範囲に幅約6mの堀を四方に内側に口の字型に土塁をと想定は北野のよりが最近に、最大長47m)が残りまる。今回は東側土塁の実施した。	、南北約80mの にめぐらし、更 囲繞させるもの (最大長40m) 存し、L字状を	断ち割り部分の土場約45m、下面幅約10mの幅約10mのの形状を向いた。 ら西の卵内にている。 もって堆積しに見られる。 その盛土した土を盛ったれる。	n、比高37 整土は東か 独な勾配を 地山土が るため、堀	擂鉢片、甕片、瓦器片、土師器 片など
関連文献 山本雅靖『喜春	遺跡群発掘調査報	製告 』1982 年 上野市	教育委員会	· 上野市遺跡調査会他

No. 111	1 遺跡名 構 枕 治	.		所在地	上野市猪田	1烘炒
<u> </u>	1.12\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	事業主体	连五十十十十十	別任旭	調査機関	上野市遺跡調査会
調査原因	工場造成 H 1.11.15 ~ 12.13	調査面積	清和工業(株)	 	担当者	前川依久雄、豊岡 勇
調査期間			<u> </u>	+> '#s	L	
遺	かの概	要	主		構 	
小津川は 発見の遺跡	D支流、砂川の右岸に位 がである。平成元年7月	L直する新 の試掘調	溝1条 弥生 竪穴住居1月			弥生土器、壼、土師器、椀、皿 須恵器、杯身、杯蓋、
査で溝、ヒ	『ット等が検出され本調』	全に至った	溝4条	ak et a	÷ ± π± μΔ	木製品(木槌)、青磁
	代から奈良時代にかけて られる。なお竪穴住居に		柱列1条 土坑、ピット 4.	▶ 飛鳥~為	尺时代	
	e呈し、排水溝を有する					
関連文献						
No. 112	2 遺跡名 旧崇広堂	(国指定史	上跡外)	所在地	上野市丸之	と内78番地の 6
調査原因	遺跡整備	事業主体	上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 2.1.16 ~ 3.14	調査面積	3 8 0 m ²		担当者	豊岡 勇、前川依久雄
遺	跡 の 概	要	主	な 遺	構	主 な 遺 物
	客学校である有造館の		〈旧崇広堂の		·	・江戸時代
乂以 4 年(道場、兵当	、1821)に創設される。 芝寮からなっていたが、	乂場と武 現存する	・母屋の台 1間(19		扇で5ヶ所	瓦、陶磁器 ○土師質土器、樋受け、八双金
のはそのな	な場で、講堂、有恒寮、	講官控室	根石を検	出した。		具など
幺関、台別 一 今回の調	fi、書庫、門、塀などで 開査範囲は、兵学寮等の	ごめる。 D跡地に建	・寄宿大和 1間間隔	支座と兵5 で5ケ所材	₽ 尞 艮石を検出	
てられてし	ヽた旧崇広中学校校舎 軆	対地部分で	した。幅	0.8mのħ	艮石群が南	
旧宗仏堂1	横確認のために調査を	e実施した	北4m果 検出した。		逆L字型に	
			〈旧崇広堂』		尿屋敷の遺	
			構〉 1.8 m突¦	出した部屋	屋があり、	
			そこには	大きなカス	を3つ備	
		į			この部屋だ 「を多数検	
ŀ			出した。			
112 Hr. L. 45						
関連文献) \mu \text{ \	*BBV\#+/+		ar to ut	1 mg +	
No. 11:			業地内遺跡群	所在地		反生・中友生・依那具地内
調査原因	上野新都市整備事業		上野市		調査機関	上野市遺跡調査会 上野市教育委員会・上野市遺跡
調査期間	H 1.3.1 ~	調査面積	10, 249 m²		担当者	
1 82 45 1	遺	跡	O	t=t,_ 4-0	概	要
						な丘陵部に所在する遺跡群である。 こ遺跡の多くが古墳とならない傾
向をもつく	ことが判明しつつある。	このことは	よ、分布調査の	D条件とも	関わるが、	この対象地域がいずれにしても
白くより作 識されない	リゥかの土地利用のあっ ^地点も有り、調査後に	ったことが第 こ一括して記	見われることで	こなった。 を検討して	- 週盼	は発掘調査によって遺跡として認 調査地点の位置及び概要は次のと
りである。	, , , , , , , , , , , , , , , , ,		,	-		
88 /# -L -4· k						
関連文献	THE DEFECT OF A COUNTY			at to the	1.83+	- H- 104 .1. 3dz [7]
,No.	遺跡名 №4 3 地点		1 mg -1-	所在地		(上聚七次出
調査原因	上野新都市整備事業		上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.3.1 ~ 3.31	調査面積	4 0 0 m ²	, 'sta	担当者	境宏
遺 /	跡 の 概	要		な遺	構	主な遺物
置している)m前後を測る幅広の肩 る。調査区の南半は表士	下即地山	な		し	弥生式土器・寛永通宝
となるが、	北半では約20cmの包含	層が残る				
包含層は見 	更に北に続く。					
関連文献			<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u> </u>



第13図 上野新都市開発整備事業区域内発掘調査地点位置図

No.	遺跡名 No.6 9地	占		所在地	上野市由	友生西場谷
調査原因	上野新都市整備事業		上野市	171111111	調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.10 ~ 1.11	調査面積	3 0 0 m ²		担当者	野原宏司
遺	上上 の 概	要	ŧ	な遺		主な遺物
mの規模を	をによると直径約10mをもつ古墳が想定されりは自然堆積による自	たが、墳丘			b	な し
関連文献						
No.	遺跡名 Na.70地	点		所在地	上野市中	友生西場谷
調査原因	上野新都市整備事業	事業主体	上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.10.16 ~ 11.6	調査面積	188 m²		担当者	田中 秀和
遺	跡の概	要	主	な遺	構	主な遺物
つれて、i れず、また	責と推定 されていたか 主体部、周湟等外部施 に遺物の出土もなく主 艮と判断された。	殺も確認さ	な		l .	なし
関連文献						
No.	遺跡名 Na.71地			所在地	上野市中方	文生西場谷
調査原因	上野新都市整備事業	事業主体	上野市	**	調査機関	
調査期間	H 2.1 ~ 2.2	調査面積	270 m²		担当者	野原 宏司
遺	<u>跡</u> の概 Eによると直径約7m、	要	主	な遺	構 	主な遺物 石製品(砥石)
が、埋葬主	見模をもつ古墳として7 E体及び周逢も確認さま られなかった。			NE		
No.	遺跡名 No.76地)			所在地	上野市中方	文生西場谷
	上野新都市整備事業		上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.10.16 \sim 11.27	調査面積	1 2 0 m²		担当者	田中 秀和
遺	跡の概	要	主		構	主な遺物
むにつれて	賃と推定されていたが、 「、主体部、周湟等の分 「、主尾根が突き出たf	外部施設も	な		ل ا	なし
関連文献						
No.	遺跡名 № 77地			所在地	上野市中友	
	上野新都市整備事業	事業主体	上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.10.16 ~ 12.1	調査面積	3 7 1 m²		担当者	田中 秀和
遺	めの概	要		な遺	構	主な遺物
層からは瓦出土の場合は、原出土の場合は、原にまた。また、男は、田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	の谷に包含層が二枚確認に器、土師器片、サヌミに、土坑は木相にまらに、土坑は木相にまたので、銅製品がれる然石が出土した。日本のは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	カイト片が 直葬の土城 古、土師皿 寺期は埋土	ピット、土は	広墓 1 基		サヌカイト片、男根状自然石、 瓦器片、土師器片、銅製品片
関連文献						

	September 1				1	1 mg-4-1	
No.		No.78地点			所在地		友生西場谷
調査原因		「整備事業		上野市		調査機関	
調査期間	H 2. 1 ~ 2		調査面積	5 0 0 m ²		担当者	
遺		0 概	要		な_遺_	構 ————	主な遺物
mの墳丘規 埋葬主体及	をによると正 模をもつ古り とび周涅等に と呈する自然	きとして想覚 は検出される	こされたが、 「、疑似古	な		∪	なし
関連文献							
No.	遺跡名				所在地	上野市下力	友生奧小波田
調査原因	上野新都市	整備事業	事業主体	上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.11.1	~ 2. 2. 22	調査面積	6 0 0 m²		担当者	山本雅靖
遺	<u>跡</u> の) 概	要	主	な遺	構	主な遺物
る。主要部溝などが残) m前後を調 形が削平され える。古墳は された遺跡で	いる等により 好代から奈良	遺存せず	溝 2 方形土坑、	柱穴群		古墳時代土師器・須恵器 奈良時代土師器・須恵器
関連文献							•
No.	遺跡名	No. 8 2 地点	Ĩ.		所在地	上野市中力	友生 樋 之谷
調査原因	上野新都市	整備事業	事業主体	上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.12.8	~ 2. 3. 3	調査面積	1, 3 5 0 m ²		担当者	田中 秀和
遺	跡 0		要	主	な遺	 構	主な遺物
から土師器 石器片、具 期土器片か ピットを核 ト 1 つで、	には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	中層からは 下層から都 地山面上で は文中期の過	師器片、 【文時代中 『焼土坑、 【構はピッ	焼土坑、ピ			キセル、土師器片、石鏃、縄文 土器片、黒色土器片
関連文献							
No.	遺跡名	No.9 0 地点	<u> </u>		所在地	上野市佐那	那具羽根川
調査原因	上野新都市	整備事業	事業主体	上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.11 ~	1. 12	調査面積	5 0 0 m²		担当者	野原 宏司
遺	跡 の	め 概	要	主	な遺	構	主な遺物
mさ高調遺なもたののらさ高調遺なもののられている。 畑さ高調遺なものでしいい。 加さ高調遺なものでしいい。 加さ高調遺なものののののののののののののののののののののののののののののののののののの	・	「墳として根語の の面では のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは の	された。 と約5mmた 記記おいさは は形にない は形になか 車が でする。	旧山道部 溝状遺構 2	条(時期)	不明)	土師器片、須恵器 妻 片
関連文献							

No.	遺跡名N	են 1 #hժ			所在地	上野市佐那	W.自片度小
調査原因	上野新都市園			上野市	1711120	調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.7.10~		調査面積	8 9 0 m ²		担当者	田中 秀和
湖里知间	跡 の	- 概	要		な遺	L	主な遺物
				土坑 3 基、抗			土 な 退 物
ピット、∃	D谷斜面に包含 L坑、溝等が樹	食出された	こ。時期は	工児3基、ほ	再乙宋、「	- y P	工卵畚皿
平安時代~	~鎌倉時代であ	ある。遺跡	かの性格は				
不明。 							
りを関連文献	1.000				T 22	· · · · · · · · · · · · ·	
No.	遺跡名N				所在地	上野市佐那	
調査原因	上野新都市勢			上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.8 ~ 1.9		調査面積	1, 0 0 0 m ²		担当者	野原 宏司
遺	跡の	概	要	主	な遺	構	主な遺物
	をによると直径 開始をよっ土を			焼土跡(時期	切不明)		須恵器 甕 片、土師器片
	見模をもつ古頃 なび周湟等は核						
	配根斜面から 2						
	食出された。 が確認されたか						
	、墳丘外へ流出	出したもの	つと考えら				
れる。							
	1						
関連文献	\mu_+ 67 \ \mu		-		== +- ub	1 明7 士 4-3	7月4点,
No. 調査原因	遺跡名 N 上野新都市動			上野市	所在地	上野市佐那調査機関	上野市遺跡調査会
	上野村和川西 H 1.3.1 ~ 3.			上野川 5 0 0 m²	-	担当者	
調査期間	L		調査面積		* 油		山本雅靖
遺	跡の一部後まる明常	概	要	主			主な遺物
	0 m前後を測る 責時代以降奈貞			階段状遺構、 柱穴、横穴1	・ 成工、 う 大遺構、 著	フロック、 I 客とし穴状	須恵器甕破片、土師器甕・椀
	された遺跡と考			遺構			
関連文献							
No.	遺跡名N				所在地	上野市佐那	
調査原因	上野新都市書	2備事業	事業主体	上野市		調査機関	上野市遺跡調査会
調査期間	H 1.8.21 ~	1. 10. 30	調査面積	3 6 0 m²		担当者	野中 仁
遺	跡の	概	要	主	な遺	構	主な遺物
	₣∼51年の南部			1 m× 0.5 r			2×3 cm程度の土師器片 5 点の
	≦では径8m、 きれている。N			径30cm~50r	nのピット	6	み
尾根の南針	料面に位置し、	テラスり	の地形を				
	調査区の北半 て南へ落ち込ん						
われる遺析	構、遺物は検出	出されず南	手東寄り				
	国含層と思われ 上坑及びピット						
期の長期に	こわたっての生	E活が営ま	れていた				
	ゲー時期的なも は貧弱で時期等						
ш	マログラ といりがして	רעיין ייסט ד	ه که رک				
<u></u>							
関連文献							

通数名 1.89 9 地点 1.97 地点 1.97 地流 1.97	調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 調査期間 H 1 7 ~ 1 8 調査面積 5 0 0 m² 担 当 者 野原 宏司 遺跡 の 概 要 主 な 遺 構 主 な 遺 物 分布調査によれば、直径約8 m、高さ約 2 mの墳丘規模をもつ古墳と考えられたが埋葬主体及び周湟等は検出されなかった。立ち割りの結果、遺物包含層を検出したが集落等を想定する明らかな遺構は発見されなかった。 は動物の結果、遺物包含層を検出したが集落等を想定する明らかな遺構は発見されなかった。 財産・産産・産産・産産・産産・産産・産産・産産・産産・産産・産産・産産・産産・産	
調査期間 日17~18 調査面積 500 m 担当者 野原 次司 2	調査期間 H17~18 調査面積 500 m² 担当者 野原 宏司 遺跡の 概要 主な遺構 主な遺物 分布調査によれば、直径約8 m、高さ約2 mの墳丘規模をもつ古墳と考えられたが埋葬主体及び周湟等は検出されなかった。立ち割りの結果、遺物包含層を検出したが集落等を想定する明らかな遺構は発見されなかった。 なかった。 上野市佐那具片原山 関連文献 Na 遺跡名 片原山古墳群Na 9 2 地点 所在地 上野市佐那具片原山 調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 調査期間 H 1.7.11~9.13 調査面積 600 m² 担当者 山本 雅靖	
遺跡 の 概 要 主 な 遺 構 主 な 遺 物	遺 跡 の 概 要 主 な 遺 構 主 な 遺 物 分布調査によれば、直径約8 m、高さ約2 mの墳丘規模をもつ古墳と考えられたが埋葬主体及び周湟等は検出されなかった。立ち割りの結果、遺物包含層を検出したが集落等を想定する明らかな遺構は発見されなかった。 土師器甕片 関連文献 Na 遺跡名 片原山古墳群Na 9 2 地点 所在地 上野市佐那具片原山調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会調査期間 日1.7.11~9.13 調査面積 6 0 0 m² 担 当 者 山本 雅靖	
分布調査によれば、直径約8 m、高さ約2 mの項丘原機を ch 古墳と考えられたが。	分布調査によれば、直径約8 m、高さ約2 mの墳丘規模をもつ古墳と考えられたが埋葬主体及び周湟等は検出されなかった。立ち割りの結果、遺物包含層を検出したが集落等を想定する明らかな遺構は発見されなかった。 な し 土師器甕片 関連文献 Na 遺跡名 片原山古墳群Na 9 2 地点 所在地 上野市佐那具片原山調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会調査期間 出 1.7.11 ~ 9.13 調査面積 6 0 0 m² 担 当 者 山本 雅靖	
過跡名 片原山古墳群 Na 9 2 地点 所在地 上野市佐那具片原山 調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 担当者 山本 雅靖 連 跡 の 概 要	No. 遺跡名 片原山古墳群No.9 2 地点 所在地 上野市佐那具片原山 調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 調査期間 H 1 7 11 ~ 9 13 調査面積 6 0 0 m² 担 当 者 山本 雅靖	
調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 担当者 山本 雅靖 世本 第	調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 調査期間 H 1 7 11 ~ 9 13 調査面積 6 0 0 m² 担 当 者 山本 雅靖	
調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 遺産 跡 の 概 要 主 な 遺 橋 担当者 山本 雅靖 遺産 跡 の 概 要 主 な 遺 橋 主 な 遺 核 内質 直径12 m 要 主体部の間 上野市下友生寒小波田 No. 遺跡名 奥小波田古墳群 所在地 上野市下友生寒小波田 調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市下友生寒小波田 調査期間 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市下友生寒小波田 調査期間 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 調査期間 上野市遺跡調査会 調査期間 上野市遺跡調査会 調査期間 上野市遺跡調査会 調査規関 上野市連跡調査会 山本 雅靖 財産	調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 調査期間 H 1.7.11 ~ 9.13 調査面積 6 0 0 m² 担 当 者 山本 雅靖	
週	調査期間 H 1.7.11 ~ 9.13 調査面積 6 0 0 m² 担 当 者 山本 雅靖	
遺跡 の 概 要 主 な 遺 構 主 な 遺 物 日頃		
四項	┃ 遺 跡 の 概 要 ┃ 主 な 遺 構 ┃ 主 な 遺 物	
No. 遺跡名 奥小波田古墳群 所在地 上野市下友生奥小波田 調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 調査期間 田 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	┃ 土坑 用水施設	
No. 遺跡名 奥小波田古墳群 所在地 上野市下友生奥小波田 調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 調査期間 田 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	関連文献	
調査原因 上野新都市整備事業 事業主体 上野市 調査機関 上野市遺跡調査会 調査期間 日 13 2 2 3 3 2 3 3 3 3 3 2 3 3 3 3 2 3 3 3 3 4 4 4 4	The state of the s	
調査期間		
古 墳 名 墳 形 規模(m) 主 体 部 出 土 遺 物 時 期 備 考		
古 墳 名 墳 形 規模(m) 主 体 部 出 土 遺 物 時 期 備 考 No. 7 9 地点 楕円形 短径11m 長径18m 短径11m 木棺直葬 塩 上体部一土師器 (杯・短頸壺) 盛土内一縄文土 器、石鏃 主体部一土師器 (杯・短頸壺) 盛土内一縄文土 器、石鏃 6世紀中葉 中央主体部は既破壊か? No. 7 9 - B 地点 円墳? 直径10m 木棺直葬 遺 (杯) 主体部一土師器 (本) 6世紀中葉 (杯) No. 8 0 - A 地点 円墳 直径20m 横穴式石室? 土師器 (本) (瀬 上 師器 (臺 -	111111111111111111111111111111111111111	
No.79地点 楕円形 長径18m 大棺直葬		考
R P P T T T T T T T T	No.79地点 楕円形 長径18m 大棺直葬	数で
周 湟 土師器 (壺・椀) (壺・椀) (園港・椀) 周湿ー土師器 (電・椀) 周湿ー土師器 (電・椀) 土地の (電・碗) 土地の (電・碗) 土地の (でいまり) (
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	周 湟 土師器 土 坑 (壺・椀) 須恵器(器台・高杯甕) 周湦-土師器 (甕・碗) 土坑一須恵器 (杯身・横瓶・ 短頸壺)	

	冶陆区	いどかわれし 糸川橋遺	+	所在地	夕래市 頁	見字下出地先
No. 114 調査原因	名張川改作		事業主体	建設省(木津川上流 上事事務所)	調査機関	名張市遺跡調査会
調査期間	H 1.11.23		調査面積	<u>工事事務所)</u> 1.900㎡	担当者	門田 了三
			要		<u> </u>	
遺		D 概 		主 な 遺 奈良時代 竪穴住居	構 1棟	主 な 遺 物 古墳時代前期
るれれ調が 時最世のら紀に 地たて査あ調代下紀土は)よ 点コい地る査毎層)器、のっ のかののが飛土て とが、またし が発生する。 はから になった。 はいは、 になった。 はいは、 になった。 はいは、 になった。 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは、 はいは	正学・現底は果然では、 では、などのでは、などのでは、 ではは、などのでは、などのではは、などでは、 では、などのでは、 では、などのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		F(5 1 1 1 1 1 1 1 1 1	カマドが良好に遺存鎌倉時代 掘立柱建物 その他 士坑 多数	字している	記 高 情時、・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
関連文献 Na. 115	遺跡名	ない とうどう 名張藤堂家	たいまと 区跡 3 次	所在地	名張市丸之	Z内54番地
調査原因	史跡整備		事業主体	名張市	調査機関	名張市遺跡調査会
調査期間	H 1.8.21 ~	~ 1.10.7	調査面積	6 4 5 m²	担当者	門田 了三
遺	跡 σ	> 概	要	主な遺	構	主な遺物
成を(ぜの高替(よ始いるた武っ領1608れをがで10屋り屋明、屋とて)た守、こ)敷、敷治奥敷をとて)た守、この敷、敷治奥敷をで10屋り屋明、屋	、別登さて永古月焼存は年き知現家で高、い3城1失す、に住る在臣此虎家る年に日する大大居資、松にが臣。(館にる傳名部の料老権が投権の16を趙。末屋分みと杯	清は平原の15年の15年の15年の15年の15年の15年の15年の15年の15年の15年	38000年にが藤り7火建れてき上とかけた東京のでは、大田のの一年にが藤り7火建れてきた壊い跡がまり7火建れてき上ととは、大田ののでは、大田のでは、大田のでは、大田ののでは いいのでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田のでは、大田のでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、田ののでは、大田ののでは、日ののでは、大田ののでは、大田ののでは、日ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、日ののでは、日ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、日ののでは、田ののではのでは、田	地色の焼気をはくます。 対して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	焼褐砂水砂 といい は、	焼土中より伊万里系、唐津系、唐津系、唐津系、唐津系、唐津系の陶磁器には、東京の内田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田

No. 117 遺跡名 杉田氏城區	 亦	所在地	阿山郡阿山	山町槙山字門出
調査面積 町水道、ポンプ施設	事業主体	阿山町水道課	調査機関	阿山町遺跡調査会
調査期間 H 1.5.29 ~ 6.13	調査面積	6 6 2. 5 m²	担当者	森川 桜男、田中喜久雄 藤井 尚登(埋文センター)
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
模山字門出の集落裏山の低丘限して築かれる中世城郭の遺構して築かれる中世城郭に位は見し、段状に切り込み、削りらな、出輪には土塁が巡り。主曲輪には土塁が巡り。調査範の小曲輪を中心としたとことでは、掘切が残るの位は、15世紀にと記る情検出にと紀記する。出土遺物としれる擂鉢を中間が考えられる天日本碗の観などが出土している。	表 丘 2 南 3 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本 5 本	溝 1条 階段状の道 土坑 1		擂鉢(伊賀・信楽窯) 土師器皿、小形天目茶椀 青磁(椀、香炉)、小型の硯 鉄製品(小柄・鉄鏃、その他) 古銭(宋銭・寛永通宝)
		132 号 (伊賀中世城)	馆調査会発	j)
No. 118 遺跡名 無山地区i	 動	所在地	阿山郡伊賀	賀町大字下柘植字道山
調査原因 霊山地区遺跡発掘調査		国庫補助事業	調査機関	伊賀町教育委員会
調査期間 H 1.7.20 ~ 8.12	調査面積	1 4 0 m ²	担当者	森川 桜男
遺跡の概	要	主な遺	構	主な遺物
霊峰、霊山は伊賀町の南部に位くから東山(りょう伊田の山)ととしていた。 田和60年霊山山頂(標高 765.87 わるなおり、新田の山) 中野田の山) 中野田の山) 中野田の地) 中野田の南田の地) 中野田の南田の地) 中野田の南田の地) 中野田の南田の地) 中野田の南田の東地) 中野田の南田の地) 中野田の南田の東地) 中野田の南田の東地) 中野田の南田の東地) 中野田の南田の南田の南田の南田の南田の南田の南田の南田の南田の南田の南田の南田の南田	元が拝 からではない。 が拝 からでは、 が手 からのまでは、 がは、 がは、 がは、 がいまでは、 はいまでは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいな	五輪塔の砂砂・地輪を数がた時間では、一大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	ておれている、 田田 (本語) では、 大田 (本語)	擂鉢片、壺片、瓶壺片、仏具 陶器片、寛永通宝、カワラケ片 天目茶椀片、清水焼片、木片、 炭、墓石、日本製陶器片、瓦片 瓦器片、鉄片
関連文献 岡村健三「伊賀町地誌 「郷土誌」 「霊山山頂鼠	伊賀町史紀		订教育委員会	Ā

Ⅲ 埋蔵文化財保護体制の強化

1 三重県埋蔵文化財担当者会議

県及び市町村の教育委員会に配置されている埋蔵文化財担当者に対する研修会を3ヶ月毎に開催地を 順次交替し、開催した。

この研修会は、市町村教育委員会の担当者全員と県埋蔵文化財センター・斎宮歴史博物館調査課・学芸課の職員が参加し、埋蔵文化財における行政上の諸問題、調査方法等や県及び市町村で実施される調査について情報交換や討議を行い、埋蔵文化財の研究を推進し、調査の充実を図るために実施した。主な研修内容は、埋蔵文化財保護実務にかかる行政上の諸問題の討議、研究発表(事例研究)、講演会、調査の方法、結果の検討、遺跡見学等である。

なお、この会議は昨年度まで行われていたものを、さらに埋蔵文化財調査研修に重点をおき開催した ものである。

開	催日	開催場所	内 容	見学先など
第1回	1 · 4 · 28	斎宮歴史博物館	o 今年度事業計画ほか	
第2回	1 · 7 · 27	津 市 役 所	事例研究『畿内楯形埴輪の検討 一革製の楯を中心として一』	中勢道路関係遺跡
			上野市遺跡調査会 田中秀和氏	西出遺跡
			発掘調査遺跡発表	
			上椎ノ木古墳、伊勢寺遺跡	
第3回	1 · 10 · 27	明和町公民館	。 講演会『古墳時代の須恵器』	
			大谷女子大学助教授 中村 浩氏	
第4回	2 · 2 · 6	松 阪 市 本居宣長記念館	講演会『斎宮をめぐる伊勢の計画古道及び 伊賀国府周辺の古道』	松阪城跡
			京都大学教授 足利 健康 民	
			○ 発掘調査遺跡発表	
			松阪城跡、蚊山遺跡、森脇遺跡、国町遺跡	

2 埋蔵文化財発掘技術者研修

埋蔵文化財発掘調査に関する専門的知識と技術の向上を目的とした研修事業は、昭和42年度以来 学校教員を対象として夏期に県外の研究機関へ派遣して実施してきた。しかし夏期休業中の短期研修で は不十分であるため、昭和54年度からは研修事業を拡大し、県外1~2か月、県内11~10か月の 1カ年研修に改め実施してきた。昭和54年度から平成元年度までに46名が研修を終了した。

平成元年度研修員

渡	辺	尚	登	県立桑名西高等学校教諭
三	枝	義	久	〃 四日市西高等学校教諭
東		成	志	海山町立三船中学校教諭
福	田	哲	也	松阪市立鎌田中学校教諭
山	岡		裕	上野市立長田小学校教諭
荒	木	昌	俊	楠町立楠小学校教諭

〔 平成元年度研修内容〕

月	県	· 内	研	修		県 外 研 修
4	○研修ガイダン	ンス ○室内講義 [○遺物実測	実習 。分布調査	至実習	
5	○発掘調査実習	習(西出遺跡・伊	勢寺遺跡・敷	田遺跡ほか)		
6 .	o "	(" ·	// · · 家	野遺跡ほか)		
7	0 //	(" ·	<i>"</i> ·	<i>"</i>)		平城宮跡発掘調査部 飛鳥・藤原宮跡発掘調査部
8	o //	(下川遺跡・外)	山遺跡・家野	遺跡ほか)		"
9	0 //	(// ·森[協遺跡・本郷	遺跡ほか)		"
1 0	o //	(" ·	〃 ・伊賀	国府推定地遺跡	ほか)	. "
1 1	o //	(" ·	<i>"</i> ·	")	"
1 2	0 //	(" ·	<i>"</i> ·	")	
1	0 //	(西沖南遺跡・	森脇遺跡ほか)		
2	○報告書作成第	実習				
3	o ,,	○室内講義	<u> </u>			

〔 研修ガイダンス及び室内講義 []

月日	内	容	担	当 者		場 所
4 · 10	・国道1号バイパス事業に	かかる遺跡調査概要	調査2課第3	2 係長 田 利	治	亀山整理所
4 · 17	・埋蔵文化財法と保護の理	論	調査1課長 伊	藤克	幸	埋文センター
	・発掘調査の計画と実務		調査1課第3		久雄	"
	・遺物実測の理論と方法		主 事 倉	田直	純	"
4 · 18	・三重県の主要遺跡と遺物	3	管理指導課題 吉	ē 水 康	夫	"
4 · 19	・近畿自動車道路事業にか	かる遺跡調査の概要	主 査	田	洋	玉 城整 理所
	・中勢道路事業にかかる遺	は跡調査の概要	調査2課第3	3 係長 生 悦	生	中勢整理所
4 · 20	・遺物実測研修		主 事倉	田直	純	埋文センター
4 · 21	・斎宮跡概説		斎宮歴史博物 調査課主事		仁	斎宮歴史 博物館
	・測量機器と写真機材と取	り扱い方実務		,		"

〔室内講義 【〕

月・日	内	容		担	ž	4	者		場 所
3 · 5	・三重県の水田遺構		主	事	増	田	安	生	中勢整理所
	・北勢地方の古墳		"	,	浅	尾		悟	亀山整理所
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		"		平	子		弘	"
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		近	藤		健	"
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				果第 : 駒	2 係 ! 田	_長 利	治	"
3 · 6	・石器の見方・造り方		主	•	山	崎	恒	哉	玉 城整 理所
	・三重県の縄文時代		"		田	村	陽		"
	・瓦の生産と流通		******		河	北	秀	実	"
3 · 7	・斎王制度の発生と展開			ア 歴 見 限 査 認			日阪	仁	埋文センター
	・斎宮出土の遺物と遺構			師	泉		雄	=	"
3 · 9	・伊勢湾沿岸の弥生時代		_	事	鈴	木	克	彦	"
	・杉垣内遺跡出土の斎串と祭祀		"		河	瀬	信	幸	"
3 · 12	・伊賀地方の遺跡と遺物〜最近の	の事例を中心として~	"		服	部	久	士	"
			"		森	Ш	常	厚	"
	・三重県の中世墳墓		"	,	宮	田	勝	功	"

3 埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修

各種開発事業に伴う緊急調査件数が増大し、埋蔵文化財専門担当職員未設置の各町村においても発掘 調査体制の確立が急務となっている。そのため、昭和58年度から文化財保護行政の強化と埋蔵文化財 関係の専門的技術の習得を目的として研修を実施している。本年度は下記職員が別添要項の講座 I(発 掘調査 B コース)を履修した。

平成元年度研修生

藤 井 尚 登 (阿山町教育委員会)

月		研	修	内	容		研	修	場	所
6	。文化財行政につ	いて				埋	蔵文	化財	セン	ター
	発掘調査研修									
		○機材搬入	、写真撮影は	\$ >		杉	田	氏	城	跡
		○ 発掘実習	(試掘坑設定	・遺構検出・	調査カード記入)			"		
7		○ 発掘実習	(遺構検出、	実測準備、遺	l構実 測)			"		
8	○ 発掘実習	出土品整	理			森	脇	遺	跡(まか

平成元年度埋蔵文化財発掘調査技術町村職員研修実施要項

1 目 的

近年、各種開発事業に伴う埋蔵文化財の緊急発掘調査件数は増大し、各町村においても調査体制の確 立が急務となっている。そのため、遺跡の現地確認調査、発掘調査、出土品整理、報告書作成等に関す る専門的な調査技術の研修を実施し、埋蔵文化財行政の強化に資する。

- 2 主 催
 - 三重県教育委員会
- 3 対象
 - 町村教育委員会文化財担当職員
- 4 場 所
- (1) 三重県埋蔵文化財センター(明和町竹川)
- (2) 県内埋蔵文化財発掘調査現場
- 5 期間及び実施時期

平成元年度

- (1) 各講座(【・【・】・】)は2カ月間とする。
- (2) 研修年度は、単年度が望ましいが、数年度にまたがってもよい。
- (3) 研修実施期間は、研修者派遣機関の希望を考慮する。

受講例

期間												月
氏名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	i		i									
В		į	冓座		溝座							
С	ii P	黄座	I				181	捧座]	I	講及	E II	

研修内容

講		座	名	称	内	容	期	間
	I		発掘コ	ース A	現地分布 試掘調査	調査実習 実習	2 ?	r 月
	I		発掘コ	ース B	発掘調査	実習	2 4	ァ 月
	I		発掘コ	ース C	遺物整理 報告書作		2 4	- 月

- (1) 文化財保護法の概要
- (5) 発掘調査の立案と実習
- (2) 埋蔵文化財の判定
- (6) 遺構の実測技術と写真撮影技術
- (3) 埋蔵文化財の確認調査の立案と実習 (7) 遺物の整理実習
- (4) 試掘調査の立案と実習
- (8) 製図・レイアウト等報告書作成実習

7 終了証書の交付

全研修講座終了者には、終了証書を交付する。

- 8 研修の経費
- (1) 研修実施場所への旅費は、研修者派遣機関において負担するものとする。
- (2) 研修に必要な資料等の経費は、研修者派遣機関の実費負担を求める場合がある。

4 文化財パトロール

平成元年度の文化財パトロールは、小中高の教員及び民間有職者 5 0 名を三重県文化財調査員として 委嘱し、実施した。

(1) 開発計画と文化財パトロール

総パトロール件数 8 1 9 件で、その内埋蔵文化財関係は 7 2 7 件である。通常の文化財確認調査に加えて県の開発事業にかかる埋蔵文化財の分布調査を依頼しており、今後とも公共事業地内のパトロールを強化していく予定である。

民間開発事業については、市町村が独自に予定地内の分布調査を実施しており、埋文担当者のいない市町村でも保護措置書の提出が増えている。

(2) 文化財の実態確認

文化財パトロールによる新発見遺跡は17件あった。特に上野管内での新発見が目立ち遺物散布地・中世城館の発見例が多い。これらについては、すでに遺跡カードへの記入がなされているものもあるが、未整理のものについては早急に台帳等へ記入し、整理するとともに、遺跡地図の整備を進めたい。指定文化財に対する巡視件数は92件あった。

平成元年度文化財パトロール実施件数

	建	造	物	美術工芸品	史跡名勝	天然記念物	埋蔵文化財	計
4			0	0	0	0	1	1
5			0	0	0	0	0	0
6			0	0	0	0	0	0
7			0	0	0	3	1 6	1 9
8			1	0	0	1 0	4 9	6 0
9			0	2	2	1 8	1 0 2	1 2 4
1 0			0	2	1	8	5 5	6 6
1 1			0	2	2	3	7 0	7 7
1 2			2	0	3	3	1 4 9	157
1			2	3	8	7	1 4 9	1 6 9
2			0	0	3	1	1 3 0	1 3 4
3			0	2	3	1	6	1 2
計			5	1 1	2 2	5 4	7 2 7	8 1 9

Ⅳ調査結果の公開

1 三重県埋蔵文化財展

三重県埋蔵文化財展は三重県教育委員会が主催し、昭和56年度から各市町村を会場に毎年実施しており、三重県教育委員会が実施した発掘調査の成果を中心に市町村が主体となって実施した発掘調査の成果をも合わせて展示して、広く県民に公開し社会教育の一環として埋蔵文化財保護思想の普及啓蒙に努めている。本年度は新たに三重県埋蔵文化財センターが発足し、同じく本年度開館した斎宮歴史博物館に併設されたのを機会に、第9回は三重県埋蔵文化財センターと斎宮歴史博物館が共催し、斎宮歴史博物館で開催した。

今回は、「緑釉陶器の流れ」を主なテーマとし、出土量としては全国屈指の出土量をもつ斎宮跡を中心とした県内各遺跡出土の緑釉陶器をはじめ、広く全国の主な生産地及び消費地出土の緑釉陶器をも各関係機関の協力を得て展示・紹介した。期間中の入場者数は約6,600名であった。

第9回 三重県埋蔵文化財展開催要項

1 目 的

県内で実施した埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物と関連資料を公開展示し、県民に埋蔵文化財 に対する啓発と普及をはかり、文化財保護意識の高揚をはかる。

2 主 催

斎宮歴史博物館・三重県埋蔵文化財センター

3 期 間

平成2年1月30日(火)~3月4日(日) 9:30~16:30

4 場 所

斎宮歴史博物館特別展示室

多気郡明和町竹川503番地

5 展示テーマ

「緑釉陶器の流れ」

- 6 記念シンポジウム
 - · 日 時 平成元年2月18日(日)10:00~16:00
 - · 場 所 斎宮歴史博物館講堂
 - · 主 催 斎宮歴史博物館
 - ・ 共 催 三重県埋蔵文化財センター
 - ・ テーマ 「緑釉陶器の生産と消費」
 - ・ シンポジウム出席者
 - · 斎 藤 孝 正(名古屋大学文学部)
 - · 水 谷 寿 克(京都府教育庁)
 - · 日 永 伊久男(滋賀県日野町教育委員会)
 - · 平 尾 政 幸(京都市埋蔵文化財研究所)
 - · 泉 雄 二(斎宮歴史博物館)
 - · 異 淳一郎(奈良国立文化財研究所)
 - · 谷 本 鋭 次(斎宮歴史博物館)

展 示 品 一 覧

県 内

資 料 名	保 管 者	資 料 名	保 管 者
紫岩蘇出土品	斎宮歴史博物館	数より必然 安養院跡出土品	津市教育委員会
44 并遗跡出土品	伊東春夫	西野遺跡出土品	一志町教育委員会
當向遺跡出土品	 三重県埋蔵文化財センター	て おどう 光於堂遺跡出土品	亀山市教育委員会
ひがしうら 東裏遺跡出土品	"	まわ 沢 遺 跡 出 土 品	"
て みどうまえ 小御堂前遺跡出土品	伊 勢 市 教 育 委 員 会	しものしょうとうほう 下之庄東方遺跡出土品	嬉 野 町 教 育 委 員 会 三重県埋蔵文化財センター
おぎのわ 大木ノ輪遺跡出土品	三重県埋蔵文化財センター	くに まち 国 町 遺 跡 出 土 品	三重県埋蔵文化財センター
かめられたお大膳寺跡出土品	四日市市教育委員会		

<u> </u>	1	T	T
資料名	保管者	資料 名	保管者
S 化	京都市考古資料館	学城京跡出土品	奈良国立文化財研究所
65 th、 洛西古窯跡群出土品	"	ながおかきゅうあと 長岡宮跡出土品	京都府埋蔵文化財調査研究センター
でなる。一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	京都府教育委員会	平安京跡出土品	京都市考古資料館
A4A5 峰道古窯出土品	滋賀県教育委員会		
かすがやま かみ 春日山の神古窯出土品	,,	だざいよもと大宰府跡出土品	九州歷史資料館
なが 作谷古窯出土品	日野町教育委員会	す おうこく ふあと 周防国府跡出土品	防府市教育委員会
べが 作谷古窯採取品	"	やましろこく ふあと 山城国府跡出土品	大山崎町教育委員会
くまのまた 熊ノ前古窯出土品	増 子 康 真	かも 鴨 遺 跡 出 土 品	滋賀県教育委員会
Moが ほう 亀ヶ洞古窯出土品	名 古 屋 市 博 物 館	し そく と 四 足 壷	名古屋市博物館
"	愛知県陶磁資料館	で5す 伝滋賀県浅井町出土合子	愛知県陶磁資料館
くろさき 黒 笹 89 号 窯 出 土 品	"	りょくさいか もんさんそくはん 緑彩花文三足盤	"
くろささ 黒 笹 90 号 窯 出 土 品	"	すぎ きから 杉ノ木平遺跡出土品	長 野 県 教 育 委 員 会
しのまか 篠岡 5 号窯出土品	小牧市教育委員会	でんが 恒川遺跡出土品	飯田市教育委員会
いなか 篠岡81号窯出土品	"	びらいで 平出遺跡出土品	平出考古博物館
いかか 篠岡48号窯出土品	"	はやし 林 B 遺跡他出土品	平塚市教育委員会
。 美濃古窯跡群出土品	多治見市教育委員会	む きしこくぶんじあと 武蔵国分寺跡出土品	国分寺市教育委員会
		た がじょうあと 多賀城跡出土品	東北歴史資料館

2 発掘遺跡現地説明会

発掘調査の途中、あるいは終了時には地域の人々に対し、文化財保護に理解を深めるため、現地説明会を開催し、調査結果について報告を行っている。県埋蔵文化財センターが調査主体となった発掘調査に係る現地説明会は下表のとおりである。

現地説明会遺跡一覧

遺跡名	所 在 地	主 催 者	開催日	参加人数	備考
上椎ノ木古墳	争小主!!!人吹空上操, 十	喀州苏大ル 叶。。	1. 6. 17	200名	
上椎ノ木館跡	亀山市川合町字上椎ノ木	県埋蔵文化財センター 			
森山東遺跡(E地区)	津市長岡町字宮ノ前	"	1. 6. 24	130名	
西出遺跡	安芸郡美里村大字三郷字西出	"	1. 7. 29	80名	美里村公報8号で紹介。
斎宮跡第82次	多気郡明和町斎宮	斎 宮 歴 史 博 物 館	1. 8. 6	5 0名	8/13 日に第2次現地説明会。 20名
宮地遺跡	度会郡玉城町岩出字塚名ほか	県埋蔵文化財センター	1. 8. 31	60名	
下川遺跡	安芸郡芸濃町雲林院字宗下	"	1. 9. 29	70名	雲林院小学校5·6年 現地見学。
宮ノ前遺跡	津市長岡町字宮ノ前	"	1. 9. 30	240名	
家 野 遺 跡	一志郡白山町字南家城字家野	"	1. 10. 5	80名	白山町「古里探訪講座」で講演。 家城小学校4~6年(120名) 現地見学。
楠ノ木遺跡	度会郡玉城町勝田字楠ノ木ほか	"	1. 10. 7	70名	
斎宮跡第83次	多気郡明和町斎宮	斎 宮 歴 史 博 物 館	1. 11. 3	190名	NHK·ETV8取材。
橋垣内遺跡(1)	津市大里窪田町字橋垣内	県埋蔵文化財センター	1. 11. 4	200名	
大 薮 遺 跡 (B・C地区)	亀山市羽若町字大藪	"	1. 11. 18	80名	
才良遺跡	上野市才良	"	1. 11. 30	120名	丸山中学校現地見学。
伊賀国府推定地国 町 遺 跡	/ 一之宮・千才・坂之下	"	1. 12. 16	150名	
森脇遺跡第2次	〃 市部字森脇	"	1. 12. 16	100名	
西沖遺跡	阿山郡伊賀町柏野字西冲	"	1. 12. 16	50名	
蚊山遗跡	度会郡玉城町岩出字蚊山ほか	"	1. 12. 16	150名	
橋垣内遺跡(2)	津市大里窪田町字橋垣内	"	2. 3. 3		
門脇北古墳	〃 河辺町字門脇	,,	2. 3. 3	70名	
山龍遺跡	〃 〃 字山籠	"	2. 3. 3		
大 数 遺 跡 (A 地 区)	亀山市羽若町字大薮	"	2. 3. 17	80名	

3 保管遺物等の貸出し・写真等の掲載許可

曲	請	1	z.	目 的		跡	名	貸	出	品	期	間	許可日
東京	堂	出	版	『古墳大辞典』 写真掲載	近井茶	長代田田山古	墳川墳	壶形埴輪」 航空写真」 直刀銀象的 副葬品3					1. 4.27 " "
伊勢	新	聞	社	『 グラフ三重 5 月 号 』写真掲載	神	戸	城	航空写真]					"
秋山	I		実	『日本の伝統工具。 鹿島出版会 写真 掲載	1	郡道	上跡	木葉型鋸 2	:				1. 5 6
中部	建設	協	会	中部建設協会刊 『会報』誌への写 真掲載		山東道田道		水田跡 3 銅鐸形土勢	V 品 1				1. 5.20
県立川	越高	等学	校	校内社会科教育に	1	岡寺市		須恵器杯・	·-	高杯各1	1. (6.19	1. 6.20
				利用		鼻道	t 跡	須恵器颹1			1. (6.30	
大阪市	教育	委員	会	大阪市制 100 周年	: 北	堀池流	貴跡	船形木製品	£ 2		1. 8	8.25	1. 6.27
(财)大阪ī	节文 化	比財物	協 会	(財大阪市文化財協会 会では10周より 会ででは 一点を では の大で の大で の大で の大で の大で の大で の大で の大で の大で の大で	:			り写真			1. 8	8.30	
亀山市	立神 え	四小学	之校	6 年生授業資料		山古		円筒埴輪]			1.	7. 1 ~	1. 6.29
					大	岡寺市	ち墳	須恵器4、	土師器1	、勾玉1	1.	7. 7	
御	薗		村	村勢要覧	1.	向Ai		スライドコ			1.	7. 1 ~	1. 7. 6.
				写真掲載	1	В		//]			1.	9. 1	
亀 山市	教育	委員	会	夏休み郷土資料原 示会にて展示 		惟ノ木		管玉40、 写真パネル	ガラス小 2 (四神	鏡ほか)	~	7.20 9. 1	1. 7.12
					一大	鼻道	t 跡	押型文土器 ネル1	₿2、土偶	1、写真パ			
					正	知浦道	遺跡		重器10	、写真パネ			
松阪市	教育	委員	会	「親子ふれあい当 習会(古代の土閣 を作る会)で利用	#57	の下記 之内記		縄文土器 1 // 1			^	8. 5 8. 7	1. 7.20
一志·嬉	即道	跡淵	会	「『一之郡』のま 古学」に掲載	天	花寺原	整寺	 塼仏複写写	写真 1				1. 9.19
御	薗		村	村制 100 周年記念事業文化展「高向 遺跡出土展」開作		向遺	t 跡	飛鳥時代 奈良時代 平安時代	土師器 2 その他 2	、須恵器 3 、須恵器 2	^	0.2 1 0.2 4	1.1 0.2 0
								十女吋1\		2、灰釉陶			

	 申	請	 者		目 的	遺	跡	名	貸	出	品	期	間	許可日
									鎌倉時代	土師器 3、	山茶椀 3			
ļ										写真ネガ(6			
嬉	野町	教育	委員	会	第7回町文化祭展	天	華寺廃	待	軒平・丸エ	1、塼仏各:	l	1.1	0.30	1.10.25
					示	堀	田遺	跡	硯 1			1.1	∼ 1.1 0	
						平	生遺	跡	青磁椀1				4.10	
皇	館人	学考点	学研究	会	大学祭展示発表	天	保遺	跡	石器 3			1.1	1. 2	1.10.25
1					「嬉野町の遺跡」		野 遺 呆古頃		石器 1			1.1	1. 6	
						1	号	墳	須恵器3		# /			
						1	革寺原 田 遺	-	軒丸丸・4 土師器 2 、	P瓦各 2 、↓ 須再哭 1	₹ 1 ∆			
							11 人			· 次心研 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	写真 3			
						下遺	之庄東	方跡		、土師器				
							前坊遺		11 4	1、石器類		1		
(財)	元興寺	文化	財研究	所	特別展「復元され	前	山古	墳	円頭把頭>	〈線写真 1		1.1	0.29	1.10.27
					る文化財」の説明 パネル用	İ						1.1	1.11	
朝	日	新	聞	社		西	出遺	跡:	写真 2				i	1.11. 7
					に写真掲載									
京	都国	立	博物	館	図録『畿内と東国の古代瓦』に写真	天≇	革寺廃	寺	複弁蓮華文	文軒丸瓦写真	[1			1.11. 7
]					掲載									
松粉	对位	妙	裕資料	館	平成元年度第4回 企画展展示	納	所遺	跡	木製農具 4	ļ		1.1	1.24	1.11.24
					正四及敌小		田池遺		" 2			2.	3.31	
							山東遺			フラーパネル	v 1			
白	山町口	中央	公民	館	町内文化祭展示	家	野遺	路	茶臼1		i	1.1	1.24	1.11.24
講		談		社	『古代史復元第7 巻』に写真掲載							1.1	L28	1.12. 8
亀	ш		市	長		 <u> </u>	進木古	唐	写真 2			1.12	15	1.12.16
1	щ	i	114	Z.	写真掲載	1	ᄪᄼᆛᄓ	75	기욧 6			1.12	-	1.1 6.1 0
名記	屋大	学文	学部考	古	ソフトX線撮影に	納	折 遺	跡	杓子形土製	H 品 1		1.12	.20	2. 1.20
			渡辺		よる形態調査									
山	Ш	出	版	社	『三重県の歴史散 歩』(新版)に写	御墓	古山著	墳	カラー写真	Į l				2. 1.30
					真掲載	_t.	re*	.,,						
講		談		社	『古代史復元第7 巻』に写真掲載	开 茶E	田 3山古	墳	鉄刀象嵌部	8分展開写真	Ę 1			2. 2. 8
平		凡		社	日本陶磁大係第5	tolin -	井遺	Estr.	編釉 たかぎ	-付瓶写真 1				
*		Лu	•	ᇿ	巻『三彩緑釉・灰	171H 7	才 堪	DZ),	林畑化又寸	□□孤子具Ⅰ				2. 3. 7
,_	<u></u>			_	釉』に写真掲載							2. 3	۱, ۱	2. 3. 1
松	阪		市	長	大河内城跡観光案 内看板用	大和 	可内城	跡	航空写真 1		İ	2. 3	-	
						l						_ <i>u</i> . J		

4 斎宮歴史博物館展示品協力遺物一覧

遺跡名	遺物名	遺跡名	遺物名
大安中世墓	蔵骨器(3)、蔵骨器蓋(2)、五輪塔		塑像(1)、塼仏(20)
八女中臣墓	一式		単あい、マロペ 軒丸瓦(2)、ヘラ描き軒丸瓦(1)
丹生川上城跡	蔵骨器(1)	1	線刻礫(1)
東庄内A遺跡	縄文土器、深鉢(1)		馬型埴輪(1)、朝顔形埴輪(1)
東庄内B遺跡			人物埴輪(1)
	方形周溝墓出土壺(1)	杉垣内遺跡	石器 石包丁
	石器 石包丁(1)		木製品 人形(2)、櫛(1)、斎串(1)
西ノ広遺跡	異形硯(1)		土製品 土馬(4)
上箕田遺跡	直柄鋤(2)		
神大寺遺跡	石器 石斧(1)		土師器 壺(7)
川原井瓦窯	伊勢国分寺式軒丸瓦(1)、軒丸瓦(1)	伊勢寺廃寺	軒丸瓦(2)
柴崎遺跡	土製勾玉(1)、朱(1)、土師器壺(1)	深長古墳	土師器 畫(1)
大鼻遺跡	土偶(10)、子持勾玉(1)	横尾墳墓群	経筒容器(2)、経筒容器蓋(1)
井田川茶臼山古墳	須恵器 器台(6)、台付壺(3)、壺		五輪塔(1)、石仏(1)
	(6)、蹇(1)、高杯(2)、高	養徳寺遺跡	柿経一式
	杯蓋(1)、装飾台付壺(1)	崎谷遺跡	五輪塔(1)、石仏(1)
	횮(1)、有蓋高杯(1)、	東裏遺跡	土師器 杯(1)
	有蓋高杯蓋(1)		青磁 椀(1)
	土師器 畫(1)	カウジデン遺跡	土馬(1)
	馬具 杏葉(4)、鏡板(2)		土師器 杯(2)
	辻金具(2)、銅鈴(1)		灰釉陶器杯(1)、黒色土器杯(1)
上椎木古墳	四神鏡(1)、石製壺(1)、石釧(1)		軒丸丹(2)
	勾玉 5 点(1)、管玉 3 4 点(1)		土師器 高杯(3)、甕(1)
柳垣内遺跡	蔵骨器(1)		須恵器 杯蓋(2)、杯身(2)、高杯
大塚古墳	水晶切子玉11点(1)、碧玉管玉		(2)、壺(3)
	4 点(1)	i i	円筒埴輪(1)、須恵器寢(2)
净土寺南遺跡	円面硯(1)		円面硯(1)
納所遺跡	琴(1)、篦状木製品(2)、木鐸(1)		独鈷石(1)
	彩文壺(1)、黒色壺(1)、手焙型土		方形周溝墓出土壺(1)
	器(1)、パイプ型土器(1)、壺(1)、		抉入耳飾(1)
	片口鉢(1)、櫛(1) 大制口 ※のਓ(2) 翻(4)	1	蔵骨器(2)
	木製品 斧の柄(2)、鋤(4)		石仏(1)、縄文土器深鉢(1)
	鍬 (2)、直柄鋤(1)	'	土師器 高杯(1)、器台(1)
	石器 石斧(6)、石包丁(4)、		四獣鏡(1)、銅鏃(3)、鉄斧(2)
┃ ┃亀 井 遺 跡	石小刀(3) 双脚壺(1)	1	鉄剣(1) 木製品 槌(1)、鍬(3)、
亀 井 遺 跡 太 田 遺 跡	X脚壁(1) 銅鐸型土製品(1)	ļ	个製品 値(1)、軟(3)、 剣型木製品(1)、舟型木製品(2)
1		l i	判型不製品(1)、卅型不製品(2) 円面硯
西 出 遺 跡 鳥 居 本 遺 跡	土板(1) 方形周溝墓出土壺(1)	اید شد درا	万画城 方形周溝墓出土壼(1)
日	刀形向傳奉田工亞(1) 瓢壺(1)		銀象嵌力装(2)
1			土製勾玉(1)
掘ノ内遺跡	縄文土器 深鉢(1)	_ H AS HU!	工权→ (1/)

	元女
書 名	発 行 機 関
北 海 道	
材木町 5 遺跡調査報告書	釧路市埋蔵文化財調査センター
調査年報 【 昭和63年度	脚北海道埋蔵文化財センター
青森県	
埋文あおもり	青森県埋蔵文化財調査センター
青森県遺跡詳細分布調査報告書【	青森県教育委員会
青森県埋蔵文化財調査報告書第122集 鶴ケ鼻遺跡	"
## 第117集 二ツ石遺跡発掘調査報告	音
/ 第 118 集 富ノ沢(1)(2)遺跡	"
# 第119集 館野遺跡	"
## 第 120 集 表館(1)遺跡発掘調査報告 ## 120 集 またまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたま	
第 120 集 発茶沢(1)遺跡発掘調査者	
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	音 /
	脚岩手県文化振興事業団
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書	埋蔵文化財センター
第125集 平沢 遺跡発掘調査報告書	,
第 127 集 毛越寺跡発掘調査報告書	"
第128集 野口【遺跡発掘調査報告書	"
第 129 集 包角子久保 VI 遺跡発掘調査報告書 第 130 集 石田 I · 寺領·西光田 I 遺跡発掘調査報告書	"
	"
第 131 集 打越·東角地遺跡·古館跡発掘調査報告書 第 132 集 米沢遺跡発掘調査報告書	"
第 132 朱 不凡這歐光如調查報告書	,
第 133 朱 列	"
第 135 集 发 基	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
考古遺物資料集第9集 岩手町、萬巻町昭和63年度	,
宫城県	,
宮城県古川市文化財調査報告書第7集名生館遺跡110	古川市教育委員会
# 第8集 名牛館遺跡【	
宮城県文化財調査報告書 第131集 亘理町三十三間堂遺跡ほか	」
資料集23 馬場壇A遺跡 I 一前期旧石器時代の研究—	東北歷史資料館
多賀城関係遺跡発掘調査報告書第13冊 東山遺跡 ▮	官城県多賀城跡調査研究所
# 第14冊 東山遺跡 ▮	"
宮城県多賀城跡調査研究所年報 1987 多賀城跡	"
" 1988 "	"
ク 要覧 平成元年度	"
多賀城と古代東北	宮城県文化財保護協会
東北歴史資料館資料集25 宮城県の貝塚	東北歷史資料館
秋 田 県	
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第4号	秋田県埋蔵文化財センター
秋田県埋蔵文化財センター年報 7 (昭和63年度)	"
秋田城跡 昭和63年度秋田城跡発掘調査概報	
秋田県秋田市遺跡詳細分布調査報告書	秋 田 市
秋田城跡昭和63年度秋田城跡発掘調査概報	I į

秋田県文化財調で	全報告書 第 185 集 払田柵跡	秋	Ш	県	教	育	委	昌	会
山形県				,,,			_		
山形県埋蔵文化即	才調査報告書								
第119集	分布調查報告書(15)	山	形	県	教	育	委	員	会
第120集	吹浦遺跡第3・4次緊急発掘調査				,	,			
第121集	大楯遺跡第1次発掘調査報告書					,			
第124集	手蔵田10・11遺跡発掘調査報告書				,	,			ı
第125集	生石4遺跡 第2次発掘調査報告書				,	,			
第126集	早稲田遺跡・桜林遺跡・西田遺跡発掘調査報告書				,	,			-
第127集	鶴岡西部地区遺跡群 矢馳 A 遺跡・矢馳 B 遺跡・清水 新田遺跡発掘調査報告書				,	,			أ
第 129 集	大槻新田遺跡発掘調査報告書				1	,			
第130集	下長橋遺跡発掘調査報告書				1	,			1
第131集	早房D遺跡発掘調査報告書				/	,			İ
第132集	原の内A遺跡 第3次発掘調査報告書				1	,			
第133集	向山・関沢B遺跡発掘調査報告書				1	,			
福島県									İ
福島県文化財調査	全報告書								1
第199集	福島県の山岳信仰	福	島	県		育	委		会
第 200 集	福島県の田植踊	福	島	-	県	教化			庁
第 201 集	国営総合農地開発事業 矢吹地区遺跡分布調査報告 [[福	島	马 听 県	良文 教	育	委	負	会
	母畑地区遺跡分布調査報告 13				1	,			
第 203 集	" 26				1	,			
第 204 集	" 27				1	,			
第 205 集	矢吹地区遺跡分布調査報告3				1	,			
第 206 集	" 4	1			1	,			
第 207 集	国営会津農業水利事業関連遺跡調査報告Ⅵ				1	,			
第 208 集	国営請戸川農業水利事業関連遺跡調査報告				. /	,			
第 209 集	関和久上町遺跡 VI 史跡指定調査概報	福	峊		県	教	Ť	-	庁
第 210 集	真野ダム関連遺跡発掘調査報告※	(財)	福息	高県	文	化 -	セン	Þ	-
第 211 集	国道 113 号バイパス遺跡調査報告 ₹				1	,			
第 212 集	福島空港関連遺跡発掘調査報告【				/	,			
第 213 集	" I				1	,			
第 214 集	福島空港用内地埋藏文化財分布調査報告』				1	,			ł
	相馬開発関連遺跡調査報告【				1	,			
第 216 集	三春ダム関連遺跡発掘調査報告 仲平遺跡・柴原館 遺跡				//	•			
第 217 集	三春ダム関連遺跡発掘調査報告 2				1	,			
第 218 集	東北横断自動車道遺跡調査報告 4 中ノ沢A遺跡				/	,			
第219集	// 5 天光遺跡				1	•			ļ
第 220 集	ル 6 駒板新田横穴群 大作堰上遺跡				//	,			
茨 城 県									
茨城県教育財団文	て化財調査報告第47集 梨ノ子木久保遺跡・割り塚古墳	(財)	茨	城	県	教	育	財	団
i.	第48集 神明城跡				"	•			
	第49集 南三島遺跡 3 ⋅ 4 区(📗)				"	•]
		1							İ
	-7 0 -								•

**************************************	1 m 1 m 2c
大城県教育財団文化財調査報告第50集 奥谷遺跡・小鶴遺跡(上) 2 第50集 2 (下)	(財)茨城県教育財団
	,
	, ,
グログログ 第52集 沢田遺跡 COCF度 (549.0	, "
63年度 年報 8	"
栃 木 県 新四号国道と遺跡	14日241111111111111111111111111111111111
初四万国道と週跡 栃木県埋蔵文化財調香報 第97集 二ノ谷遺跡	財団法人栃木県文化振興事業団
切へが、年級文化が関連を表現します。	, ,
が 昭和63年度	, ,
栃木県埋蔵文化財調査報告	ľ ľ
第 103 集 一般国道 4 号(新 4 号国道)改築工事に伴う埋蔵文化 財発掘調査の経過	,,
第96集 自治医科大学周辺地区 昭和62年度埋藏文化財発掘調査 概報	"
第 104 集 自治医科大学周辺地区 昭和63年度埋蔵文化財発掘調 査概報	"
群 馬 県	
例群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告 第95集 房戸谷遺跡 [群 馬 県 教 育 委 員 会 例)群馬県埋蔵文化財調査事業団
// 第96集 師遺師·鎌倉遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
第91集 八寸大道上遺跡	"
上越新幹線地域埋蔵文化財発掘調査概報	"
西田島遺跡 』 一下田島城跡の調査一	"
西田島遺跡発掘調査報告書	<i>"</i>
西田島遺跡 』 一下田島城跡の調査ー	"
り 図版編	"
群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書 第86集 上野国分僧寺	
尼寺中間地域(3) 関越自動車道(新潟線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書 第24集	
椿谷戸遺跡発掘調査報告書	(群馬県)吉井町
中ノ原城遺跡	"
富岡遺跡	"
埋文群馬 Na.5	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 土植木光仙房遺跡	"
上越新幹線関係埋蔵文化財発掘調査報告 第11集 下佐野遺跡 地区寺前地区(1)縄文時代古墳時代編①	群馬県教育委員会、東日本旅客鉄道 (財群馬県埋蔵文化財調査事業団
" (2)	"
/ (3)平安時代編	"
// (4)中世近世編	"
早川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 西今井遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
一般国道17号(上武道路)改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 西今井遺跡	"
昭和55年度県営圃場整備事業荒砥南部地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書	"
荒砥天之宮遺跡 (AAXX E 月 州 恭立 ル 比 湖 本 東 ** 口 湖 本 却 # / / / / / / / / / / / / / / / / / /	[
財務馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第87集勝保沢中ノ山遺跡 ■ 一関越自動車道(新潟県)地域埋蔵文化財 発掘調査報告書 第25集一	

第20回企画展 弥生文化と日高遺跡 一米づくりが社会を変えた一 門前橋詰・舛海戸遺跡・高野原遺跡

日篠上平遺跡 後期古墳と奈良平安時代の集落跡の調査 (財)群馬県埋蔵文化財調査団発掘調査報告 第82集 大平台遺跡 が 研究紀要 6

(財)群馬県埋蔵文化財調査報告 第90集 三室坊主林遺跡 第88集 上粟須・下大塚・中大塚遺跡

有馬遺跡 【 大久保 B 遺跡

発掘調査報告書 第92集 舟橋遺跡 上越新幹線関係調査報告 第12集

埼玉県

研究紀要 第11号

中世寺院跡調査概報(1)

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第73集 井沼方馬堤遺跡

第74集 赤城遺跡

 #
 第75集 古井戸 一縄文時代ー

 #
 第76集 中三谷遺跡

第77集 八本木遺跡

9 第78集 本郷前東遺跡

第79集 御伊勢原第80集 上組 Ⅰ

ル 第81集 北島遺跡(第1分冊)

第81集 / (第2分冊)

第83集 西原遺跡 第82集 光屋敷遺跡

研究紀要 第5号

第6号

埼玉県埋蔵文化財調査事業団年報 9

泉水山・下ノ原遺跡 -1986年度発掘調査報告- 埼玉県立歴史資料館報 第10号(昭和63年度)

千 葉 県

財団法人 君津都市文化財センター発掘調査報告書 第12集 - 千葉県袖ケ浦町- 永吉台遺跡群 写真図版編

リ カン カン カン 本文編

東北新幹線建に伴う発掘調査 赤羽台遺跡 一赤羽台横穴墓群ー 関君津郡市文化財センター発掘調査報告書 第12集 永吉台遺跡群 刈谷市史 第1巻 本文(原始・古代・中世)

〃 第5巻 資料(自然・考古)

研究連絡誌 第25号

君津郡市文化財センター年報 №6 一昭和62年度一 開館10周年記念 シンポジウム堀之内武土器資料集 君津郡市文化財センター年報 №7 一昭和63年度一

千葉県文化財センター調査報告

第 152 集 佐倉市南志津地区埋蔵文化財発掘調査報告書 1

第153集 千葉市荒久遺跡 (1)

第154集 千葉市荒久遺跡 (2)

第155集 関宿城跡

群 馬 県 立 歷 史 博 物 館 群馬県埋蔵文化財調査事業団 財 馬 県 教 育 委 員 会 財 馬県埋蔵文化財調査事業団 群 馬 県 教 育 委 員 会

.

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

埼 玉 県 立 歴 史 資 料 館 埼 玉 県 教 育 委 員 会 (財埼玉県埋蔵文化財調査事業団

"

,

"

"

"

"

,,

"

"

朝霞市泉水山・下ノ原遺跡調査会 埼 玉 県 立 歴 史 資 料 館

関君津都市文化財センター

"

東北新幹線赤羽地区遺跡調査会調査団 東日本旅客鉄道株式会社 脚君津郡市文化財センター 別 谷 別谷市史編さん編集委員会

脚千葉県文化財センター 君津郡市文化財センター 市立市川考古博物館 君津郡市文化財センター 脚千葉県文化財センター

"

,,

"

第156集 関宿町飯塚貝塚	朗千葉県文化財センター
第157集 佐倉市向原遺跡	"
第 158 集 成田市畑ケ田地区埋蔵文化財発掘調査報告書	"
第 159 集 千葉市浜野川神門遺跡(低湿地貝塚)	"
第 160 集 千葉市小中台(2)遺跡・新堀込・馬場遺跡	"
第161集 市原市西野・白山・村上遺跡	"
第162集 国道409号道路改良事業地內埋蔵文化財発掘調查報告書	"
第 163 集 成田市林北遺跡・長山遺跡	"
第 174 集 千葉ニュータウン埋蔵文化財調査報告書 🕻	"
第 175 集 松戸市、沼南町高柳新田所在野馬土手	"
千葉県文化財センター 年報 Na 1 3	"
" No. 1 4	"
研究連絡誌 第23号	"
房総考古学ライブラリー4 弥生時代	"
年 報 No.6	
// No. 7	"
君津郡市文化財センター発掘調査報告書 第21集 岩井作横穴墓群	"
第40集 臼井台北遺跡	"
第41集 打越岱遺跡	/
第42集 境遺跡	,
第43集 星谷上古墳・畑沢遺跡(第2次調査)	,,
蔵玉砦跡	"
三箇遺跡群Ⅴ	"
三箇遺跡群Ⅵ	"
財団法人君津郡市文化センター発掘調査報告書 第9集 千葉県袖ケ浦町境№2遺跡	"
第27集 千葉県君津市箕輪富士塚群	"
第28集 千葉県富津市金谷城跡	"
第33集 千葉県木更津市 四留作第1古墳群第1号墳	"
第35集 千葉県木更津市 明石口遺跡 1 中金谷遺跡	"
第36集 千葉県木更津市 蓮華寺遺跡	"
第37集 千葉県木更津市 小浜遺跡群【 俵ヶ谷古墳群	"
第39集 千葉県富津市 東天王台遺跡 富津市天羽中学校テニスコート造成に伴う埋蔵文化財発 掘調査概要	"
研究連絡誌 第24号	千葉県文化財センター
ク 第20号	"
4 第21号	"
9 第22号	"
ル 第23号	,
側市原市文化財センター調査報告書 第30集 市原市文作遺跡	関市原市文化財センター
市原市永田・不入窯	
(財市原市文化財センター調査報告書 第27集 中潤ケ広遺跡・天王台遺跡	
/ 第24集 皿郷田茂遺跡一第2次一	"
第3回市原市文化財センター遺跡発表会要旨 - 昭和62年度 -	,
第4回 - 昭和63年度-	"
	[

歴 博 第34号

茂原市文化財センター年報 Na.3 一昭和62年-

国立歷史民俗博物館研究報告 第19集

第20集

年 報 No.4 昭和62年度

発掘調査報告書 第5集 宮台遺跡

国立歷史民俗博物館研究報告 第21集

第22集

第23集

第24集 研究連絡誌 第24号

東京都

日野市遺跡調査会 年報'78 【

早稲田大学東伏見総合グラウンド遺跡 A地区埋蔵文化財試掘調査報告書 日野市落川遺跡調査概報 VI

徳丸森木遺跡

研究論集 VI

東京都埋蔵文化財センター調査報告 第10集 多摩ニュータウン遺跡 一昭和62年度一

(第1分冊)

(第2分冊)

(第3分冊)

(第4分冊)

(第5分冊)

(第6分冊)

國学院大學文学部考古学実習報告 第18集 物見処遺跡

第17集 小馬背遺跡

書陵部紀要 第40号

國学院大學考古学資料館紀要 乙益重隆先生古稀記念号 第5輯 早稲田大学所沢校地内埋蔵文化財調査報告書

文化財調査室 お伊勢山遺跡の調査 第3部 縄文時代

板橋区四葉地区遺跡発掘調査報告 1 四葉地区遺跡

調布市下石原遺跡 一第3地点(第8地域福祉センター)

調布市埋蔵文化財調査報告22 上石原遺跡 一上石原遺跡第5 · 6 地点 都立野川公園自然観察センター建設に伴う発掘調査報告書 野川遺跡 都立赤塚公園における環濠集落範囲確認調査概要報告!

日本考古学年報 40 (1987年度版)

出土品展示目録 埴輪 [

武蔵国分寺跡出土の漆紙文書 一武蔵台遺跡一

1987年度 年報

中野田遺跡

滝ケ谷遺跡▮

喜多見陣屋遺跡!

木曽森野遺跡 一歴史時代編一

西新橋二丁目港区Na.19遺跡

港郷土資料館報 -7- 1988 年度版

白金館址遺跡 【

国立歷史民俗博物館 茂原市文化財センター 国立歷史民俗博物館

側山武郡南部地区文化財センター

国立歷史民俗博物館

(財)千葉県文化財センター

早稲田大学校地埋蔵文化財調査室 日野市落川遺跡調査会 板橋区徳丸森木遺跡調査会 東京都埋蔵文化財センター

國学院大學文学部考古学研究室

宮 内 庁 書 陵 國学院大學考古学資料館 稲 田 大 板橋区四葉地区遺跡発掘調査会東京都 建 乳 京都建設布市教育委員

調布市 No. 26 遺跡調査会 都立赤塚公園(四葉二丁目周辺)遺跡範囲確認調査会

日本考古学協 会 内 庁 書 陵 府中病院内遺跡調査会 世田谷区教育委員会

木曽森野地区遺跡調査団 港区西新橋二丁目遺跡調査会 港区教育委員会 白金館址遺跡調査団

白金館址遺跡 ■ 一研究編ー 学芸研究紀要 第6集 文化財の保護 第21号 発掘調査報告書 第6集 岩崎横穴群 第7集 本宿横穴群 東京大学遺跡調査室発掘調査書1 東京大学本郷構内の遺跡 神奈川県 平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書2 昭和62年度発掘調査 諏訪前遺跡ほか9ヶ所 平塚市埋蔵文化財調査報告書 第3集 東中原 F 三分冊之二(土器観察表) 平塚海岸・伊勢原線新設工事に伴う発掘調査報告書 中原上宿 三分冊之一(本文) (図版) 平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書1 昭和61年度発掘調査 高林寺遺跡ほか8カ所 平塚市埋蔵文化財シリーズ1 真土六の域遺跡 2 四之宮高林寺 ▮ 3 真土六の域遺跡 Ⅰ 4 四之宮山王B遺跡 5 日向岡遺跡 6 諏訪前A遺跡 第2地区 7 大原遺跡 1 8 中里B遺跡 9 中里E遺跡 10 大原遺跡 ■ 11 中里B遺跡 I 12 中里B遺跡 I 13 諏訪前B·大楓橋遺跡他 昭和63年度 文化財年報(埋蔵文化財 その7) 神奈川県立埋蔵文化財センター 年報8 神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告20 砂田台遺跡 1 18 草山遺跡 ▮ 神明久保遺跡 一第3地区一

称名寺式土器に関する交流研究会資料集

神奈川県立博物館発掘調査報告書 第18号 大磯丘陵横穴墳墓群(1) 神奈川県埋蔵文化財調査報告 31

神奈川県埋蔵文化財調査報告 第48集 厚木市山ノ上遺跡 1

新潟県

新潟県埋蔵文化財報告書 第54集 鰐口下遺跡 美山遺跡 新新バイパス関係発掘調査報告書 山三賀 1遺跡 保内三王山古墳群 **測量**·発掘調查報告書

富山県

埋文とやま 第26号

白金館址遺跡調査団

東京都教育委員会

側山武郡南部地区文化財センター

東京大学理学部遺跡調査室

平塚市教育委員会

中原上宿遺跡調査団

平塚市教育委員会

平塚市遺跡調査会 平塚市教育委員会

横浜市教育委員会 神奈川県立埋蔵文化財センター

神明久保遺跡調査団 港北ニュータウン埋文調査団 神奈川県立博物館 奈 111

新潟県教育委 員 会 新 潟 県 教 育 委 員 会建設省新潟県国道工事事務所 三条市教育委員会

富山県埋蔵文化財センター

富山県埋蔵文化財センター年報 昭和63年度 三谷遺跡・一ツ山古墳群 小杉流通業務団地内遺跡群 富山県埋蔵文化財センター 東海北陸自動車道遺跡試掘調査報告 福光町編 富山県教育委員会 北陸自動車道遺跡調査報告 朝日町編 4 境 A 遺跡 遺構編 石川県 富来町教育委員会 鹿頭上の出遺跡 佐々木アサバタケ遺跡Ⅰ 石川県立埋蔵文化財センター 寺家遺跡発掘調査報告▮ 能登海浜道関係埋蔵文化財調査報告書Ⅶ 犀川鉄橋遺跡I 漆町遺跡 1 金沢市米泉遺跡 石川県鹿島郡鹿島町水白モンショ遺跡 金沢大学文学部考古学研究室 金大考古 第16号 第17号 " 福井県 福井県立朝倉氏遺跡資料館 特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡 XX 朝倉氏遺跡資料館紀要 1988 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 福井県埋蔵文化財調査報告 第14集 下屋敷遺跡・堀江十楽遺跡 福井県清水町教育委員会 清水町埋蔵文化財調査報告 第2集 杉谷古墳群 福井県教育委員会 福井県埋蔵文化財調査報告 第4集 六呂瀬山古墳群 山梨県 山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第50集 桜井畑遺跡(B地区) 山梨県教育委員会 第34集 南堀之内遺跡・大畑遺跡 第37集 西川遺跡 第42集 一の沢遺跡調査報告書 第45集 花鳥山遺跡・水呑場北遺跡 第44集 下長崎遺跡・両の木神社遺跡 第47集 八ケ岳東南麓 他遺跡分布調査報告書 第49集 鍋弦塚・東山南遺跡 長野県 (財長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書8 一松本市内 その5- 北栗遺跡 本文編 側長野県埋蔵文化財センター 条里遺構分布調査概報 一塩田地区一 上田市教育委員会 - 染屋台地区-" (財長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書7 一松本市内 その4ー 南栗遺跡 本文編 側長野県埋蔵文化財センター 長野県埋蔵文化財センター紀要 2 1988 (財)長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 10 -松本市内 その7豊科町内-南中遺跡、北中遺跡、北方遺跡、 上手木戸遺跡 神戸遺跡、上二子遺跡、中二子遺跡 中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書3 吉田川西遺跡本文編・図版編 長野県埋蔵文化財センター年報5 - 1988 -

久々利奧磯山 4 号窯 発掘調査報告書 熊野古墳

徳山ダム水没地区埋蔵文化財発掘調査報告書 はいづめ遺跡

雨乞塚2号墳発掘調査報告書

椿洞遺跡発掘調査報告書

静岡県埋蔵文化財調査研究所 年報 ▼ (昭和63年度事業概要) 能島遺跡

原川遺跡 [

川合遺跡

楠ケ沢2・3・7号墳発掘調査報告書 駿河 楠ケ沢古墳群 静岡県文化財調査報告書 第40集 血松塚古墳発掘調査報告書 - 墳丘測量及び範囲確認調査-

静岡県文化財地名表 Ⅰ 一焼津市以西-

地図Ⅰ

焼津市歴史民俗資料館年報2

研究紀要Ⅰ

年報Ⅳ(昭和62年度事業概要)

調査報告 第13集 大谷川 (遺構編)

〃 (遺物編)

第14集 梅橋北遺跡

発掘調査概報 坂尻遺跡

山の神遺跡

愛知県

竪三蔵通遺跡 第8次・第9次調査の概要

ドンドン塚発掘調査の記録

伊勢山中学校遺跡 第4次調査概要

年報 Ⅵ (1986 、 1987 年度事業報告)

熱田神宮内遺跡発掘調査概要報告書

古渡城跡発掘調査の概要

守山区小幡 茶臼山古墳発掘調査の概要

菩薩遺跡 BOSATSU発掘調査概要報告書

緑区鳴海町字赤松所在NN-259号窯跡発掘調査報告書

貴生町遺跡 第1次・第2次発掘調査概要報告書

若葉通遺跡発掘調査の概要

見晴台教室

名古屋城三の丸遺跡 -1、2、3次調査の概要

くらしの中の木 ~木製品にみる弥生人の心~

名古屋市熊ノ前古窯址群

白鳥古墳第二次発掘調査報告書

神ノ倉東部土地区画整備内古窯跡発掘調査報告書

高蔵遺跡第3次発掘調査報告書

竪三蔵通遺跡 第7次調査の概要

特別展 城と町のデザイン 戦国~江戸の考古学

福谷城跡第3次発掘調査概要報告書

可児市教育委員会

水 資 源 開 発 公 団 岐 阜 県 教 育 委 員 会 池田町教育委員会 岐阜市教育委員会

脚静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡県教育委員会

焼 津 市 歴 史 民 俗 資 料 館 静岡県埋蔵文化財調査研究所

浜 松 市 教 育 委 員 会

名古屋市教育委員会

名古屋市見晴台考古資料館 名古屋市教育委員会

名古屋市見晴台考古資料館 名古屋市教育委員会 愛知県清洲貝殼山貝塚資料館 名古屋考古学会、增子康真 市

古 屋

名古屋市見晴台考古資料館 愛知県三好町教育委員会 考古資料ソフテックス写真集 第4集 中根山遺跡発掘調査報告書

昭和・天白区の考古遺跡

年報 昭和63年度

愛知県埋蔵文化財センター調査 第6集 下山古墳

第7集 諏訪遺跡・杉山端城跡

ル 第8集 加美遺跡

ル 第9集 野田遺跡

愛知県埋蔵文化財情報 4

麻生田大橋遺跡第 4 次調査概報

企画展 「北陸やきもの再興九谷」

愛知県陶磁資料館研究紀要7

船山第1号墳発掘調査報告書

山ノ入遺跡発掘調査報告書

麻生田大橋遺跡第5・6次調査概報

/ 第4次 /

第2・3次 /

山西遺跡

"

豐橋市埋蔵文化財調査報告書 第8集 公文遺跡

第9集 公文遺跡(▮)

/ 第10集 桜遺跡試掘調査報告書

国道23号豊橋東バイパス建設に伴う埋蔵文化財分布調査報告書 西三河の横穴式石室 資料編

三量県

三重県埋蔵文化財調査報告86 東海道遺跡発掘調査報告

桑名郡多度町南小山廃寺発掘調査報告 1986

- 三重県三重郡朝日町大字縄生 縄生廃寺跡発掘調査の概要
- 三重県の諸職 三重県諸職関係民俗文化財調査

阿山町埋蔵文化財調査報告 第2集 奥弁天4号古墳·源六谷1号古墳 明和町斎宮跡埋蔵文化財調査報告3

史跡・斎宮跡 昭和60年度現状変更緊急発掘調査報告

津市埋蔵文化財調査報告 4 半田団地 高松弥生墳墓発掘調査報告

1 9 君ケ口古墳発掘調査報告

/ 15 津市分部 西垣内遺跡発掘調査報告

第28回倉陵祭 嬉野町の遺跡 -遺跡詳細分布調査報告書-

- 三重県名張市遺跡地図 付載 宇陀川地区地名図
- 三重県南牟婁郡鵜殿村 鵜殿遺跡発掘調査概要!

鈴鹿市埋蔵文化財調査報告 ₹ 鈴鹿市稲生町 稲生東遺跡発掘調査報告 安濃村文化財調査報告 1 中央毛織 清水ケ丘 堂山一号墳

" " " "

津市埋蔵文化財調査報告5 メクサ4号墳発掘調査報告

〃 14 津市大里 中鳶遺跡発掘調査報告

/ 15 津市分部 西垣内遺跡発掘調査報告

一志町埋蔵文化財調査報告10 三重県一志郡一志町 岩ノ谷遺跡発掘調査報告

嬉野町埋蔵文化財調査報告 1 嬉野町平生 平生遺跡発掘調査報告 草山遺跡発掘調査月報 名古屋大学文学部考古学研究室 愛知県幡豆郡吉良町教育委員会 名 古 屋 市 教 育 委 員 会 脚愛知県埋蔵文化財センター

"

"

1

"

豊川市教育委員会 愛知県陶磁資料館

豊川市教育委員会

"

"

"

,

豐橋市教育委員会

,

"

愛知大学日本史専攻会考古学部会

津市文化財保護協会津市教育委員会

皇學館大学考古学研究会 名 張 市 教 育 委 員 員 会 錄 鹿 市 教 育 委 員 員 会 安芸郡安濃村教育委員

准 市 教 育 委 員 会 津 市 教 育 委 員 会

"

一志町教育委員会

平生遺跡発掘調査団松阪市教育委員会

明和町文化財調查報告 2 三重県多気郡明和町大字上村 明和町教育委員会 神前山一号墳発掘調查報告書 金剛坂遺跡発掘調査報告 三重県文化財連 多気町文化財調査報告 2 多気郡多気町河田字東谷 多気町教育委員会 河田古墳群発掘調査報告Ⅰ " 上箕田 三重県立神戸高等学校郷土研究クラブ 三重県鳥羽贄遺跡 第2次発掘調査報告書 鳥羽市教育委員会 上野市南部都市開発区地埋蔵文化財第一次調査報告 H 野 夏見廃寺 第二次発掘調査概要 名張市教育委員会 第三次発掘調査概要 名張市遺跡調査概要 蔵持黒田遺跡 前山遺跡群 上野市文化財調査報告6 上野市遺跡地図 - 1978 年版-上野市教育委員会 阿山町の文化財 阿山町教育委員 伊賀町文化財調查報告書 2 阿山郡伊賀町柏野 的場遺跡発掘調查報告 伊賀町教育委員会 大山田村文化財調査報告3 日本田5号墳発掘調査報告書 大山田村教育委員会 阿山郡大山田村大字中村日本田 青山町文化財調査報告1 塚原古墳発掘調査報告 山町教育委 三重県名賀郡青山町羽根字塚原所在 齊王宮阯 一範囲確認調査概要-三 重 県 教 育 委 員 会 齊王宮阯 一広域市町村圏道路調査-和町 教育委員会 寮王宮阯. 一広域市町村圏道路調査-三重県教育委員会 掘り出された三重の城と館 第25回 食陵祭 土師器とその窯 -明和町を中心として-皇學館大學考古学研究会 第24回 倉陵祭 小俣町の遺跡 明和町の遺跡 高田中学校·高等学校研究紀要 第 4 号 高田中学校·高田高等学校 名張市立図書館 郷土資料目録 1979 開館10周年記念 張市 立 " " 三重県埋蔵文化財調査報告1 鳥羽·志摩地区遺跡地図(磯部町) 重県教育委 三重県員弁郡東員町大字中止 西山遺跡・新野遺跡 員 町 教 育 三重県埋蔵文化財調査報告22 三重県教育委員 多気郡明和町 古里遺跡発掘調査 - D地区-三重県埋蔵文化財調査報告52-1 桑名郡多度町 天王平遺跡発掘調査報告 [三重県埋蔵文化財調査報告 64 上野市比自岐 西出中・近世墓跡発掘調査報告 三重県埋蔵文化財調査報告 71 上野市森寺 竹ノ下遺跡発掘調査報告 歩跡 第3号 皇學館大学考古学研究会機関誌 皇學館大学考古学研究会 三重県埋蔵文化財調査報告82 三重県教育委員会 度会郡玉城町勝田 勝田遺跡発掘調査報告 三重県埋蔵文化財センタ 第9回 三重県埋蔵文化財展 「緑釉陶器の流れ」 斎 宮 歴 史 博 物 館 三 重 県 教 育 委 員 会 -般国道1号亀山バイパス埋蔵文化財発掘調査概要 🛚 北瀬古・山城(二次)・大鼻遺跡

盟

市

슺

員 会

図

委 員 슾

員 会

昭和20年代1万分の1航空写真標定図(三重県全域)

r	1
三重県埋蔵文化財年報 昭和46年度	三重県教育委員会
10昭和54年度	"
/ 14昭和58年度	"
/ 18昭和62年度	"
19昭和63年度	"
7 昭和51年度	"
三重県埋蔵文化財年報 8 昭和52年度	三重県教育委員会
" " "	"
/ 15昭和59年度	"
/ 16昭和60年度	"
" "	"
" " " " " " " " " " " " " " " " " " "	"
/ 17昭和61年度	"
<i>y y y</i>	"
<i>"</i>	"
/ 19昭和63年度	//
三重県斎宮跡調査事務所年報1984史跡斎宮跡 一発掘調査概報一	三重県斎宮調査事務所
昭和62年度 環境保全に関する試験成績書	三重県農業技術センター
伊勢市立郷土資料館年報 第4号 昭和63年度	伊勢市立郷土資料館
" "	"
" " "	,
「県民の日」協賛・「地方自治法施行40周年・自治制公布100 年」 記念 第7回 三重県埋蔵文化財展 考古資料でみる伊賀の歴史	三重県教育委員会
上野市大字大内 北堀池遺跡発掘調査概要 ["
三重県中世城館跡一覧表 一開発集中地域中世城跡分布調査報告一	"
三重県埋蔵文化財包蔵地一覧表(2)	"
三重県埋蔵文化財調査報告42 志摩郡阿児町国府 殿畑遺跡発掘調査報告	"
三重県埋蔵文化財調査報告8	
伊賀東部開発地域遺跡地図	"
図録 三重の考古遺物	三重県良書出版会
三重考古図録	株式会社 三重県教科書供給所
郷土の埋蔵文化財展 亀山の縄文文化	亀山市教育委員会
津市埋蔵文化財調査報告12 津市大里 墓の谷1号墳発掘調査報告	津 市 教 育 委 員 会
嬉野町埋蔵文化財調査報告4 県道嬉野飯高線改良工事に伴う埋蔵	增更刑教育委員会·增更刑遺跡調查会
文化財発掘調査概報	
津市埋蔵文化財調査報告12 津市大里 墓の谷1号墳発掘調査報告	津市教育委員会
三重県埋蔵文化財調査報告58 昭和56年度県営圃場整備事業地域	三重県教育委員会
埋蔵文化財発掘調査報告 第28回倉陵祭 嬉野町の遺跡 一遺跡詳細分布調査報告書ー	皇學館大学考古学研究会
第20回目を示 始封町の追跡 追跡計和力11副旦報百首 / / / / /	生字明人子与口子 切 允 云
″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″ ″	
一心叫 生	一志町教育委員会
/ 上對場際上對四口俱用光如調查報告 / 3 下名倉古墳群発掘調查報告	,,
パ 4 上井生 3 号墳発掘調査報告	"
ル 5 鳥井本遺跡発掘調査報告	,,
ル 6 高畑古墳発掘調査報告	<i>"</i>
一 同和日本元四朔旦秋日	″

8 片野遺跡発掘調査報告 9 高畑遺跡発掘調査報告 10 岩ノ谷遺跡発掘調査報告 11 西出山古墳群発掘調査報告 13 片野遺跡第三次発掘調査報告 「一之郡」の考古学 久居市文化財調查報告 2 長持元屋敷発掘調查報告 久居市文化財調查報告 2 長持元屋敷発掘調查報告 3 久居市遺跡分布地図 坂本山古墳群·坂本山中世墓群 朝日町文化財調査報告 第1冊 縄生廃寺跡発掘調査報告 あすの三重 No.75 平田古墳群 長遺跡発掘調査報告 縄生廃寺跡発掘調査報告 鵜殿遺跡発掘調査概要【 三重県埋蔵文化財調査報告76 向山2・6号墳発掘調査報告 あすの三重 No.73 下之庄東方遺跡(小野、四反田、夜之掘地区) (高畑地区) 津市民文化 第16号 柴戸古墳発掘調査概要 グラフ三重 1989.5 三重県多気郡明和町遺跡地図 史跡 斎宮跡 昭和62年度現状変更緊急発掘調査報告 昭和63年度 天神遺跡発掘調査報告 津市の文化財 昭和63年度 志摩文化財年報(第8集) グラフ三重 1989.4 三重県史研究 第5号 蔵書目録 第29号 鳳凰寺遺跡発掘調査報告書 東海道古瓦の系図(一) 一伊賀・伊勢・志摩-大山田村の古文書 鈴鹿市遺跡地図 辻垣内瓦窯跡群 高田中学校・高等学校研究紀要・第4号 高田学苑研究紀要・創刊号 嬉野町埋蔵文化財調査報告6 遺跡詳細分布地図 伊勢市文化財調查報告 5 隠岡遺跡発掘調查報告 近畿自動車道(久居~勢和間)埋蔵文化財発掘調査概報 V

一志町埋蔵文化財調査報告 7 中野山古墳発掘調査報告

一志町・嬉野町遺跡調査会 久 居 市 教 育 委 員 会 久 居 市 教 育 委 員 会 津 市 教 育 委 員 会 朝日町教育委員会 側三重社会経済研究センター 安濃町遺跡調査会 津 市 教 育 委 易 会 朝日町教育委員会 鵜 殿 村 教 育 委 員 会 三重県教育委員会 津 市 山 伊勢新聞社グラフ三重編集室 明和町斎宮跡保存対策室 和 三重県教育委員会 津 市 教 育 季 員 会 志摩文化財調査保護委員協議会 新 社 伊 恩 重 三重県立図書 大山田村教育委員会 館 大 學 大山田村教育委員会 鈴鹿市教育委員会 嬉 野 町 教 育 委 員 会 高田中学校·高田高等学校 " 嬉 野 町 教 育 委 員 会 伊勢市教育委員会 三重県教育委員会

一志町教育委員会

一般国道23号 中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報 森山東・太田遺跡 一般国道1号亀山バイパス 大鼻(4次)・堀越(2次)遺跡 平成元年度 第3回三重県埋蔵文化財担当者会議資料 『歩跡』 第4号 滋賀県 彦根市埋蔵文化財調査報告 第17集 萬龍南遺跡第2次調査、蛭目遺跡 第18集 萬龍南遺跡第3次調査 昭和51年度 滋賀県文化財調査年報(本文編) (図版編) 日野町埋蔵文化財発掘調査報告書 第6集 作谷窯跡 国道 161 号線バイパス・湖西道路関係遺跡調査報告 ▮ 木戸・荒川坊遺跡・こうもり穴遺跡 矢倉口遺跡発掘調査報告書 ー国道1号京滋バイパス関連遺跡発掘調査報告書 第3冊ー 鴨田遺跡発掘調査報告書【 一般国道8号(長浜バイパス)関連遺跡発掘調査報告書W - 奥松戸遺跡ー 滋賀県中世城郭分布調査6(旧坂田郡の城) は場整備関係遺跡発掘調査報告書 Ⅶ−3 長寺(横枕古墳群)遺跡 XXII-5 大手前遺跡・金剛寺遺跡 服部遺跡発掘調査報告書Ⅱ 中多良遺跡発掘調査報告書 1986年度野洲町埋蔵文化財調査年報 昭和63年野洲町遺跡発掘調査概要 信楽町文化財報告書 第3集 宮町遺跡発掘調査報告 [妙楽寺遺跡Ⅱ ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 双 − 5 堂田・市子遺跡(2) " XVI-4 麻生遺跡 XM-2 高木(浅小井)遺跡 北陸自動車道関連遺跡発掘調査報告書 ※ 伊香郡余呉町桜内遺跡 守山市文化財調査報告書 第30冊 二ノ畦遺跡 第33冊 -昭和63年度国庫補助事業-第34冊 横枕遺跡

特別史跡彦根城跡表御殿復元工事·発掘調査報告書

実測図集成 ■ 県外出土の信楽焼と窯跡出土遺物

一般国道 161 号(西大津バイパス)建設に伴う

県道大津守山近江線単独道路改良工事に伴う

穴太遺跡(弥生町地区)発掘調査報告書

岡山城跡発掘調査報告書 一近江八幡市所在一

五条遺跡発掘調査報告書 一中主町五条所在一

埋蔵文化財発掘調査 昭和63年度 年報

大津市埋蔵文化財調査報告書は

錦織・南滋賀遺跡発掘調査概報Ⅰ

守山市文化財調查報告書 第29冊 益須寺遺跡発掘調查報告書

滋賀考古学論叢 第3集

皇學館大学考古学研究会 彦根市教育委員会 (財) 滋賀県文化財保護協会 滋賀県教育委員会 滋賀県日野町教育委員会 滋賀県教育委員会 賀 県 教 育 (財) 滋賀県文化財保護協会 育 賀 県 教 員 財 滋 賀 県 文 化 財 保 護 協 会 滋 賀 県 教 育 委 員 会 滋 賀 県 教 育 委 員 会 滋賀県教育委員会 被智見教育委員会·守山市教育委員会 (財) 滋賀県文化財保護協会 町 野州町教育委員会 信楽町教育委員会 滋賀県教育委員会 守山市教育委員会 根 物 滋賀考古学論叢刊行会 守山市教育委員会 (財)栗東町文化体育振興事業団 滋賀県立風土記の丘資料館 津 市 滋賀県教育委員会 財政賀県文化財保護協会

-82-

第30冊 古高遺跡発掘調査報告書

断滋賀県文化財保護協会 東山古墳群発掘調査報告書 一彦根市古沢町一 栗田城跡発掘調査報告書 一愛知郡奏荘町栗田所在一 県道高山長浜線緊急地方道整備事業に伴う東野館遺跡発掘 調查報告書(東野古墳群·東野館遺跡) ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 Ⅵ-4 滋賀県教育委員会 **VI** — 5 " **VII** — 5 XI - 5横江遺跡発掘調査報告書【 尼子南遺跡発掘調査報告書 ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 11 − 3 VI - 6**X** − 5 X**I** − 4 滋賀県教育委員会(財)滋賀県文化財保護協会 ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書加-6 XVI - 1長沢・西火打遺跡、正恩寺遺跡 一坂田郡近江町所在一国友遺跡、寺田遺跡 一長浜寺所在一 昭和62年度 滋賀県埋蔵文化財調査年報 大津市坂本本町嶽古墳調査概要 湖南中部流域下水道天橋処理場中間水路浚渫工事予定地内 一滋賀県草津市天橋町所在一 矢橋湖底遺跡試掘調査報告書Ⅰ 三敷前遺跡発掘調査報告書 一神崎郡能登川町小川一 能登川町教育委員会 近江国庁周辺遺跡調査概要Ⅰ 獅子鼻B遺跡発掘調査報告書 一神崎郡能登川町きぬがさ所在一 安土十七遺跡発掘調査報告書 一蒲生郡安土町十七所在一 県営かんがい排水事業関連遺跡発掘調査報告書 ■ - 3 - びわ町早崎遺跡--源内峠遺跡試掘調査報告書 文化財調查出土遺物仮収納保管業務 昭和63年度発掘調查概要 北陸自動車道関連遺跡発掘調査報告書Ⅵ 一伊香保郡余呉町所在黒田長山古墳郡一 ほ場整備関連遺跡発掘調査報告書 XM - 3 東出遺跡 一近江八幡市所在一 柿田遺跡発掘調査報告書 -県道中山東上坂線道路改良事業に 伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-一般国道8号(米原バイパス)関連遺跡試掘調査報告書 本願寺遺跡発掘調査報告書 京都 府 『史想』 第22号 京都教育大学考古学研究会 菌 大 花園大学構内調査報告▮ 長岡京市文化財調査報告書 第22冊 長岡京市教育委員会 長岡京市文化財センター年報 昭和62年度 側長岡京市埋蔵文化財センター

長岡京市埋蔵文化財調査報告書 第4集

立命館大学文学部学芸員課程研究報告 第2冊 鳴谷東1号墳第2次発掘調査概報

京都府遺跡調査概報 第35冊

第36冊

亀岡市文化財調査報告 第18集 亀岡市遺跡分布地図 焼きもののふる里 篠窯跡群 一発掘調査の記録から一

第4回 特別展 円山応挙

亀岡鉄道物語 一汽笛がひびいて90年-第5回

第8回 企画展 宝林寺 一信仰のこころとかたちー

米・豊かな実りを求めて 一大むかしの農具一 第7回

第6回 " 刀・剣 ~まつりと信仰~

ふるさと亀岡の文化財

亀岡市文化財調査報告書第5集 馬場ケ崎遺跡発掘調査報告

第8集 御上人林廃寺第4次発掘調査報告

第9集 丹波浄法寺城発掘調査報告

第10集 御上人林廃寺第5次発掘調査報告

第12集 史跡丹波国分寺跡第1次発掘調査報告書

第13集 史跡丹波国分寺跡第2次発掘調査松熊遺跡試掘調査

第14集 史跡丹波国分寺跡第3次発掘調査

第16集 史跡丹波国分寺跡発掘調査

第15集 千代川遺跡第11次発掘調査報告

第17集 北金岐遺跡試掘調査報告

第19集 春日部1号墳発掘調査報告

第20集 観音芝廃寺発掘調査報告

第21集 医王谷1号・4号墳発掘調査報告

第22集 美濃田20号・21号墳発掘調査報告

山城鄉土資料館報 第6号

史跡 慈照寺(銀閣寺)旧境内保存整備事業報告書

京都府遺跡調査概報 第32冊

第31冊

京都府遺跡調査報告書 第11冊

昭和60年度 京都市埋蔵文化財調査概要 向日市埋藏文化財調查報告書 第25集

史想 第19号

第20号

第21号

城陽市埋蔵文化財調査報告 第19集

京都府埋蔵文化財情報 第31号

京都大学構內遺跡調査研究年報 1986 年度

京都府埋蔵文化財情報 第32号

京都府遺跡地図 第4分冊

埋蔵文化財発掘調査概報(1989)

長岡京市埋蔵文化財センター年報 - 昭和61年度

長岡京跡

京都府弥生土器集成

5年のあゆみ 1981~1986

立命館大学文学部学芸員課程

(財)京都府理議文化財調査研究センター

亀岡市教育委員会 傾京都充埋蔵文化財調査研究センター 亀岡市文化資料館

亀岡市教育委員会

亀岡市教育委員会

京都府立山城郷土資料館 宗教法人慈照寺 側京都府埋蔵文化財調査研究センター

(財)京都市埋蔵文化財研究所 向 日 市 教 育 委 員 会 関 向 日 市 埋蔵文化センター 京都教育大学考古学研究会

城陽市教育委員会 京都府埋蔵文化財調査研究センター 都 大 学 側京都将埋蔵文化財調査研究センター 京都府教育委員会 京都府教育委員会 側長岡京市埋蔵文化財センター 乙訓文化事務連絡協議会 側京都府埋蔵文化財調査研究センター

京都府遺跡調査概報 第33冊

第34冊

京都府遺跡調査報告書 第12冊

平安京跡発掘調査概報 昭和63年度

鳥羽離宮跡

長岡京跡

大薮遺跡

京都市内遺跡試掘立会調査概報

企画展資料10 「発掘成果速報」 昭和63年度調査から

京都府山城町埋蔵文化財調査報告書 第6集 山城町遺跡地図 綾部市文化財調査報告 第15集

第16集

開館5周年記念特別展示図録 「乙訓の古墳文化」

考古展 第8回「小さな展覧会」

-昭和63年度発掘調査の成果からー

京都府埋蔵文化財情報 第33号

向日市埋蔵文化財調査報告書 第26集

向日市埋蔵文化財調査報告書 第27集

大 阪 府

大阪市の文化財

昭和62年度大阪市内埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

枚方市文化財年報 IX

大阪府立花園高等学校地歴部五周年記念河内古代遺跡の研究

富田林市の埋蔵文化財 - 埋蔵文化財基本分布図-

関西大学 考古学等資料室紀要 第4号

第6号

豊中市文化財調查報告 第22集 新免遺跡第11次発掘調查報告書 鬼虎川遺跡第19次発掘調査報告

第29·30次発掘調査報告

邪馬台国から倭の五王へ -東アジア社会からみた古代豊中-

鬼虎川遺跡調査概要 【遺物編 木製品

神並古墳群遺跡第3次発掘調査報告

東大阪市文化財協会ニュースvol4 Na2

大阪市文化財情報 葦火 19号(vol4 No.1)

東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要 -昭和63年度-

堺・柳之町

祇園精舎遺跡地形測量図

河内長野市埋蔵文化財調査報告書

三日市遺跡発掘調査報告書

柏原市発掘調査成果展 '86 ~'87 原始・古代を掘る

豊中市埋蔵文化財発掘調査概要

神並遺跡第12次発掘調査概報

貝塚市埋蔵文化財調査報告 第18集 貝塚市遺跡群発掘調査概要 № 水源地遺跡発掘調査報告

大園遺跡他の発掘調査概要 1987-1

1988-1

高石の遺跡と歴史

京 都 市 光 局

京都府立山城郷土資料館 山城町教育委員会 部市教育委員会

向日市文化資料館 側京都府埋蔵文化財調査研究センター

側向日市埋蔵文化財センター 側向日市埋蔵文化財センター

(財) 大 阪 市 文 化 財 協 会 大 阪 市 教 育 委 員 会 (財) 大 阪 市 文 化 財 協 会 **脚**枚方市文化財研究調査会 大阪府立花園高等学校地歷部 富田林市教育委員会 関西大学考古学等資料室

阪急宝塚線豊中市内連続立体 茨 達 跡 調 查 協 財 東 大 阪 市 文 化 財 員 東 大 阪 市 教 育 委

豊中市教育委員会) 東大阪市文化財協会

(財) 東大阪市文化財協会 大阪市文化財協 東大阪市教育委員会 堺 · 柳 之 町 遺 跡 調 査 会 大手前女子学園考古資料室 関西大学日印共同学術調査団 河内長野市教育委員会 三日市遺跡調査 슺 柏原市歷史資料 中 市 (財) 東大阪市文化財協会 貝塚市教育委員 会 市 高 石 水 道 高 石 市 教 育 委 員 会

東円寺跡・小垣内遺跡発銅調査概要報告書 ***********************************		遺跡発掘調査概					大	阪	府	教	育	委	員	会
明環線都市遺跡				査概要報告 書	FI					1	,			
高足城跡(城山遺跡)発掘調査概要13 (八型遺跡発掘調査概要 1) 一方 数 育 委 5 一方 一直	神並	・西ノ辻・鬼虎川	川遺跡	"	Ŋ					1	,			
鳴上耶衛齢他関連遺跡発掘調査概要				·	I					4	,			
大阪 府 教 育 委 員 一	高屋	城跡(城山遺跡)発掘調	査概要						1	,			
同合遺跡 群発制調査概要	嶋上和	郡衛跡他関連遺	硛発掘調	査概要13			高	槻	市	教	育	委	員	会
南河内遺跡群発掘調査概要 ハの間遺跡発掘調査概要 ハの間遺跡発掘調査概要 ハの間遺跡発掘調査概要 ハの間遺跡発掘調査概要 ハの間遺跡発掘調査概要 ハのの遺跡発掘調査概要 ハのの電話の発掘調査概要 ハのの電話の発掘調査概要 ハのの電話の変数を発掘調査概要 ハのの電話の変数を表が表がまままままままままままままままままままままままままままままままままま	八雲	遺跡発掘調査概	要 【				大	阪	府	教	育	委	員	슾
石川左岸幹線管果築造建跡群発組調査概要 ■ ハケ阿遺跡発観調査概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	河合	遺跡								1	,			
八ケ岡遺跡発細調査概要 リゲー遺跡発細調査概要 リゲー遺跡発細調査概要 リケー遺跡発細調査概要 リケー遺跡発細調査概要 大和川今油遺跡発細調査概要 大型遺跡発細調査概要 「	南河	内遺跡群発掘調	查概要	I						1	,			
法連坂遠跡発細調査概要 『	石川	左 岸幹線管渠築 法	造遺跡群	発掘調査概要	ē I					1	,			
ッケノ遺跡発細調査概報	八ケ	岡遺跡発掘調査	既要 】							,	,			
神山遠跡発掘調査概報 大和川今池遺跡発掘調査概要 南花田遺跡発掘調査概要 大里遺跡発掘調査概要 大里遺跡発掘調査概要 大里遺跡発掘調査概要 西京志西遺跡発掘調査概要 田尻・鮎岡山遺跡発掘調査概要 加遺跡発掘調査概要 加遺跡発掘調査概要 加遺跡発掘調査概要 加遺跡発掘調査概要 加島遺跡発掘調査概要 加島遺跡発掘調査概要 地島遺跡発掘調査概要 地島遺跡発掘調査概要 地島遺跡発掘調査概要 地島遺跡発掘調査概要 地島遺跡発掘調査概要 カー 1988 - 村原市埋蔵文化財発掘調査概報 カー 1988 - 大県遺跡 カー 1988 - 「高井田遺跡 カー 1988 - 「高井田遺跡 カー 1988 - 「高井田遺跡 カー 1988 - 「同山遺跡 カー 1988 - 「原山遺跡 カー 1988 - 「東田山古墳群 1986 年度 カー 1988 - 「原山遺跡 カー 1988 - 「京井田遺跡 ー 1988 - 「京井田遺跡 カー 1988 - 「京井田町 カー 1988 - 「京井田町 カー 1988 - 「京井田町 カー	法蓮場	坂 遺跡 発掘調査	既要							,	,			
大和川今池遺跡発掘調査概要 『	ッゲ	ノ遺跡発掘調査	既報 ▮							"	,			
南花田遺跡発掘調査概要 『大里遺跡発掘調査概要 『大里遺跡発掘調査概要 『大東道遺跡発掘調査概要 』	神山流	遺跡発掘調査概報	報 ["	,			
大里遺跡発掘調査概要 V	大和/	川今池遺跡発掘詞	調査概要	IV						"	,			
 ※輪遺跡発細調査概要 I 四尻・船岡山遺跡発掘調査概要 I 畑遺跡発掘調査概要 I 畑遺跡発掘調査概要 I 畑遺跡発掘調査概要 I 畑遺跡発掘調査概要 I 小人水川改修にともなう発掘調査概要 I 心店神陵古墳外屋I、古室遺跡 I 池島遺跡発掘調査概要 I 売品遺跡発掘調査概要 I 地島遺跡発掘調査概要 I 畑原市文化財報報 1988 - I 柏原市立化財報報 1988 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月988 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I 中月88 - I <l< td=""><td>南花田</td><td>田遺跡発掘調査</td><td>既要 ▮</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>"</td><td>,</td><td></td><td></td><td></td></l<>	南花田	田遺跡発掘調査	既要 ▮							"	,			
喜志西遺跡発掘調査概要	大里達	遺跡発掘調査概要	要 V				大	阪	府	教	育	委	員	会
大津道遺跡発掘調査概要	淡輪	遺跡発掘調査概要	要 🛚 🗓							,	,			
田尻・船岡山遺跡発掘調査概要 // // // // // // // // // // // // /	喜志	西遺跡発掘調査	既報							,	,			
他兄城跡発掘調査概要	大津	道遺跡発掘調査	既要 】							,	,			
加遺跡発掘調査概要 V 大和川今池遺跡発掘調査概要 V 広神陵古墳外堤 I、古室遺跡 ■ 池島遺跡発掘調査概要 ▼ ・ 地島遺跡発掘調査概要 ▼ ・ 地局市立化財概報 1988 - I 相原市埋蔵文化財発掘調査概報 ・ 1988 - I 大県遺跡 1985 年度 ・ 1988 - I ・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「				要						,	,			
加遺跡発掘調査概要 V 大和川今池遺跡発掘調査概要 V 広神陵古墳外堤 I、古室遺跡 ■ 池島遺跡発掘調査概要 ▼ ・ 地島遺跡発掘調査概要 ▼ ・ 地局市立化財概報 1988 - I 相原市埋蔵文化財発掘調査概報 ・ 1988 - I 大県遺跡 1985 年度 ・ 1988 - I ・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「										,	,			
大和川今池遺跡発掘調査概要 V 大水川改修にともなう発掘調査概要 V 応神陵古墳外堤I、古室遺跡 I 池島遺跡発掘調査概要 II 寛弘寺遺跡発掘調査概要 VI 柏原市文化財概報 1988 - I 柏原市埋蔵文化財発掘調査概報										,	,			
大水川改修にともなう発掘調査概要 V 応神陵古墳外堤 I、古室遺跡 ■			調香概要	V						,	,			
応神陵古墳外堤Ⅰ、古室遺跡 ■										,	,			
他島遺跡発掘調査概要 ▼I										,	,			
 寛弘寺遺跡発掘調査概要 VI				-						,	,			
柏原市文化財概報 1988 - I 柏原市埋蔵文化財発掘調査概報														
# 1988 - ▼ 大県遺跡 1985 年度 # 1988 - ▼ 平尾山古墳群 1986 年度 # 1988 - ▼ 高井田遺跡 ■ # # # # # # # # # # # # # # # # # #				柏眉市冊	サル 財発堀	粗本概却	粒	盾	市			丢	昌	会
# 1988 - ■ 平尾山古墳群 1986 年度 # 1988 - ▼ 高井田遺跡 ■ # 1988 - ▼ 太平寺遺跡・安堂遺跡 1988 年度 # 1988 - ▼ 原山遺跡	111/25					邓且1941	114	105%	111			女	д	
# 1988 - N 高井田遺跡			_	—		: AF								
# 1988 - V 太平寺遺跡・安堂遺跡 1988 年度 # 1988 - V 原山遺跡 # 1988 - V 平尾山古墳群 # 昭和63年度国庫補助事業発掘調査報告書			_			- 反								
# 1988 - N 原山遺跡			,		_	1000 年度				-				
## 1988 - WI 平尾山古墳群 ## 市 教 育 委 員 ## 市 教 育 委 員 ## 市 教 育 委 員 ## 市 教 育 委 員 ## 市 教 育 委 員 ## 市 教 育 委 員 ## 市 教 育 委 員 ## ポータンに財 考古資料編 ## カータンに財調査報告 第40集					女星退跡	1300 平戊				-				
昭和63年度国庫補助事業発掘調査報告書					#¥									
堺環濠都市遺跡・四ツ池遺跡 堺の文化財 考古資料編 / 堺市文化財調査報告 第40集 / / 第41集 / / 第42集 / / 第43集 / 大阪の埴輪窯 (財大阪文化財セン会験大阪府下埋蔵文化財研究会(第20回)資料 国際シンポジウム 古代船の時代 一五世紀の大阪と東アジアー (財大阪市文化財産	III ≇n∂				# T		###	±	±4.			€-	E	
堺市文化財調査報告 第40集 " ** 第41集 " ** 第42集 " ** 第43集 " 大阪の埴輪窯 (財 大 阪 文 化 財 セ ン 会) 大 阪 府 立 労 働 セ ン 会) 国際シンポジウム 古代船の時代 - 五世紀の大阪と東アジアー (財) 大 阪 市 文 化 財 協)	PEN						49F	П	软	. 1≅	1 9	父	貝	会
堺市文化財調査報告 第40集 " ** 第41集 " ** 第42集 " ** 第43集 " 大阪の埴輪窯 (財 大 阪 文 化 財 セ ン 会) 大 阪 府 立 労 働 セ ン 会) 国際シンポジウム 古代船の時代 - 五世紀の大阪と東アジアー (財) 大 阪 市 文 化 財 協)	堺の	文化財 考古資料	科編							,	,			
# 第41集 # 第42集 # 第43集 # 例 大阪 文化財センター 大阪府下埋蔵文化財研究会(第20回)資料 大阪府立労働センター 国際シンポジウム 古代船の時代 一五世紀の大阪と東アジアー 脚 大阪市文化財協	堺市	文化財調査報告	第40集							,	,			
が 第43集 大阪の埴輪窯 (財 大 阪 文 化 財 セ ン 会 大 阪 府 正 労 働 セ ン 会 日本 の 大 阪 府 立 労 働 セ ン 会 日本 の 大 阪 府 立 労 働 セ ン 会 日本 の 大 阪 府 立 労 働 セ ン 会 日本 の 大 阪 市 文 化 財 協 大 阪 市 文 か か か か か か か か か か か か か か か か か か										,	,			
が 第43集 大阪の埴輪窯 (財 大 阪 文 化 財 セ ン 会 大 阪 府 正 労 働 セ ン 会 日本 の 大 阪 府 立 労 働 セ ン 会 日本 の 大 阪 府 立 労 働 セ ン 会 日本 の 大 阪 府 立 労 働 セ ン 会 日本 の 大 阪 市 文 化 財 協 大 阪 市 文 か か か か か か か か か か か か か か か か か か		"	第42集							,	,			
大阪の埴輪窯 大阪府下埋蔵文化財研究会(第20回)資料 国際シンポジウム 古代船の時代 -五世紀の大阪と東アジアー 脚 大 阪 市 文 化 財 を										,	,			
大阪府下埋蔵文化財研究会(第20回)資料 大阪府立労働セン会 国際シンポジウム 古代船の時代 - 五世紀の大阪と東アジアー 脚 大阪市文化財	大阪の						(BA)	人 Ø	žΦ	11	Bt -	セン	· 4	
国際シンポジウム 古代船の時代 一五世紀の大阪と東アジアー 側 大 阪 市 文 化 財 協			研究会(第20回)齊點	i		` ~			–				
					•	東アジアー			-					- 1
- ////////////////////////////////////						•								会
	八水	10 WJ 100 /HJ 44	1 0.000	,с.о □1,///II С	. U EMUVI		1 ^	7人	113	***	[]	×	,	15

古代の美とロマンをもとめて「日本列島発掘展」 難波宮跡·大阪城跡発掘調査中間報告

西ノ辻遺跡・鬼虎川遺跡

堺 一枷之町一

羽曳野市埋蔵文化財調査報告書18 古市遺跡群 X

若江遺跡 第29次発掘調査報告

縄文早期を考える押型文文化の諸問題

大谷女子大学資料館報告書 第22冊 四天王寺

第18冊 牛 頸

第23冊 牛 頸

収蔵品図録 ■ 一鏡鑑一

(財)東大阪市文化財協会概報集 1988 年度

企画展 第2回発掘速報展 -堺市日置荘・福田・小阪遺跡-

兵 庫 県

西播磨の考古資料展 -新宮・宮内遺跡-

宮山古墳第2次発掘調査概報

宮山古墳発掘調査概報

姫路の文化財(第1巻)指定文化財

鴨内・稲畑ー圃場整備に伴う氷上町の遺跡調査

鴨内・稲畑

神戸市北区長尾町 宅原遺跡・宮之元地区の調査(1986年) 神戸市西区神出町 神出 1986

奈 良 県

奈良国立文化財研究所年報 1988

研究論集 № 奈良国立文化財研究所学報 第47冊

奈良県文化財調査報告書 第48集 沼山古墳・益田池堤

平城京左京八条一坊三・六坪発掘調査報告書

奈良県遺跡調査概報(第一分冊) 1985年度

(第二分冊) 1985 年度 (第一分冊) 1986年度

(第二分冊) 1986 年度

奈良県文化財調査報告書 第50集 西里遺跡

第52集 平城京左京三条四坊十二坪

奈良県史跡名勝天然記念物調査報告 第50冊 小槻遺跡

第52冊 下井足遺跡群

斑鳩藤ノ木古墳概報 -第1次調査~第3次調査-

奈良県文化財調査報告書 第39集 飛鳥・磐余地域の後、終末期古墳と寺院跡

奈良県遺跡調査概報 1980年度 別刷 明日香村 飛鳥京跡 - 第74次~80次および嶋宮推定地第17次調査概報

味間遺跡発掘調査報告書

纒向石塚古墳範囲確認調査(第4次)概報

桜井市埋蔵文化財センター発掘調査報告書

第1集 安倍山古墳群発掘調査報告書

第2集 吉備池遺跡柿地区発掘調査報告書

第3集 芝遺跡大三輪中学校第4次調査報告書

第4集 昭和63年度国庫補助事業にともなう発掘調査概報

朝日新聞大阪本社企画部 (財) 大阪市文化財協会 東大阪市教育委員会 大手前女子大学考古資料室 羽曳野町教育委員会 (財) 東大阪市文化財協会 帝塚山考古学研究所 大谷女子大学資料館

(財) 東大阪市文化財協会 (財) 大阪文化財センター

兵庫県立歴史博物館 路

氷 上 町 教 育 委 員 会 大手前女子大学・氷上町遺跡調査団 妙見山麓遺跡調査会

奈良国立文化財研究所

奈良県立橿原考古学研究所 奈良県教育委員会 奈良県立橿原考古学研究所

奈良 県 教 育 委 員 会 奈良県立橿原考古学研究所

田原本町教育委員会 桜 井 市 教 育 委 員 会 桜井市立埋蔵文化財センター 桜井市教育委員会

奈良県遺跡調査概報 1981年度 別刷 十六面・薬王寺遺跡発掘調査概報

伊勢、東海萬葉旅行

奈良国立文化財研究所史料 第30冊 真福寺貝塚史料 山内清男考古資料 1

仏舎利埋納 飛鳥資料館図録 第21 冊

神木坂古墳群▮

"

弥生人の四季

埋蔵文化財ニュース

- 64 1986年度刊行埋蔵文化財発掘調査報告書に関する情報調査
- 65 遺跡整備の基礎的調査
- 66 埋蔵文化財発掘届等件数推移図

倭の五王時代の海外交流 一渡来人の足跡ー

福田貝塚資料 山内清男考古資料 2

昭和63年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報

飛鳥・藤原宮発掘調査概報 19

縄文時代早期の発掘調査報告書 大川遺跡

平城宮出土墨書土器集成Ⅰ

昭和63年度 奈良市埋蔵文化財調査概要報告書

第9次発掘調査概報 平城京東市跡推定地の調査 ▼

奈良県文化財調査報告書 第51集 広瀬地蔵山墓地跡

考古学調查研究中間報告15 平尾山遺跡発掘調查報告

// 16 布留遺跡 三島・豊田地区発掘調査報告

埋蔵文化財天理教調査団 研究会シリーズ | イスラエルの遺跡

法隆寺金堂壁画 飛天

奈良女子大学構内遺跡発掘調査概報 N

天理参考館報 第2号

橿原考古学研究所年報14(昭和62年度)

大和考古資料目録 第16集

橿原考古学研究所附属博物館特別展図録 第32冊 弥生・動乱の時代 - 吉野ケ里遺跡の同時代史ー

纒向石塚古墳 範囲確認調査(第4次)概報

和歌山県

木ノ本釜山(木ノ本 🛮) 遺跡発掘調査報告書

紀伊風土記の丘年報 第14号

紀伊阿須賀遺跡 第2次発掘調査

鳥取県

鳥取県教育委員会発掘調査報告書 天神山遺跡発掘調査報告書 発掘調査報告書 内ノ倉山横穴群 I

鳥取県佐治村葛谷 4 号墳発掘調査報告書

広庭遺跡

岩美町内遺跡発掘調査報告書』 東森谷、上ミツエ、上太夫谷遺跡

高野坂古墳群発掘調査概報 ▮

栗谷遺跡発掘調査報告書Ⅰ

鳥取県教育文化財団調査報告書 第24集 湖山第一遺跡

東伯町文化財調査報告書

奈良県立橿原考古学研究所

飛 鳥 古 京 を 守 る 会 奈良国立文化財研究所

奈良国立飛鳥資料館 榛 原 町

"

奈良県立**棚原考古学研究所付属博物館**奈良国立文化財研究所 埋蔵文化財センター

"

"

奈良県近日原港古学研究所付属博物館 奈良国立文化財研究所

飛鳥·藤原宮跡発掘調査部山 添 村 教 育 委 員 会 会 良 国 立 文 化 財 研 究 所 奈 良 市 教 育 委 員 会

奈良県立橿原考古学研究所 埋蔵文化財天理教調査団

"

飛鳥。資料館
奈良女子大学埋蔵文化財発掘調査会
天理、大学、出版。部
奈良県立櫃原考古学研究所
奈良県立櫃原考古学研究所
新文良県立櫃原考古学研究所
新文良県立櫃原考古学研究所
新文良県立櫃原考古学研究所
新文良県立櫃原考古学研究所
新文良県立櫃原考古学研究所
新文良県立櫃原考古学研究所
新文良県立櫃原考古学研究所
新文良県立櫃原考古学研究所
新文良県立櫃原考古学研究所
新文明

"

(財) 桜井市文化財協会

和 歌 山 市 教 育 委 員 会 和歌山県立紀伊風土記の丘管理事務所 和歌山県新宮市教育委員会

鳥 取 県 教 育 委 員 会 日 南 町 県 佐 海 員 会 岩 美 町 教 育 委 員 会

.

福部村教育委員会 人名 東東東教育文化財団

第16集 下斎尾1号遺跡・大高野遺跡発掘調査報告書 " 第17集 東伯町内遺跡ほか発掘調査報告書 向山古墳群発掘調査概報 1 鳥取県淀江町教育委員会 淀江町内遺跡発掘調査報告書 百塚53・105・106・107号墳、百塚第1遺跡、 原田遺跡発掘調査報告書 井手挾遺跡発掘調査報告書 百塚第1号遺跡発掘調査報告書 赤碕町教育委員会 赤碕町内遺跡発掘調査報告書 化粒川遺跡発掘調査報告書 関金町教育委員会 大山池遺跡横峯地区(落とし穴)発掘調査報告書 島根県 風土記の丘地内遺跡発掘調査報告 Ⅵ 一団原古墳・下黒田遺跡-根 県 島根県埋蔵文化財調査報告書 第XV集 石見空港建設予定地內遺跡発掘調査概報丨 島根県教育委員会 - 根ノ木田、フケ田平、北ケ迫-西川津遺跡発掘調査報告書V 国道 9 号線建設予定地內埋蔵文化財発掘調查報告書 VI 夫敷遺跡 島根県教育委員会 Ⅵ 石台遺跡 VII 岡山県 所報 吉備 第6号 岡山県古代吉備文化財センター 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告73 友野散布地 中原遺跡 72 忍山城出城跡 岡山県教育委員会 百間川の遺跡群 -よみがえる原始・古代のムラー 岡山県古代吉備文化財センター 岡山県真庭郡美甘村 堂の前遺跡 美甘村教育委員会 哺乳動物化石の産状と旧石器文化 岡山大学文学 部 岡山県埋蔵文化財報告19 岡山県教育委員会 1988年度 岡山大学構内遺跡調査研究年報 6 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター 岡山県埋蔵文化財発掘調査報告74 百間川米田遺跡(旧当麻遺跡)3 岡山県古代吉備文化財センター 正崎2・4号墳 岡山県山陽町教育委員会 広島県 広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書 側広島県埋蔵文化財調査センタ 第74集 中央 3 号遺跡発掘調査報告書 第75集 壬生西谷遺跡 第76集 井出山古墳 第77集 郷古墓発掘調査報告書 第78集 上大縄古墳・下の割遺跡 第79集 長後林古墓群発掘調査報告書 第80集 冠遺跡群 D地点の調査 第81集 奥田・是石・鷺田・藤田 第82集 大成遺跡 賀茂学園都市開発整備事業地(西高屋地区)内遺跡群 № 年報Ⅳ 昭和62年度 広島県立歴史博物館展示案内 広島県立歴史博物館

東伯町教育委員会

第12集 下斎尾 1 号遺跡·塚本 8 号墳発掘調査報告

第15集 大畑遺跡発掘調査報告書

庆自周 0 周 英子 1/1 B - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	حين ا			يث .				, pp 1
広島県の埋蔵文化財 昭和62年度	広	_	ıe	息		-	_	県
備後国府跡 推定地にかかる第7次調査概報	14	岛	県	教		安	貝	会
明宮地廃寺跡 第3次発掘調査概報	広	鳥	大 :	<i>り</i> 学 統		移	転	地
埋蔵文化財発掘調査年報 VI	埋	蔵	文化	ム 財	調査	ī 委	員	会
広島市の文化財 第40集 岩上山田遺跡発掘調査報告	L	島	ťħ	教 〃	育	委	貝	会
第41集 一般県道原田五日市線(石内バイパス)道路改良工 事事業地内遺跡群発掘調査				"				
第42集 史跡広島城跡二の丸第一次発掘調査報告				"				
第43集 広島市近世近代建築物調査報告				"				
第44集 史跡広島城跡二の丸第二次発掘調査報告				"				l
第45集 伴東城跡発掘調査報告				"				
草戸千軒町遺跡 - 第37~39次発掘調査概要~				"				
本郷平廃寺	広	島県	1 御	調町	教育	育委	喜員	会
山口県		- /1		•	۰. ۱	حد .		_
防府市文化財調査年報 1978	防	府	市	教	育 :	委	昌	ا ۾
が 1979	"	/13	, 13	1 X //		~	~	
" 1980				"				
" № 1981				"				
/ 1981 防府市文化財調査年報 ¥ 1982	防	府	市	教		委	昌	会
// V 1984		/13	.,-	·^ //		~		
∥ ₩ 1985				"				
// VW 1986				,				
昭和57年度周防国府跡発掘調査概要				"				
周防国府跡(史跡「周防国衛」跡) 保存修理事業報告書 一二見域・東北隅・西北隅一				"				
山口県埋蔵文化財調査報告		п	倡	#/-	*	禾	B	
第30集 周防鋳銭司遺跡 個人住宅建設に伴う発掘調査 第29集 大内氏築山跡 ▼ 大内氏遺跡発掘調査概報 X				教 果文(· · ·
第117集 上岡原古墳群	Щ	Н	炽	教.	Ħ	安	貝	X
第 118 集 清水遺跡				"				
第119集 岡の鼻遺跡				"				
第 120 集 接羅木鄉台地遺跡				"				
第121 集 羽波遺跡、片山遺跡				"				
第 122 集 下岡田遺跡				"				
第 123 集 土井ケ浜遺跡 第11次発掘調査概報				"		_		
下七見遺跡【	菊	Ш	町	教	育	委	員	会
徳 島 県								
徳島市埋蔵文化財発掘調査報告【	徳	島	市	教	育	委	員	슾
黒谷川郡頭遺跡Ⅱ・Ⅳ	徳	島	県	教	育	委	員	숲
南庄遺跡				"				
土成前田遺跡				"				l
中島田遺跡・南島田遺跡				"				
香川県								
瀬戸大橋建設に伴う埋 蔵文化財調査概報 【】 下川津遺跡 ■	香	Ш	県	教	育	委	員	会
Ⅳ 西方遺跡 本文編 写真図版編				"				
四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告				"				- 1
(第3冊) 矢ノ塚遺跡								1
0 0								

(第6冊) 稲木遺跡

受 経 恒

松山市埋蔵文化財調査年報 Ⅰ 昭和62~63年度 四国横断自動車道埋蔵文化財発掘調査報告 ○東塚穴窯古墳 ○柴生遺跡 ○馬立城跡

三間町三間地区遺跡詳細分布調査報告書 (愛媛県北宇和郡三間町三間地区)

三間高校校庭遺跡の調査

愛媛大学埋蔵文化財調査報告 | 鷹子・樽味遺跡の調査 埋蔵文化財調査報告書

第31集 一般国道 196 号今治道路埋蔵文化財調査報告書 第32集 一般国道11号西条市バイパス埋蔵文化財調査報告 第33集 一般国道「菅沢一松山線」埋蔵文化財調査報告書

福岡県

椎田バイパス関係埋蔵文化財調査報告 -1-

福岡県文化財調査報告書 第83集 吉木遺跡

/ 第85集 矢留遺跡

第84集 求菩堤山修験道遺跡

〃 第87集 干潟遺跡 Ⅰ

福岡県文化財調査報告書 第88集 御笠ノ森遺跡

/ 第89集 牛頸窯跡群 ▮

安武地区遺跡群 | (久留米市文化財調查報告書 第56集)

久留米市文化財調査報告書 第58集 埋蔵文化財調査報告書 第8集 東部地区

福岡市埋蔵文化財センター年報 第8号 昭和63 (1988)年度 昭和61年度収集 収蔵品目録

第3回国際シンポジウム 弥生文化の成立と東アジア 九州文化史研究紀要 第34号

津屋崎町文化財調査報告書 第6集 新原奴山古墳群 北九州市文化財調査報告書 第47集 高津尾遺跡 宗像市文化財調査報告書 第13集 大穂町町口【

〃 第14集 朝町山ノ口【

第15集 武丸皆真庵

第16集 浦谷古墳群 ■

/ 第17集 武丸原

/ 第20集 武丸町添遺跡

第21集 東郷高塚 |

若宮古墳群 | 一月岡・塚堂・日岡古墳一稲築町文化財調査報告書 第2集 沖出古墳 九州歴史資料館収蔵資料目録5

大宰府史跡 昭和63年度発掘調査概報

廿木市文化財調查報告 第22集 平塚大願寺遺跡 田川市文化財調查報告書 第5集 轟尾横穴墓群 嘉穂町文化財調查報告書 第10集 嘉穂地区遺跡群¶ 中野火口谷1号古窯跡 松 山 市 教 育 委 員 会 関優媛県埋蔵文化財調査センター

三間町教育委員会

愛媛大学法文学部考古研究室 愛媛大学埋蔵文化財調査室 側愛媛県埋蔵文化財調査センター

"

"

福岡県教育委員会

"

"

"

"

福岡県教育委員会

久留米市教育委員会

•

"

"

"

.

"

吉 井 町 教 育 委 員 会 稲 築 町 教 育 委 員 会 九 州 歴 史 資 料 館

"

福岡市埋蔵文化財調査報告書	福	岡	市	教	育	委	員	会
第194 集 吉武遺跡群Ⅳ								j
第 195 集 広石遺跡群					"			- 1
第 196 集 四筒遺跡群					"			- 1
第 197 集					"			
第 198 集 羽根戸古墳群					"			
第 199 集 四箇遺跡					"			1
第 200 集 田村遺跡					,			
第 201 集 戸原麦尾遺跡(▮)					,			
第 203 集 西新町遺跡					,			- 1
第 202 集 吉塚 1					,			- 1
第 204 集 都市計画道路博多駅築港線関係埋文調査報告 (II) 博 多				,	"			
第 205 集 (Ⅳ) 博 多				,	"			- 1
第 206 集 板付周辺遺跡調査報告書(4)				,	"			1
第 207 集 唐原遺跡 一集落址編一				,	"			- 1
第 208 集 那珂君休 ▮				,	"			- 1
第 209 集 老司古墳				,	"			ı
第 210 集 板付周辺遺跡調査報告書(15)				,	"			1
第 211 集 野間 B 遺跡				,	"			- 1
第 212 集 有田·小田部第10集	福	岡	市	教	育	委	員	会
第 213 集 福岡市西部地区埋蔵文化財調査報告─ ▮ ─				•	"			
第 214 集 広石南古墳群					"			1
年報 Vol 2 -昭和62年度-	(HA)	41	+ 1	, H 14	ク 〒 製	女育	₩	4
埋蔵文化財調査室年報 5 昭和62年度	事	業日	埋	蔵り	艺化	財調	周査	室
研究紀要 一第3号一				,	"			İ
北九州市埋蔵文化財調査報告書 第74集 愛宕遺跡 Ⅳ				,	"			
第76集 上徳力遺跡1(本文編)				,	"			
ν ν (図版編)				,	"			1
第77集 上徳力遺跡 2				,	"			ŀ
第78集 徳力土地区画整理事業関係調査報告 2				,	"			ı
第80集 高津尾遺跡1(2区の調査)				,	"			- [
第81集 隠養・山ノ神遺跡				,	"			
第82集 岡遺跡				•	"			
第83集 菊水町遺跡 2(【区の調査)				,	"			
第84集 高津尾遺跡12・19区				,	"			
第85集 貫川遺跡 2				,	"			l
第86集 香月遺跡 一第3地点一				,	"			
第87集 紅梅(A)遺跡				,	"			
佐 賀 県								
収蔵品目録(第1集)	佐	賀	市	教	育	委	員	会
佐賀市文化財調査報告書 第23集 佐賀工場団地内遺跡					"			
n 第24集 立野遺跡 村徳永遺跡(C地区					"			
n 第25集 大日遺跡					"			
# 第26集 村徳永遺跡(A・B地区)			_		// 			
嬉野町吉田 2 号窯跡 一肥前地区古窯跡調査報告書 第 6 集一	佐	賀児	【立	九り	州陶	磁	文 化	館

August 1 march 124	۱	tres	æ	Hel.		- E-		۸ ۱
吉野ケ里遺跡	佐	質	県	教	育	委	貝	会
佐賀県文化財調査報告書 第95集 名 護 屋城跡発掘調査概報一山里丸発掘調査一					"			
第91集 礫石遺跡(九州横断自動車道関係)					"			
第92集 老松山遺跡(// // // // // // // // // // // // //					"			
第93集 筑後川下流用水事業に係る文化財調査報告書 2					"			
第94集 佐賀県農業基盤整備事業に係る文化財調査報告書7					"			
九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査概報 第11集					"			
長 崎 県								
九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 🏾	長			1	崎			県
長崎県埋蔵文化財調査集報 ┃┃┃					"			
魚洗川B遺跡 -全国植樹祭会場造成工事に伴う埋蔵文化財緊急発 掘調査報告書-					"			
東彼杵町文化財調査報告書 第2集 岡遺跡	東	彼	杵	町	教育	委	員	会
# 第3集 白井川遺跡					"			
熊本県								
熊本県文化財調査報告 第64集 上の原遺跡 I	熊	本	県	教	育	委	員	会
第73集 上の原遺跡 ▮					"			
第75集 曲野遺跡					"			
第76集 西谷遺跡	熊	本	県	教	育	委	員	会
第79集 七ツ江カキワラ 貝塚・ 竹の下貝塚					"			
第86集 京塚遺跡					"			
第87集 オブサン古墳	İ				"			
第88集 下山西遺跡					"			
第89集 加娑尾丸山古墳					"			
第93集 古保山打越遺跡					"			
第94集 熊本県大津町八窪遺跡	ĺ				"			1
第95集 高城跡					"			l
第96集 鼓ケ峰遺跡					"			
第98集 竜田陳内遺跡					"			}
第99集 熊本県歴史の道調査 -球磨川水運-					"			
第 100 集 曽畑一熊本県宇上市花園町曽畑貝塚・低湿地の調 査					"			
研究室活動報告23塔原遺跡	熊	本大	学文	て学	邻考	古学	研乡	室
熊本県文化財調査報告 第 101 集 七地水田遺跡	熊	本	県	教	育	委	員	会
第 102 集 山田 城跡					"			
第 103 集 天道ヶ尾遺跡(▮)					"			
第104 集 北上原古墳・瀬戸口横穴墓群					"			
第105集 六地蔵遺跡【					"			1
第106集 仕山遺跡					"			
第107集 熊本県歴史の道調査 一緑川水運一					"			
大 分 県								ł
池部朝鍋遺跡	竹	田	市	教	育	委	員	会
菅生台地と周辺の遺跡 XW 昭和63年度 竹田地区遺跡群発掘調査報告書					"			
塩屋伊豫野原遺跡 大分空港新設工事に伴う発掘調査概要報告 1988 年	大	分	県	教	育	委	員	会

昭和62年度 大分県内遺跡詳細分布調査概報7 昭和63年3月 多志田遺跡・日向塚遺跡・跡田遺跡・長野地区 他

大分県文化財調査報告第76輯 安岐城跡・下原古墳

一般国道 213 号線安岐バイパス関係埋蔵文化財調査報告 1988 年

朝地地区遺跡群発掘調査概要N

国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報 豊後国都甲荘 2

一般国道10号線中津バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書(I) 勘助野地遺跡・六畝町遺跡・大池南遺跡他 4 遺跡

九州横断自動車道(日田地区)建設に伴う発掘調査概報▼ 小迫辻原遺跡・小迫墳墓群

七瀬川河川改修工事に伴う発掘調査概報 稙田市遺跡 [

- 一般国道10号中双バイパス埋蔵文化財発掘調査概報 森山遺跡・大根川遺跡
- 一般国道10号宇佐バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 | 笠松・尾畑遺跡

宇佐歴史民俗資料館年報 昭和63年度

伊美崎遺跡 大分県東国東郡国見町所在遺跡の発掘調査報告書

えびの市埋蔵文化財調査報告書 第4集 上江池島地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要 小木原遺跡群・蕨・久見迫・地主地区

宮崎県文化財調査報告書 第32集

一般国道10号宮崎西バイパス事業に伴う遺跡調査概要報告書 西ノ原遺跡 -大淀1号古墳-

昭和63年度農業基盤整備事業に伴う遺跡調査概要報告書 前畑遺跡、都南地区遺跡・七ヌ木地区遺跡他

国衙・郡衙・古寺跡等遺跡詳細分布調査概要報告書【

串間市文化財調査報告書 第2集

奈留地区遺跡・開尾遺跡・留ヶ宇戸遺跡

都農町文化財調査報告書 第2集 新別府下原遺跡

康児島県

古代遺跡出土骨からみたわが国の牛馬の起源系統に関する研究 鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報

鹿児島県埋蔵文化財調査報告

第49集 奄見地区埋蔵文化財分布調查報告書 [

第50集 下伊倉城跡·下伊倉遺跡

第51集 榎木原遺跡Ⅰ

鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書

第48集 概要編

榎田下遺跡

中ノ丸遺跡・川ノ上遺跡

中ノ原遺跡

その他

博物館研究 Vol 24 No.11 通巻 258 号

研究紀要 第1集 昭和63年度

文化財保護法第四十八条の規定等による平成元年度 国宝・重要文化財出品目録

思文閣古書資料目録 第121号

日本の陶磁 -古代・中世篇 3 瀬戸 美濃

月刊 文化財 11/平成元年

第7回近畿地方埋蔵文化財研究会資料

1

"

"

宇佐歷史民俗資料館国見町教育委員会

えびの市教育委員会

宮崎県教育委員会宮崎県教育委員会

1

"

串間

都 農 町 教 育 委 員 会

市

鹿児島大学農学部献医学科 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 鹿 児 島 県 教 育 委 員 会

"

"

"

"

"

(財) 日 本 博 物 館 協 会 (財)由良大和古代文化研究協会 文化庁文化財保護部美術工芸課

株式会社思文閣出版中 央 公 論 社 第一法規出版株式会社 考古資料 図録

昭和62年度実施報告

都市周辺の軽石堆積地における遺跡保存方法の検討

昭和63年度実施報告 遺跡保存方法の検討 - 沖積低地の遺跡-

月刊 文化財 12/平成元年

月刊 文化財 1/平成2年

古代史復元7 古墳時代の工芸

日本の陶磁 一古代・中世篇 4 常滑 渥美 猿投

古代史復元5 弥生人の造形

月刊文化財 4 平成元年

文化財の虫菌害と保存対策

昭和61・62年度紀伊山カモシカ特別調査報告書

東邦大学付属東邦高等学校考古学研究会会誌 東邦考古 第11号

// 第12号

古代史復元6 古墳時代の王と民衆

平版(オフセット)印刷見本版 報告書の挿図と図版

日本の伝統工具

施設ガイドブック

我が国の文化と文化行政

瑞 垣 115

瑞 垣 127

/ 128

" 129

/ 137

ニューヨーク・バークコレクション

『鎌木義昌先生古稀記念論集 考古学と関連科学』抜刷 須恵器編年への一試案

古代文化 第41巻 第5・8・10号抜刷 平安時代における緑釉陶器の編年的研究、施釉陶器の 様式論的研究(上・下)

『中近世土器の基礎研究**』** 中世土器・陶器研究史と問題点

考古学研究 第35巻3号(139号)抜刷

・築造企画を同じくする「帆立貝式前方後円墳について」

日本の陶磁 -古代・中世篇2 三彩 緑釉 灰釉

(財) 辰 馬 考 古 資 料 館文 化 庁

"

第一法規出版株式会社

式 会 社 談 社. 中 央 公 社 株式会 社 社 談 文化庁文化財保護部 (財) 文化財虫害研究所 三重県奈良県和歌山県教育委員会 東邦考古学研究会

"

式 会 社 談 社 関 西 出 国ンタ 立埋蔵 財 全 会 (株) せ 神 宮 司 庁 宮 司 庁 神

"

"

中 日 新 聞 社 鎌木義昌先生古稀記念論文集刊行会

日本中世土器研究会

中央公論社

平成2年度事前協議遺跡一覧

〈付2〉

農林部関係

事業名	農林事務所	地 区	遺跡名	所 在 地	調査面積 m²	備 考
		公害防除特別土地	的外遺跡	員弁郡藤原町大貝戸字向外		麦刈り終了後、要試
	桑名	改良西員弁	いぜが井瀬陸遺跡	/ 字井瀬陸		"
		A 111 - T 1- T	別所遺跡	鈴鹿市三宅町別所	5 5 0	立合調査。
	四日市	合川・下之庄 	長法寺 4 号墳橋 門 遺 跡	/ 橋門	1, 2 0 0	本調査。
		大 里	とう ざき 河 崎 遺 跡	津市大里睦合町河崎	2 4 0	立合調査。
		久 居	藤倉北遺跡	久居市稲葉町藤倉		工事対応。
	i		 弥五郎垣内遺跡	一志郡嬉野町釜生田字 弥五郎垣内	2, 1 0 0	本調査。
	津	中 郷	天白遺跡	ル 字天白	900	立合調查。
県党		ها جا	西の垣内遺跡	一志郡白山町南家城 字西の垣内	2 4 0	立合調査。
圃場		家 城 	北家城遺跡	〃 北家城	1,600 880	本調査 立合調査
県営圃場整備事業		河 芸 北 部	三行遺跡	安芸郡河芸町字三行	200	
1			本 郷 遺 跡	多気郡明和町本郷		再協義。
(県の営畜		明星	あから 養村大塚遺跡	〃 養村	7 0	立合調査。
含産	!		北野遺跡	" "	4,000	本調査。 (平成元年度送り分)。
営環	ı		大足遺跡	松阪市大足町		工事対応。
経営環境整備事業	松 阪	阪内川左岸	すみで 角出遺跡	"		" °
事業			ハサマ遺跡	"		″ 。
			打田遺跡	松阪市岡本町	2, 1 3 0	本調査。(平成3年度送り 分3170㎡)
		堀 阪 川 沿 岸	伊勢寺遺跡	/ 伊 勢寺 町字寺北ほか	4,000	昭和63年度送り分。
		荒 蒔	上ノ垣内遺跡	多気郡多気町荒蒔		協議中。
	伊 勢	一 之 瀬	でしょうら御所裏遺跡	度会郡度会町脇出	1 2 0	立合調査。
		新環・度会	中里遺跡	/ 大宮町永会		再協議。
		河 合	小倉遺跡	阿山郡阿山町馬場字小倉	5 4 0 5 0 0	本調査。 立合調査。
	上 野		印代東方遺跡群	上野市印代・西条・土橋	2, 2 2 0	立合調査。 (平成元年度送り分)
		上野北部	ではれ出情遺跡	〃 一之宮	3 0 0	″ 。

事業 名	農 林 事務所	地 区	遺跡名	所 在 地	調査面積 m²	備考
			まだ問田遺跡	上野市服部町字間田	4 4 0 9 0	本調査。 立合調査。
			伊賀国府推定地	〃 坂之下	3, 0 0 0 3, 0 0 0	" °
		上 野 東 部	宮山遺跡	" 上友生字宮山	2,000	立合調査。 平成元年度送り分。
			堂之前遺跡	/ 字堂之前	650	" "
			森脇遺跡	ル 市部字森脇	4,000	立合調査。
		上野南部第2	澤田遺跡	/ 字澤田	2, 3 5 5 1 7 5	本調査。 立合調査。
			ざいりょう 才良遺跡ほか	ル 才良	2, 0 1 0 2, 2 9 0	" "
		上野南部第3	浮田遺跡B地区	〃 上神戸	1, 6, 0 0 9 1 0	"
			〃 C地区	"	2, 2 0 0 1, 0 5 0	ル平成元年度送り分。 ル3年度送り分 4,200 m²
		柘植川沿岸	みずがいと 畔垣内A遺跡	阿山郡伊賀町御代	2,000	平成元年度送り分。

土木部関係(2年度計画)

(道路建設課1)

事務 所名	事 業 名	遺跡名	所 在 地	面 積 (m²)	協議・対応	調査面積(㎡)	備考
	水沢野田関線	会下B遺跡	鈴鹿郡関町会下	6,000	要試掘		
	辺法寺加佐登(T)線	北蟻越遺跡	鈴鹿市庄野町北蟻越		"		
	辺法寺加佐登(T)線	津賀2号墳	鈴鹿市津賀町南山		"		円墳径 1 7 m
	辺法寺加佐登(T)線	居敷 1 号墳	鈴鹿市津賀町居敷		"		
	水沢野田関線	東の追分・関宿	鈴鹿郡関町木崎字末藤 1632 他		県史跡。文 化振興課と 協議。		
	国道306号	東樺野2号墳	亀山市菅内町樺野字上野	4,500	要試掘		円墳径10m
	国道306号	東樺野遺跡	亀山市菅内町樺野字上野	J	"		
	国道306号	小下遺跡	亀山市井尻町小下字辻垣内 道金	4,500	"		
	四日市鈴鹿環状線	国分北遺跡	鈴鹿市国分町野田裏山・ 浦新田・八幡前	6,000	"		
	四日市鈴鹿環状線	国分東遺跡	鈴鹿市国分町孫作・井田 ・東浦	6,200	"		·
津	四日市鈴鹿環状線	沖ノ坂遺跡	鈴鹿市国分町中ノ坂・ 石亀谷・松山口	3,000	"		
	四日市鈴鹿環状線	磐城山遺跡	鈴鹿市木田町磐城山	6,600	"		
	四日市鈴鹿環状線	磐城山古墳1・2号墳	鈴鹿市木田町磐城山]	"		1号墳: 円墳径10.4 m
	一家所阿漕停車場	平木遺跡	津市半田	3,200	"		2 号墳: 円墳径 7 m
	(-)津久居線	スン寺遺跡	津市半田	2,700	"		

	 ← 穴倉南神山津線	(仮) 南神山遺跡	 安芸郡安濃町南神山	1 2,800	"	
	一穴倉南神山津線	(仮) 南神山8号墳	安芸郡安濃町南神山		"	
	出津芸濃大山田線	下川遺跡	安芸郡芸濃町多門、下川			詳細図なし。
	津関線	橋垣内遺跡 大垣内遺跡	津市大里窪田	14,000	要試掘	
	国道368号	土井沖遺跡	一志郡美杉村上多気	5,000	"	昭和63年度 より継続。
久	一久居美杉線	久 居 城 跡	久居市西鷹跡町	7,300	"	
	──次居美杉線	藤堂源助宅	久居市西鷹跡町	2,200	"	
	──石橋停車場線	片山 5 号墳	一志郡一志町石橋	200	"	周知の古墳。
居	(-)—志出家線	高寺遺跡	一志郡一志町高野	1,400	"	
	──白山小津線	城之腰遺跡	一志郡一志町波瀬	1,200	"	
松	勢和兄国松阪線 (特一)	上ノ垣内遺跡	多気郡多気町荒蒔			詳細図なし。 計画未定。
阪	丹生寺一志線 (道改)	墓垣内遺跡	松阪市岩内町			計画未定。

(道路建設課2)

						(μ	且时连议杯~)
事務 所名	事 業 名	遺跡名	所 在 地	面 積 (m²)	協議・対応	瀬 査 荷 (㎡)	備 考
松	相鹿瀬大台線	中新田遺跡	多気郡大台町栃原				計画未定。
阪	勢和兄国松阪線 (県単)	枝街道遺跡	多気郡多気町津留		要試掘		
	一度会玉城線	小清水遺跡	度会郡玉城町勝田				近畿自動車道 楠ノ木遺跡
伊	一度会玉城線	上の山遺跡	度会郡玉城町勝田				
	一度会玉城線	上の山古墳	度会郡玉城町勝田				
	村松明野(1)線		伊勢市村松				
勢	伊勢大宮線		度会郡玉城町岩田				
	鳥羽松阪線 (仮) 伊勢鳥羽ライン	(仮) 楠部北方遺跡	伊勢市楠部町				
	国道422号	弥 助 窯 跡	阿山郡阿山町丸柱	300	本 調 査	300	
	県道中村上野線	風呂ノ上遺跡	上野市下友生	1,700	"	1,700	
上	県道東湯舟甲賀線	藤林長門守城跡	阿山郡阿山町東湯舟	300	"	300	
	県道上神戸名張線	高賀遺跡	上野市上神戸高賀				
	国道368号	横尾遺跡	上野市安場横尾	1,5 0 0	要試掘		
野	県道松阪青山線	(仮称) 腰山遺跡	名賀郡青山町腰山	1,400	"		

県道中村上野線	(仮称) 喰 代 古 墳	上野市喰代		"	
県道布生夏見線	坊垣内遺跡	名張市夏見字坊垣内	5,5 0 0	"	現道と民家の 下。

(都市計画課)

事務 所名	事 業 名	遺跡名	所 在 地	面積(m²)協議・対応	面積(㎡)	備考
桑名	都計街路 333 桑名·員弁線	尾野山城跡	桑名市東方字岸西 2212	約 900		元年度分布調査済み。

<協議中遺跡>

(道路建設課1)

事務 所名	事 業 名	遺跡名	所 在 地	面 積 (m²)	協議・対応	瀬 査面 積 (㎡)	備考
桑	水郷公園線	殿名遺跡	桑名郡長島町殿名	2,600			元年度買収予定。 2年度工事予定。
名	国道365号	大久保城跡	員弁郡大安町片樋				
72	国道306号	菰 野 城 跡	三重郡菰野町蕃内1490	2,100	本 調 査	1,050	
	国道306号	力尾城跡	三重郡菰野町力尾 168		測量後本調査		
日市	四日市土山線	宮ノ前遺跡	四日市市高角	5,600			昭和58年 新発見。
l Ita	四日市鈴鹿環状線	西ケ谷古窯跡	四日市市垂坂町	400	本 調 査	400	元年度地磁気 深査。試掘。
	四日市鈴鹿環状線	磐城山遺跡	鈴鹿市木田町磐城山	2,000			
	四日市鈴鹿環状線	磐城山古墳群	鈴鹿市木田町磐城山	<u> </u>			
	亀山(T)石水渓線	安楽A遺跡	亀山市安楽町	4,000	要試掘		買収済 平成2~4年度
鈴	亀山(T)石水渓線	安楽B遺跡	亀山市安楽町	J			工事予定。
	国道306号	小下遺跡	亀山市小下町	3,600			
	国道306号	東樺野古墳	亀山市樺野	150			
鹿	国道306号	東樺野遺跡	亀山市樺野	2,500			
	辺法寺加佐登線	長者屋敷遺跡 ほか	亀山市能褒野町		事業面積確 定 後協議		鈴鹿土木維持 課。
津	穴倉南神山津線	南神山7号墳	安芸郡安濃町南神山	100			
17	津芸濃大山田線	北奥遺跡	安芸郡芸濃町多門	1,050	本 調 査	1,050	
	国道368号	奥新田遺跡	一志郡美杉村上多気	4,000	要試掘		
久	国道368号	土井沖遺跡	一志郡美杉村上多気	5,000	"		
	久居美杉線	異ヶ丘遺跡	久居市西鷹跡町	450			
居	久居美杉線	久居城跡	久居市西鷹跡町	1,000			
	一志出家線	高 寺 遺 跡	一志郡一志町高野	450	2 年 度本調査予定		

	松阪第二環状線	上蛸路A遺跡	松阪市上蛸路町	500			
松	松阪第二環状線	上蛸路B遺跡	松阪市上蛸路町				
	国道368号	北出遺跡	飯南郡飯南町粥見	1 2,600	要試掘		
	伊勢多気線	片倉氏館跡	多気郡多気町四神田	1,300			
	伊勢多気線	羽根垣外遺跡	多気郡多気町四神田	2,5 0 0			
阪	伊勢多気線	西山城跡	多気郡多気町四神田				
	田丸(T)斉明線		多気郡明和町有爾中	3,000	要試掘		
	田丸(T)斉明線	世古A遺跡	度会郡玉城町世古	1,500	"		
伊	田丸(T)斉明線	世古B遺跡	度会郡玉城町世古	1,800	"		
	伊勢大宮線	麻加江遺跡	度会郡度会町麻加江	2,500			
	伊勢路伊勢線	打越城跡	度会郡南勢町伊勢路	500			
	岩出新田線	蚊 山 遺 跡	度会郡玉城町岩出	6,500	本 調 査		
	伊勢南島線	寺原B遺跡	伊勢市佐八町	1,000	要試掘		
	鳥羽松阪線	杉葉崎遺跡	伊勢市朝熊町杉葉崎	1,400			元年度分布調 査済み。
	鳥羽松阪線	鹿田西遺跡	伊勢市楠部町字鹿田	2,200			"
	田丸(T)斉明線		度会郡玉城町岡村	1,500		1,500	
	田丸(T)斉明線		度会郡玉城町岡村	1,300	伐開後 ·	1,300	
勢	田丸(丁)斉明線		度会郡玉城町岡村	1,3 0 0		1,300	
	田丸(口)斉明線		度会郡玉城町岡村	1,700)	1,700	
	鳥羽磯部線	松尾古墳	鳥羽市松尾				
志	安乗港線	西殿遺跡	志摩郡阿児町国府	1,5 0 0	本 調 査	1,5 0 0	(旧御茶子遺 跡)
摩	町道阿津里線	阿津里貝塚	志摩郡志摩町越賀	1,5 0 0			
	町道阿津里線	阿津里古墳	志摩郡志摩町越賀		_		
熊野	国道311号	波田須城跡	熊野市波田須町				
	東湯舟甲賀線	藤林長門守城跡	阿山郡阿山町東湯舟	300	2 年 度 本調査予定	300	滋賀県境
上	国道368号	横尾遺跡	上野市安場字横尾	1,500			
	国道 4 2 2 号	弥 助 窯 跡	阿山郡伊賀町丸柱	300	本 調 査		
野	上神戸名張線	高賀遺跡	上野市上神戸高賀		3ルートのう ちA案のみ分 布調査済		路線変更があれ ば要再調査。

町道上柘植倉部線	北	浦	遺	跡	阿山郡伊賀町柘植	1,200				1	
町道上柘植倉部線	惣	田	遺	跡	阿山郡伊賀町柘植	1,000					
県道中村上野線	風	風呂ノ上遺跡		跡	上野市下友生字風呂ノ上	1,700	本	調	査		昭和63年度県間で 試掘済。事業化段 階で本調査。

(都市計画課)

事務所名	事 業 名	遺跡名	所 在 地	面 積 (m²)	協議・対応	瀬 査面 積 (㎡)	備 考
四日市	北勢中央公園整備	丸岡遺跡他	四日市市西村町	3,300			
津	豊里久居線	筝 治 城 跡	津市一身田上津部田 字才の坪		本 調 査		元年度より継 続調査。
久居	元町孝行井戸線	久 居 城 跡	久居市西鷹跡町				
伊勢		本誓寺裏遺跡					近畿道側道

(砂防課)

事務 所名	事 業 名	遺跡名	所 在 地	面 積 (m²)	協議・対応	瀬 査 面 積 (㎡)	備考
桑名	新沢川改修	宇賀神社古墳群	桑名郡多度町柚井				

(河川課)

事務所名	事 業 名	遺跡名	所 在 地	面 積 (m²)	協議・対応	面積(㎡)	備考
津	天神川改修	己ノ谷遺跡	津市高茶屋			400	昭和57·58 年實際会)

(企業庁)

事務 所名	事 業 名	遺跡名	所 在 地	面 積 (m²)	協議・対応	瀬 査 積 (㎡)	備 考
中勢 水道	高野浄水場天日乾 燥地築造工事	狐塚古墳群	一志郡一志町高野字上野	600	本 調 査	600	

近畿自動車道(勢和~伊勢間)試掘調査

遺跡名	所 在 地	調査面積	調査期間	調 査 の 概 要
王子谷遺跡	多领町前村	196 m²	元2 6~2 7 2112~118	遺構ナシ。遺物は鎌倉時代、『エハラ時代のもの少量。 ローリング
桃谷古墳	"	27 *	2118~122	古墳ではない。
ッッジ古墳	"	20 %	2 1 2 2 ~ 1 2 3	"
泉貢窯跡	玉城町積良	330 /	元5.22~5.30	灰原2ケ所確認。焼土坑穴あり。窯体は1ないし 2基か。
里山古墳	玉城町山神	31 /	2213~214	古墳ではない。
矢倉戸前古墳	玉城町宮古	20 %	元9. 1~9. 6	,
ハノカ遺跡	伊勢市佐八町·津村町	448#	元2.1.4~3.3.0	中世の墓域の可能性あり。
落合古墳群	伊勢市津村町	151/	"	小円墳が5 基所在
井戸谷遺跡	伊勢市前山町	96 /	"	遺構なし。遺物は近世の土器少量。
世義寺跡	伊勢市前山町	248"	"	遺物・遺構少ない。寺院址であるとの確証はない

三重県教育委員会

(平成元年度埋蔵文化財担当機関)

文化振興課

5 1 4 津市広明町 1 3 三重県庁内 7 階 TEL 0 5 9 2 - 2 4 - 2 9 8 7 (文化財保護係)

三重県埋蔵文化財センター

5 1 5 - 0 3 多気郡明和町竹川 5 0 3

○ 斎宮歴史博物館

5 1 5 - 0 3 多気郡明和町竹川 5 0 3 TEL 0 5 9 6 5 - 2 - 3 8 0 0 (代)

三重県埋蔵文化財センター現場詰所

一般国道1号線亀山バイパス	0 5 9 5 8 - 2 - 2 5 8 1
/ 23号中勢道路	$0\ 5\ 9\ 2-3\ 7-1\ 9\ 1\ 4$
近畿自動車道	$0\ 5\ 9\ 6\ 5\ 8\ -4\ 5\ 2\ 0$

埋蔵文化財倉庫

桜 橋	0 5 9 2 - 2 7 - 2 4 6 5
藤方	0592 - 24 - 4560
上 野	$0\ 5\ 9\ 5-2\ 4-0\ 0\ 7\ 9$